2007年 秋冬モデル

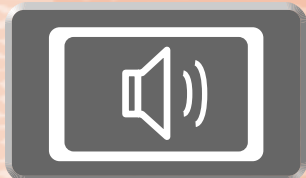
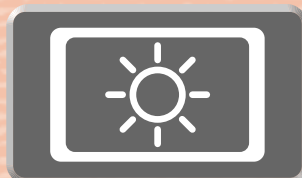
B5FJ-4821-01

NF75X/D, NF75XN/D, NF70X, NF70XN,
NF55X/D, NF50X/V, NF50X, NF50XN

FMV取扱ガイド

●2章で説明している主な内容

電源の入れ方／切り方

フラットポイント

音量調節

明るさ調節

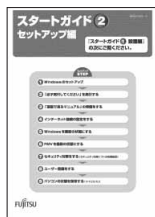
テレビの準備
（テレビチューナー搭載機種のみ）
ワンセグの準備
（ワンセグチューナー搭載機種のみ）

指紋認証

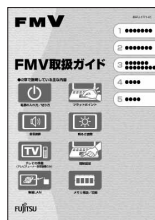
無線LAN
（無線LAN搭載機種のみ）

マニュアルのご案内

冊子のマニュアル

スタートガイド（1 設置編　2 セットアップ編）

使い始めるまでの準備はこれでバッチリ

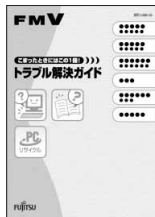
●『スタートガイド1　設置編』
●『スタートガイド2　セットアップ編』

FMV取扱ガイド

●各部の名称と働き
●パソコンの取り扱い
・電源の入れ方/切り方
・音量の調節
・輝度の調節　など
●周辺機器の設置/設定/増設
●お手入れ
●仕様一覧

FMVテレビ操作ガイド

テレビチューナー内蔵機種に添付

●テレビについて
・テレビの見かた
・録画のしかた
・保存のしかた
●テレビなどに関するQ&A

トラブル解決ガイド

●マイリカバリ
●バックアップ
●トラブル解決Q＆A
●リカバリ（ご購入時の状態に戻す）
●廃棄・リサイクル

サポート＆サービスのご案内

●ユーザー登録・特典
●AzbyClubのご案内
●困ったときは
●故障かな？ と思ったときは
●お問い合わせ先
●操作指導サービス
●お問い合わせ票/修理依頼票

この他にも、マニュアルや重要なお知らせなどの紙、冊子類があります。

画面で見るマニュアル

説明している主な内容

●パソコンの基本
●セキュリティ対策
●インターネット／Eメール
●ＦＭＶ使いこなし事例集
●パソコン本体の取り扱い
●周辺機器の接続
●添付ソフトウェア一覧
●困ったときのQ＆A

※この他にも、役に立つ情報が盛りだくさんです。

テクニカルコミュニケーター協会が定める「画面で見るマニュアル標準マーク」です。

画面で見るマニュアルの始め方

（スタート）→「すべてのプログラム」→「ＦＭＶ画面で見るマニュアル」の順にクリック

参照の探し方

冊子のマニュアルの本文内に、≫🔍「＊＊＊＊＊＊（文書番号）」とある場合は、『画面で見るマニュアル』で検索してご覧ください。

文書番号：≫🔍の横にある6桁の数字

参照

▼ Windows の画面について

『画面で見るマニュアル』 ≫🔍「920010」で検索

→「Windows の画面と各部の名称」

文書番号（6桁の数字）を入力して「検索する」をクリック

FMV 画面で見るマニュアル

920010 検索する ? 検索のヒント

FMV 画面で見るマニュアル

❶ 文書番号（6桁の数字）を入力

❷「検索する」をクリック

文書番号の内容が表示

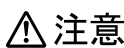
「目次」、「検索」、「索引」など、他にもいろいろな探し方があります。

『画面で見るマニュアル』について詳しくは、画面右上の ? をクリックしてください。

目次

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

安全にお使いいただくために

本製品には『安心してお使いいただくために』というマニュアルが添付されています。本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
お使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

このマニュアルの表記について

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
⊘	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
••▶	参照先を記述しています。
	冊子のマニュアルを表しています。
	画面で見るマニュアルを表しています。 （起動方法について、このマニュアルの巻頭でご案内しています。）
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

パソコンの電源状態について

このマニュアルではパソコンの電源を入れたときの状態を、それぞれ次のように表記しています。

パソコンの状態	このマニュアルでの表記
Windows Vista Home Premiumが起動している状態。	Windows が起動しているとき

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows Vista® Home Premium	Windows または Windows Vista または Windows Vista Home Premium
Windows Vista® Ultimate	Windows または Windows Vista または Windows Vista Ultimate
Windows® Internet Explorer® 7	Internet Explorer 7 または Internet Explorer
情報処理機器の省エネルギー化推進に関する法律	省エネ法
スーパーマルチドライブ	CD/DVD ドライブ
ＦＭＶ 画面で見るマニュアル V1.2	画面で見るマニュアル
xD-Picture Card™	xD- ピクチャーカード
ExpressCard™/34 モジュール ExpressCard™/54 モジュール	ExpressCard

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Aero、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
インテル、Intel、インテル Core、インテル Celeron および Centrino は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
xD-Picture Card™、xD- ピクチャーカード ™ は富士写真フイルム株式会社の商標です。
「メモリースティック」、「メモリースティック PRO」、「メモリースティック Duo」、「メモリースティック PRO Duo」、「マジックゲート」および MEMORY STICK は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
FeliCa ポートソフトウェアおよび SFCard Viewer は、ソニー株式会社の著作物であり、FeliCa ポートソフトウェアおよび SFCard Viewer にかかる著作権、その他の権利はソニー株式会社および各権利者に帰属します。
FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
Edy［エディ］は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
FeliCa プラットフォームマークは、FeliCa ネットワークス株式会社の商標です。
eLIO［エリオ］は、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルの登録商標です。
「かざしてナビ」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
「かざしてナビ」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
SD ロゴおよび SDHC ロゴは商標です。
ExpressCard™、ExpressCard™ ロゴは、Personal Computer Memory Card International Association（PCMCIA）の商標で、富士通へライセンスされています。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

ドルビー、DOLBY、ダブル D 記号、AC-3 およびプロロジックはドルビーラボラトリーズの商標です。

第 1 章

各部の名称と働き

パソコンの各部の名称と働きについて説明しています。
ここでは、代表的な機能を説明しています。

パソコン本体前面

■NF75X/D, NF75XN/D, NF55X/D の場合

（イラストは機種や状況により異なります）

a. ラッチ

液晶ディスプレイが不用意に開かないようにロックします。

b. 液晶ディスプレイ

パソコンの画面を表示します。

c. 状態表示 LED（••▶P.21）

パソコンの状態が表示されます。

d. 電源ボタン

パソコンの電源を入れたり、スリープ／レジュームさせるためのボタンです。

e. スピーカー

パソコンの音声が出力されます。

f. マイク・ラインイン兼用端子

市販のマイクを接続することができます（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。また、設定を変更することにより、ライン入力端子として使用することもできます。

g. ヘッドホン・ラインアウト兼用端子

市販のヘッドホンを接続することができます（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。また、設定を変更することにより、ライン出力端子として使用することもできます。

h. ワイヤレススイッチ

無線 LAN の電波の発信状態を切り替えます。

i. 指紋センサー（••▶P.81）

指をスライドすることで指紋を読み取ってWindowsのログオンなどができるようになります。また、画面をスクロールさせることもできます。

j. フラットポイントデジタイザまたはフラットポイント（••▶P.37）

・フラットポイントデジタイザ
　マウスポインタを操作したり、デジタイザ用ペンを使って描画したりできます。
・フラットポイント
　マウスポインタを操作します。

k. ワンタッチボタン

「FMV サポートナビ」やメールソフトなどを起動するボタンです。

l. Support ボタン

Support ボタンには、以下の機能があります。

・Windows が起動している場合
　「FMV サポートナビ」が起動し、「Q&A」や「日頃のメンテナンス」などのサポート機能を簡単に始めることができます。
・パソコンの電源が切れている場合
　Windows が起動しないときにも、「ハードウェア診断」や「マイリカバリで戻す」などトラブル解決に役立つサポート機能を使うことができます。
　（※ スリープ中の場合には「FMV サポートナビ」が起動します。）

詳しくは、『トラブル解決ガイド』→「充実のサポート機能で安心・快適」をご覧ください。

m. Mail ボタン

メールソフトが起動します。

n. Digital TV ボタン

・パソコンの電源が切れている場合
　Windows が起動した後、テレビ視聴・録画用ソフトウェア「DigitalTVbox」が起動します。
・Windows が起動している場合
　「DigitalTVbox」が起動します。
　スリープ中や休止状態中に押すと元の状態に戻り、「DigitalTVbox」が起動します。

o. チャンネルボタン

ワンセグ放送のチャンネルを切り替えます。

p. 音量調節ボタン

音量を調節します。

q. FeliCa ポート

「FeliCa 対応カード」および「FeliCa 対応携帯電話」を使用することができます。

r. リモコン受光部

リモコン用の赤外線受光部です。

パソコン本体前面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000270」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」

■NF50X/V の場合、および NF50XN でワンセグチューナーを選択した場合

注：無線 LAN 搭載機種のみ。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

a. ラッチ
液晶ディスプレイが不用意に開かないようにロックします。

b. 液晶ディスプレイ
パソコンの画面を表示します。

c. 状態表示 LED（▶P.21）
パソコンの状態が表示されれます。

d. 電源ボタン
パソコンの電源を入れたり、スリープ／レジュームさせるためのボタンです。

e. スピーカー
パソコンの音声が出力されます。

f. マイク・ラインイン兼用端子
市販のマイクを接続することができます（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。また、設定を変更することにより、ライン入力端子として使用することもできます。

g. ヘッドホン・ラインアウト兼用端子
市販のヘッドホンを接続することができます（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。また、設定を変更することにより、ライン出力端子として使用することもできます。

h. ワイヤレススイッチ
無線 LAN の電波の発信状態を切り替えます。

i. 指紋センサー（▶P.81）
指をスライドすることで指紋を読み取ってWindowsのログオンなどができるようになります。また、画面をスクロールさせることもできます。

j. フラットポイント（▶P.37）
マウスポインタを操作します。

k. ワンタッチボタン
「FMV サポートナビ」やメールソフトなどを起動するボタンです。

l. Support ボタン
Support ボタンには、以下の機能があります。
・Windows が起動している場合
「FMV サポートナビ」が起動し、「Q&A」や「日頃のメンテナンス」などのサポート機能を簡単に始めることができます。
・パソコンの電源が切れている場合
Windows が起動しないときにも、「ハードウェア診断」や「マイリカバリで戻す」などトラブル解決に役立つサポート機能を使うことができます。
（※ スリープ中の場合には「FMV サポートナビ」が起動します。）

詳しくは、『トラブル解決ガイド』→「充実のサポート機能で安心・快適」をご覧ください。

m. Mail ボタン
メールソフトが起動します。

n. ワンセグボタン
Windows が起動している場合でワンセグ放送を見るときに押します。

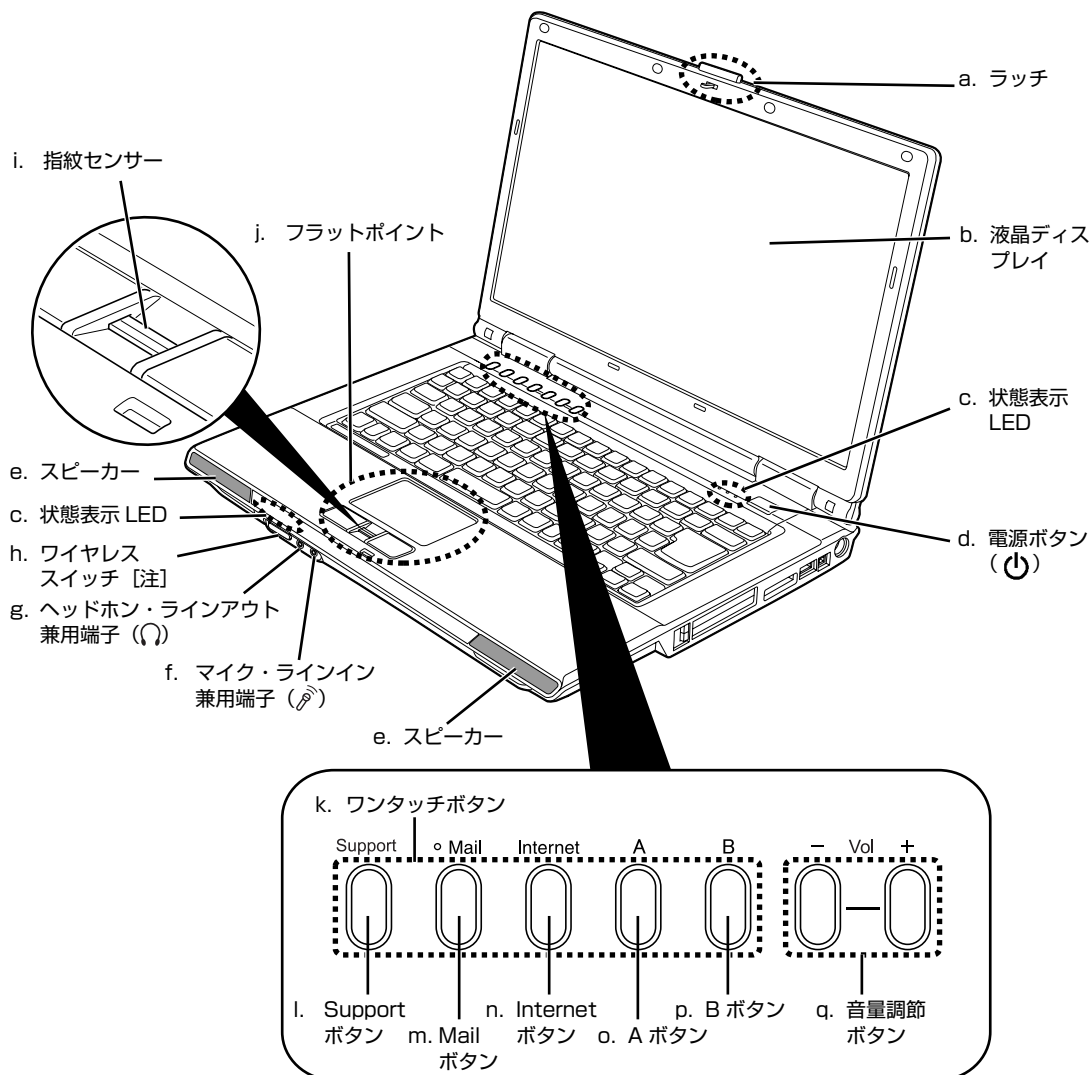
o. チャンネルボタン
ワンセグ放送のチャンネルを切り替えます。

p. 音量調節ボタン
音量を調節します。

パソコン本体前面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 » 「000270」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」

■NF70X, NF70XN, NF50X の場合、および NF50XN でワンセグチューナーを選択しなかった場合

注：無線 LAN 搭載機種のみ。

a. ラッチ
液晶ディスプレイが不用意に開かないようにロックします。

b. 液晶ディスプレイ
パソコンの画面を表示します。

c. 状態表示 LED（▶P.21）
パソコンの状態が表示されます。

d. 電源ボタン
パソコンの電源を入れたり、スリープ／レジュームさせるためのボタンです。

e. スピーカー
パソコンの音声が出力されます。

f. マイク・ラインイン兼用端子
市販のマイクを接続することができます（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。また、設定を変更することにより、ライン入力端子として使用することもできます。

g. ヘッドホン・ラインアウト兼用端子
市販のヘッドホンを接続することができます（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。また、設定を変更することにより、ライン出力端子として使用することもできます。

h. ワイヤレススイッチ
無線 LAN の電波の発信状態を切り替えます。

i. 指紋センサー（▶P.81）
指をスライドすることで指紋を読み取ってWindowsのログオンなどができるようになります。また、画面をスクロールさせることもできます。

j. フラットポイント（▶P.37）
マウスポインタを操作します。

k. ワンタッチボタン
「FMV サポートナビ」やメールソフトなどを起動するボタンです。

l. Support ボタン
Support ボタンには、以下の機能があります。
・Windows が起動している場合
「FMV サポートナビ」が起動し、「Q&A」や「日頃のメンテナンス」などのサポート機能を簡単に始めることができます。
・パソコンの電源が切れている場合
Windows が起動しないときにも、「ハードウェア診断」や「マイリカバリで戻す」などトラブル解決に役立つサポート機能を使うことができます。
（※ スリープ中の場合には「FMV サポートナビ」が起動します。）

詳しくは、『トラブル解決ガイド』→「充実のサポート機能で安心・快適」をご覧ください。

m. Mail ボタン
メールソフトが起動します。

n. Internet ボタン
「Internet Explorer」が起動します。

o. A ボタン
「@メニュー」が起動します。

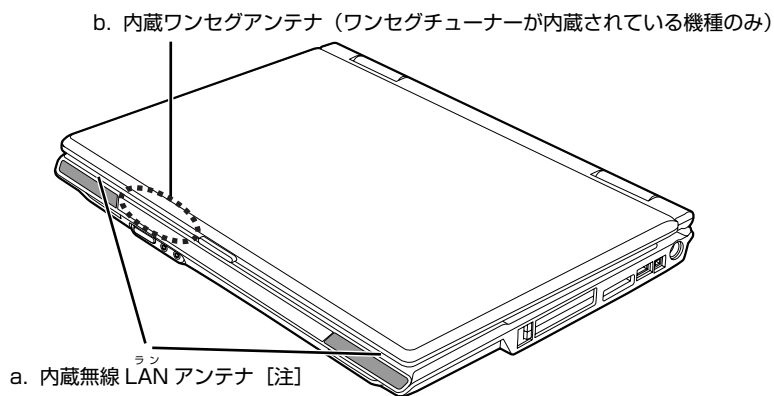
p. B ボタン
「FM かんたんバックアップ」が起動します。

q. 音量調節ボタン
音量を調節します。

パソコン本体前面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 » 「000270」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」

各部の名称と働き

2 パソコン本体上面

（イラストは機種や状況により異なります）

注：無線 LAN 搭載機種のみ。

a. 内蔵無線 LAN アンテナ
無線 LAN 用のアンテナが内蔵されています。

b. 内蔵ワンセグアンテナ
ワンセグ放送を受信するためのアンテナです。

パソコン本体上面の各部の名称については、次のマニュアルでも説明しています。

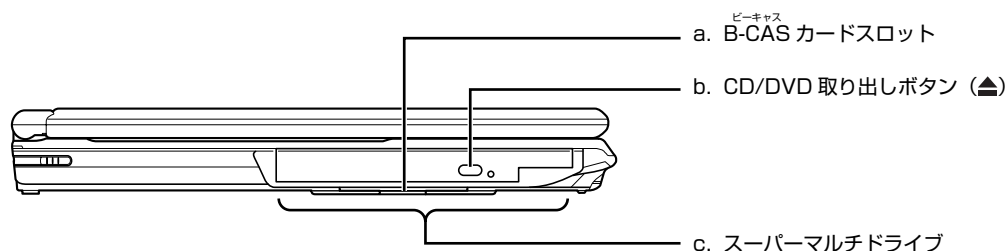
参照

『画面で見るマニュアル』 ≫「000260」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体上面」

3 各部の名称と働き

パソコン本体側面

パソコン本体左側面

■NF75X/D, NF75XN/D, NF55X/D の場合

（イラストは機種や状況により異なります）

a. B-CAS カードスロット（▶P.61）

B-CAS カードをセットするためのスロットです。

b. CD/DVD 取り出しボタン（▶P.48）

ディスクをセットしたり取り出したりするときに押します。パソコンの電源が入っているときに使えます。

c. スーパーマルチドライブ（▶P.48）

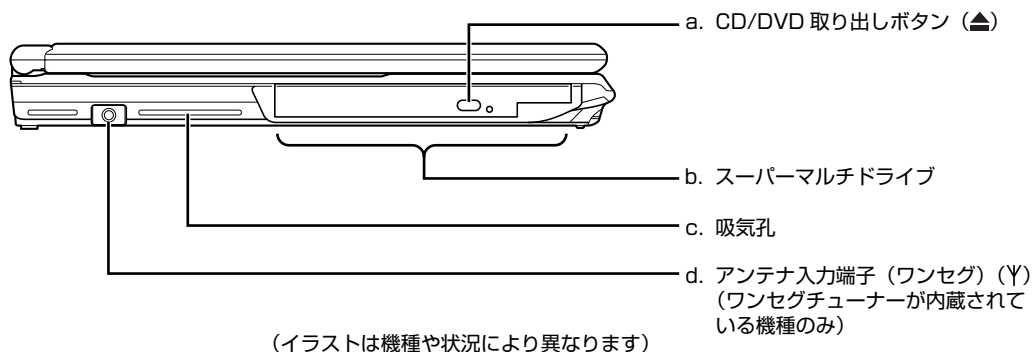
CD や DVD の読み出しや書き込みをしたり、音楽 CD や DVD-VIDEO の再生をしたりできます。

パソコン本体左側面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000280」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」→「パソコン本体左側面」

■NF70X, NF70XN, NF50X/V, NF50X, NF50XN の場合

（イラストは機種や状況により異なります）

a. CD/DVD 取り出しボタン（→P.48）
ディスクをセットしたり取り出したりするときに押します。パソコンの電源が入っているときに使えます。

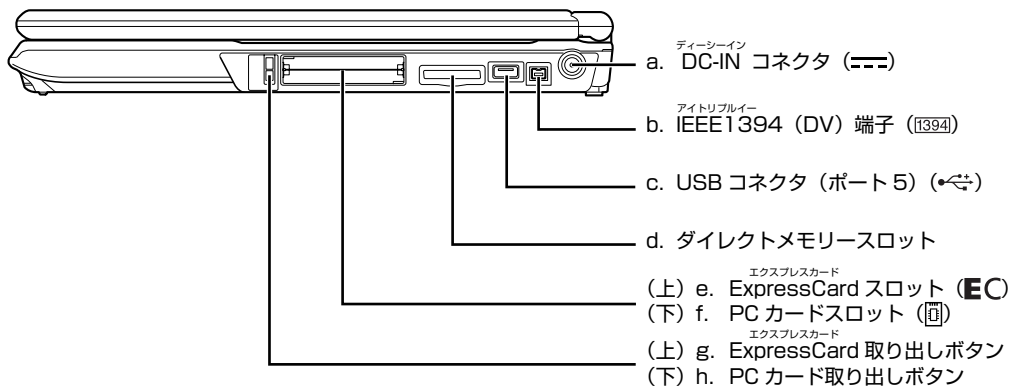
b. スーパーマルチドライブ（→P.48）
CD や DVD の読み出しや書き込みをしたり、音楽 CD や DVD-VIDEO の再生をしたりできます。

c. 吸気孔
空冷用ファンが空気を取り込むための穴です。

d. アンテナ入力端子（ワンセグ）
添付のアンテナ変換ケーブルを利用し、テレビアンテナや、添付の室内用ワンセグアンテナを接続します。

パソコン本体左側面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

『画面で見るマニュアル』 » 「000280」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」→「パソコン本体左側面」

パソコン本体右側面

a. DC-IN コネクタ
添付の AC アダプタを接続するためのコネクタです。

b. IEEE1394（DV）端子
デジタルビデオカメラ（DVC）や IEEE1394 規格の周辺機器を接続するための端子です。

c. USB コネクタ（ポート 5）
デジタルカメラ、プリンタなどの USB 規格の周辺機器を接続するためのコネクタです。

d. ダイレクトメモリースロット
SD メモリーカード、メモリースティック、xD- ピクチャーカードをセットするためのスロットです。
miniSD カードやメモリースティック Duo などは、アダプタを使用してください。

e. ExpressCard スロット
ExpressCard をセットするためのスロットです。

f. PC カードスロット
PC カードをセットするためのスロットです。

g. ExpressCard 取り出しボタン
ExpressCard を取り出すときに押します。

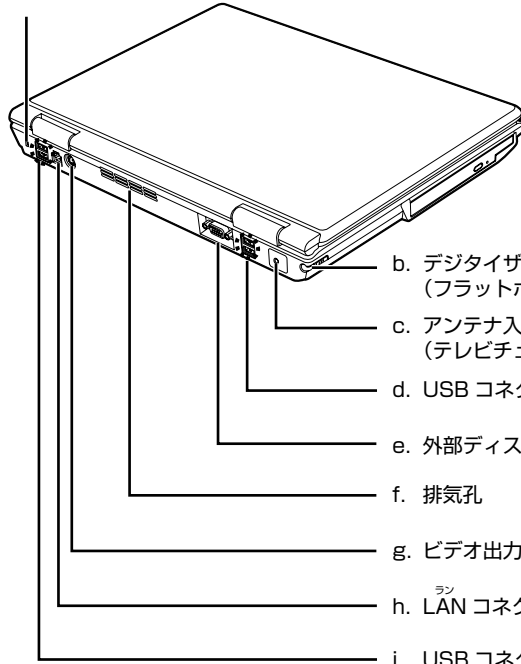
h. PC カード取り出しボタン
PC カードを取り出すときに押します。

パソコン本体右側面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000280」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」→「パソコン本体右側面」

4 各部の名称と働き

パソコン本体背面

（イラストは機種や状況により異なります）

a. 盗難防止用ロック取り付け穴
市販の盗難防止用ケーブルを接続することができます。

b. デジタイザ用ペン
スライドさせると取り出せます。フラットポイントデジタイザで操作するときに使います。

c. アンテナ入力端子（地上デジタル）
添付のアンテナ変換ケーブルを利用し、テレビアンテナを接続します。

d. USB コネクタ（ポート３～４）
デジタルカメラ、プリンタなどの USB 規格の周辺機器を接続するためのコネクタです。

e. 外部ディスプレイコネクタ
別売のアナログディスプレイなど、外部ディスプレイを接続するためのコネクタです。

f. 排気孔
パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。

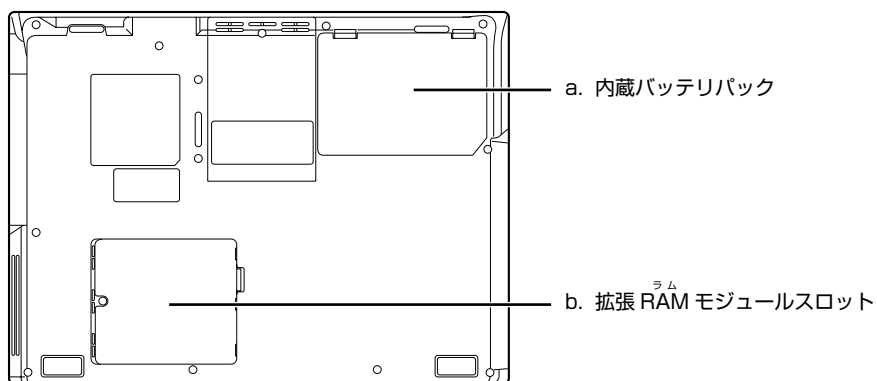
g. ビデオ出力（S ビデオ）端子
テレビにパソコンの映像を表示するための端子です。市販のケーブルを使って、テレビの S 映像入力端子と接続します。

h. LAN コネクタ
インターネットやホームネットワークをするとき、別売の LAN ケーブルを使って LAN に接続するためのコネクタです。

i. USB コネクタ（ポート１～２）
デジタルカメラ、プリンタなどの USB 規格の周辺機器を接続するためのコネクタです。

パソコン本体背面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000300」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体背面」

5 パソコン本体下面

（イラストは機種や状況により異なります）

a. 内蔵バッテリパック（P.35）

内蔵バッテリパックが装着されています。

b. 拡張 RAM モジュールスロット（P.108）

このパソコンのメモリが取り付けられています。

パソコン本体下面の各部の名称と働きについては、次のマニュアルでも説明しています。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000250」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体下面」

6 各部の名称と働き

キーボード

a. Esc キー

現在の作業を取り消して、1 つ前に行った作業に戻るときなどに使います。

b. ファンクションキー

ソフトウェアごとにいろいろな機能が割り当てられます。青い刻印の機能は、Fn を押しながらそのキーを押して使います。

c. Num Lk キー

Num Lk を押すと、テンキーモードになります。もう一度押すと解除されます。
テンキーモードでは、イラストの「テンキーになるキー」部分がテンキー（数字を入力しやすい配列のキー）として使えるようになります。テンキーモードで入力される文字は、キーの前面に刻印されています。

d. Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除するときに使います。また、選択されているファイルやアイコン、文字列を削除します。

e. Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除するときに使います。

f. Enter キー

入力した文字を確定するときなどに使います。
リターン（改行）キーともいいます。

g. カーソルキー

カーソルを上下左右に移動するときに使います。

h. Fn キー

この Fn を押しながら青い刻印のあるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

i. Shift キー

Shift を押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている文字や記号が入力できます。

j. Caps Lock キー

Shift を押しながら Caps Lock 英数 を押すと、英大文字固定モードになります。もう 1 度押すと解除されます。

k. 半角／全角キー

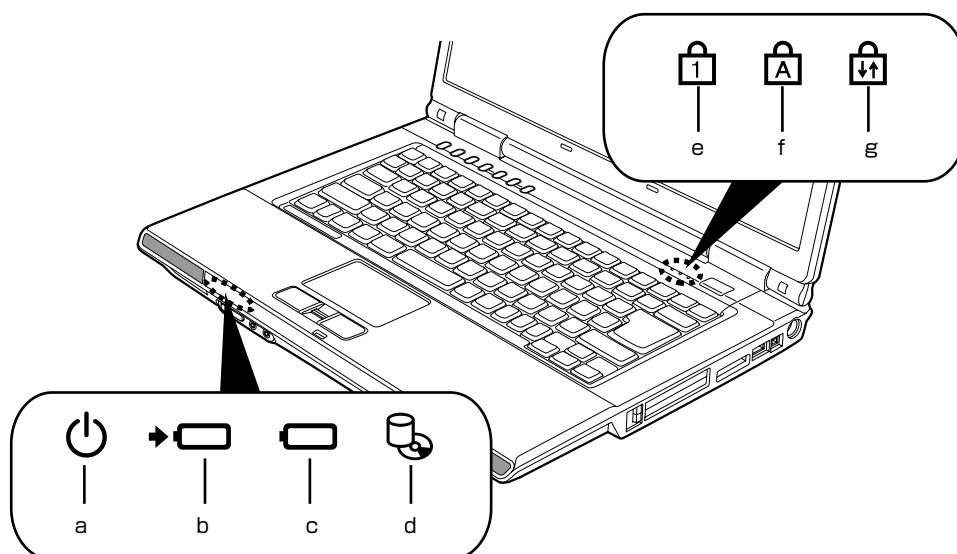
文字を入力するときに、半角と全角を切り替えます。全角にすると、日本語入力ができます。

その他のキーや詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 » 「000220」で検索
→「各部の名称と働き：キーボード」

7 各部の名称と働き

状態表示 LED

（イラストは機種や状況により異なります）

a. 電源ランプ（⏻）
パソコンの電源が入っているときに青く点灯します。

b. バッテリ充電ランプ（➔▭）
パソコンに AC アダプタが接続されている場合に、バッテリの充電状態を表示します。

c. バッテリ残量ランプ（▭）
バッテリの残量を表示します。

d. ハードディスク／ CD アクセスランプ（ ）
内蔵ハードディスクや CD、DVD にアクセスしていると きに点灯します。

e. Num Lock（ニューメリカルロック）ランプ（ ）
キーボードがテンキーモードの時に点灯します。
【Num Lk】キー（▶P.20）

f. Caps Lock（キャプスロック）ランプ（ ）
英大文字固定モード（英字を大文字で入力する状態）のときに点灯します。
【Caps Lock】キー（▶P.20）

g. Scroll Lock（スクロールロック）ランプ（ ）
画面をスクロールしないように設定（スクロールロック）したときに点灯します。
【Fn】を押しながら【Num Lk】を押して、スクロールロックの設定と解除を切り替えます。

状態表示 LED の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

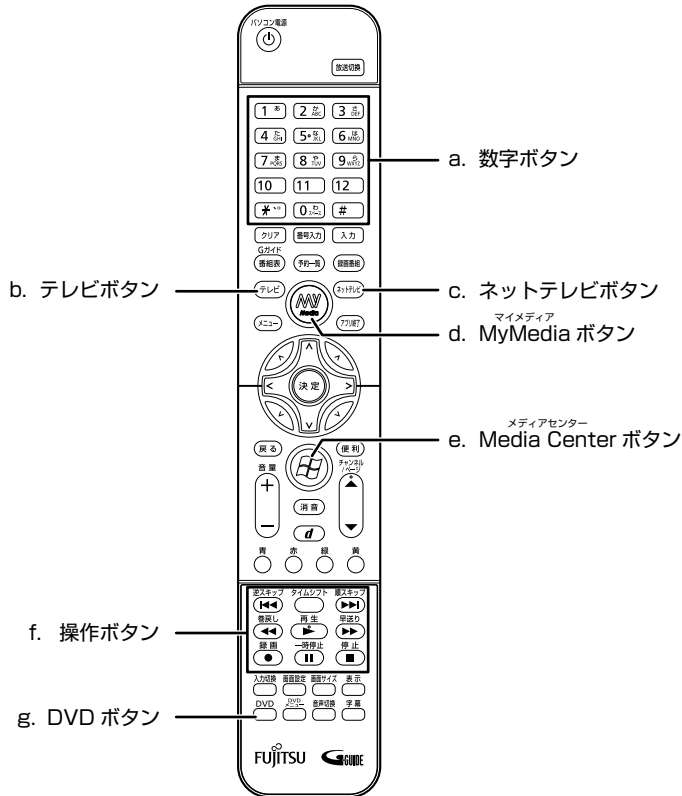
参照

『画面で見るマニュアル』 »「000230」で検索
→「各部の名称と働き：状態表示 LED」

8 リモコン

各部の名称と働き

NF75X/D, NF75XN/D, NF55X/D の場合、リモコンが添付されています

Windows が起動しているときの主な機能について説明しています。

a. 数字ボタン
テレビチャンネルを選択したり、DVD-VIDEO チャプターなどを指定したりできます。

b. テレビボタン
「DigitalTVbox」が起動して、テレビ番組を視聴できます。

c. ネットテレビボタン
「リモコンでインターネット」が起動し、映像配信サービスのチャンネルリストが表示されます。

d. MyMedia ボタン
「MyMedia」が起動して、映像や音楽を楽しめます。

e. Media Center ボタン
「Media Center」が起動します。

f. 操作ボタン
音楽 CD や DVD-VIDEO を再生したり、録画したテレビ番組を再生したりするときに使います。

g. DVD ボタン
「WinDVD」が起動して、DVD-VIDEO などを視聴できます。

リモコンの各部の名称と働きについて、その他のボタンや詳しい説明については次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000320」で検索
→「各部の名称と働き：リモコン」

第 2 章

パソコンの取り扱い

最初に確認していただきたいことと、使用上の注意事項などを説明しています。

パソコンの取り扱い

1 電源を入れる／切る

電源の入れ方と切り方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。

AC アダプタを接続する

AC アダプタは差し込み口の形状をよく確認して、奥までしっかりと差し込んでください。

警告

・雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による感電、火災の原因となります。

・AC アダプタは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体が故障する原因となります。

POINT

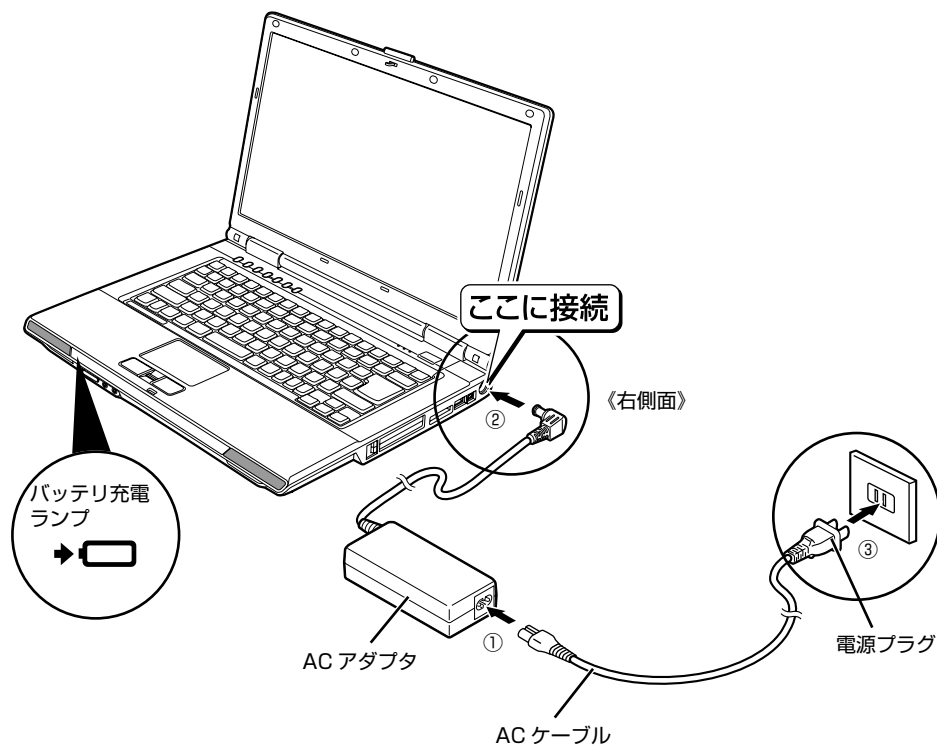
AC アダプタは熱くなる場合があります

パソコンの使用中は、AC アダプタが熱くなることがありますが、異常ではありません。

1 **液晶ディスプレイを開きます。**

ラッチを押してロックを外し、パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開けてください。

2 AC アダプタを取り付けます。

① AC アダプタに AC ケーブルを接続し、②パソコン本体の DC-IN［ディーシーイン］コネクタに接続します。③その後、電源プラグをコンセントに接続します。
正しく接続すると、状態表示 LED［エルイーディー］の🔌が点灯します。

（イラストは機種や状況により異なります）

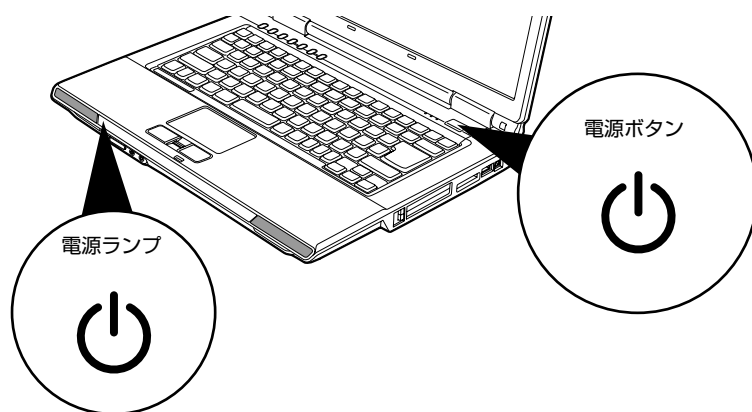
電源を入れる

ここでは電源の入れ方のうち Windows を起動する方法を説明しています。

重 要

電源を入れるときの注意

・電源を入れて本製品が起動するまでは、むやみにキーボードやフラットポイントに触らないでください。正常に起動できなくなる場合があります。
・パソコンを長時間お使いになる場合は、バッテリ切れによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを取り付けてください。

1 電源ボタン（⏻）を押します。

（イラストは機種や状況により異なります）

電源ランプが点灯し、画面にさまざまな文字などが表示されます。
■Windows のログオンパスワードを設定していない場合は、手順 4 に進んでください。
■Windows のログオンパスワードを設定している場合や、指紋を登録している場合は、手順 2 に進んでください。

重 要

電源ボタンは短く押してください

電源ボタンは、4 秒以上押し続けるとパソコンの電源が切れてしまいます。データが失われることもありますので、ご注意ください。

2 お使いのユーザー名をクリックします。

指紋を登録している場合は、そのまま指紋センサーに指をスライドさせると、手順 4 の画面が表示されます。ユーザー名をクリックする必要はありません。

（これ以降の画面は、機種や状況により異なります）

3 Windows のログオンパスワードを入力し、➔をクリックします。

2

4 このような画面が表示されたことを確認します。

（画面は機種や状況により異なります）

Windows が起動しない場合

バッテリ残量が少ないと電源を入れても Windows が起動しないことがあります。次の点を確認してください。

・ AC アダプタを取り付けているとき
  AC アダプタが正しく取り付けられているかを確認してください。
  「AC アダプタを接続する」（••▶P.24）

・ バッテリで使うとき
  バッテリの残量が充分にあるかを確認し、足りなければ AC アダプタを取り付けてください。

以上の点を確認しても Windows が起動しない場合は、次のマニュアルをご覧ください。

『トラブル解決ガイド』
→「Q&A 集」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「起動／終了」

電源を切る

ここでは電源の切り方のうち Windows を終了する方法を説明しています。
必ず、次の手順で Windows の終了処理を行ってください。Windows の終了処理を行うと、自動的に電源が切れます。
このパソコンを使わないときは、Windows を終了せずに「待機状態（スリープ）」にしておくこともできます。スリープにする方法については、「パソコンを待機状態にする／復帰させる」（••▶P.31）をご覧ください。

2

1 それまで行っていた作業を終了します。

ソフトウェアを起動している場合は、作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了します。例えばワープロソフトを使って文書を作成中の場合は、文書データを保存し、ワープロソフトを終了します。

POINT

ソフトウェアを終了しなかった場合

ソフトウェアを起動したままこれ以降の操作を進めると、途中で作業中のデータを保存するか確認するメッセージが表示されることがあります。誤操作の原因となるので、あらかじめデータを保存した後、ソフトウェアを終了してください。

2 CD や DVD などがセットされていたら、CD/DVD 取り出しボタンを押して取り出します。

POINT

CD や DVD などを入れたままだと

パソコンの電源を切ってしまうと、CD や DVD などは取り出せません。

3 （スタート）をクリックします。

（これ以降の画面は、機種や状況により異なります）

パソコンが動かなくなり操作できない場合

パソコンが動かなくなり（フラットポイントやキーボードが操作できないなど）、電源を切る操作ができないときは、次のマニュアルをご覧ください。

『トラブル解決ガイド』
→「Q&A 集」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「起動／終了」

それでも電源が切れないときは、パソコン本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して、強制的に電源を切ってください。

4 ▶をクリックします。

5 「シャットダウン」をクリックします。

しばらくすると Windows が終了し、パソコンの電源が自動的に切れます。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

パソコンを待機状態にする／復帰させる

このパソコンを使わないときは、パソコンの電源を切らずに待機状態にしておくと、次にパソコンを使うときにすぐに使い始めることができます。
待機状態にはスリープと休止状態があります。ここでは、パソコンをスリープにする方法と、スリープから復帰する方法について説明します。

2

POINT

次の場合はパソコンの電源を切ってください

・パソコンを長期間使わないとき
・パソコンの動作が遅くなったり、正常に動作しなくなったとき

上記のような場合はいったんパソコンの電源を切り、再度電源を入れ直してください。
電源の切り方については、「電源を切る」（••▶P.29）をご覧ください。

パソコンをスリープする

1 （スタート）→ をクリックします。

パソコンがスリープの状態になります。スリープ中は、状態表示 LED の 電源ランプが青く点滅します。

スリープから復帰する

1 電源ボタン（⏻）を押します。

パソコンがスリープから復帰（レジューム）します。電源ボタンは 4 秒以上押し続けないでください。パソコンの電源が切れてしまいます。

POINT

スリープについて

パソコンの電源を切らずに、作業中のデータなどをメモリに保存して、パソコンを待機状態にすることです。スリープ中は、メモリに保存したデータなどを保持するために少しずつ電力を消費しています。ご購入時の設定では、スリープしてから一定時間経過するか、バッテリの残量が少なくなると、データなどの保存先をメモリからハードディスクに切り替えて、パソコンの電源を切るようになっています。

スリープや休止状態については、次のマニュアルもご覧ください。

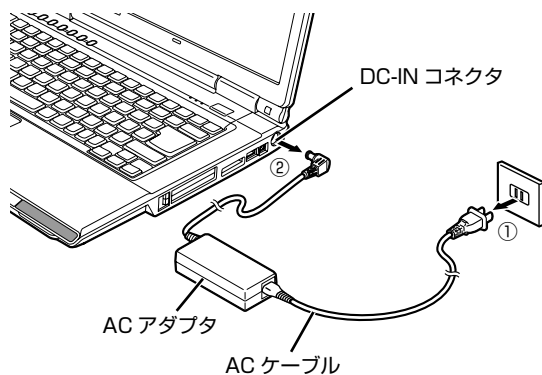
参照

『画面で見るマニュアル』 » 「000410」で検索
→「省電力機能を使う」

AC アダプタを取り外す

パソコン本体を持ち運ぶときや、周辺機器の取り付け・取り外しをするとき、パソコンを長時間使わないときは、必ず、AC アダプタを取り外します。

1 AC アダプタを取り外します。

① AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜き、② AC アダプタを DC-IN コネクタから取り外します。

（イラストは機種や状況により異なります）

重要

パソコン使用中に AC アダプタを取り外す場合

パソコンを使っている途中で AC アダプタを取り外し、バッテリでパソコンを使うときは、バッテリが充電されているか確認してください。特にご購入時にはバッテリが充電されていない場合があるので、ご注意ください。

AC アダプタを取り外した状態でのご注意

パソコンは電源を切った状態でも少量の電力を消費しています。そのため、AC アダプタを取り外した状態ではバッテリの残量が少しずつ減っていきます。
長時間 AC アダプタを取り外していた場合は、お使いになる前に AC アダプタを接続してから電源を入れてください。バッテリの残量を減らさないためには、AC アダプタを接続しておくか、長期間パソコンを使用しない場合には内蔵バッテリを外してください。

2 液晶ディスプレイを閉じます。

液晶ディスプレイは静かに閉じてください。

重要

液晶ディスプレイを閉じる場合

- 液晶ディスプレイは静かに閉じてください。液晶ディスプレイに強い力が加わると、液晶ディスプレイが故障する原因となることがあります。
- 液晶ディスプレイの間に文房具などを挟まないようにしてください。

バッテリで使う

バッテリで使うには

このパソコンは、バッテリを使って動作させることができます。
ここでは、バッテリの充電方法やバッテリでパソコンを使う方法について説明しています。

充電してバッテリで使う

1 **パソコンに AC アダプタを接続します。**

AC アダプタを接続すると充電が始まり、バッテリ充電ランプがオレンジ色に点灯します。
バッテリ充電ランプ（）は、次のように表示されます。

グリーン点灯	充電終了
オレンジ点灯	充電中

2 **バッテリ充電ランプがグリーン点灯に変わったことを確認し、AC アダプタを取り外します。**

3 **電源ボタンを押します。**

バッテリの残量を確認する

バッテリ残量は、電源が入っているときや充電中に、状態表示 LED［エルイーディー］のバッテリ残量ランプで確認できます。

■バッテリの残量ランプ（▭）は、次のように表示されます

パソコンが動作状態またはバッテリ充電中のときは点灯し、スリープのときは点滅します。

グリーン点灯	バッテリ残量　100 ～ 50%
オレンジ点灯	バッテリ残量　49 ～ 13%
レッド点灯	バッテリ残量　12%以下
オレンジ点滅	バッテリ残量計測中（内蔵バッテリパック装着後 4 秒間）
レッド点滅	バッテリ異常時
消灯	バッテリ未接続時

重要

バッテリ異常の表示

- バッテリ温度アラームの表示（バッテリ充電ランプ）
  バッテリ充電ランプのオレンジ点滅は、内蔵バッテリパックが熱を持って温度が高くなったり、冷やされて温度が低くなったときに、バッテリの保護機能が働いて充電を停止していることを表しています。しばらくして内蔵バッテリパックの温度が平常に戻ると、オレンジ点灯になり充電を再開します。
- バッテリの異常表示（バッテリ残量ランプ）
  バッテリ残量ランプが、早い間隔でレッド点滅する場合は、バッテリが正しく充電できないことを示します。

LOW［ロウ］バッテリ状態

バッテリが LOW バッテリ状態になると、状態表示 LED のバッテリ残量ランプがレッド点灯／点滅します。すみやかに AC アダプタを接続して、バッテリを充電してください。

バッテリについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照
▼ バッテリの注意事項について
▼ バッテリの異常表示がされた場合
『画面で見るマニュアル』 »「000590」で検索
→「バッテリで使う」

内蔵バッテリパックを交換する

バッテリを長期間使用すると充電する能力が低下するため、バッテリ稼働時間が短くなります。稼働時間が極端に短くなってきたら、新しいバッテリに交換してください。
使用できるバッテリについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000560」で検索
→「内蔵バッテリパックを交換する」→「必要なものを用意する」

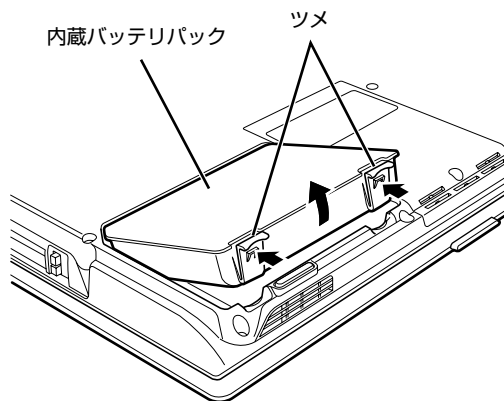
⚠警告

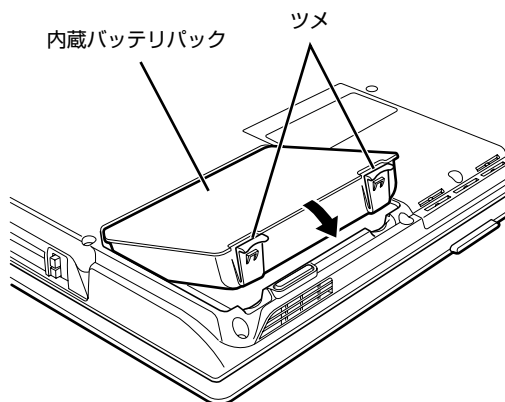
・バッテリパックの交換を行う場合は、パソコン本体の電源を必ず切り AC アダプタを取り外してください。また、パソコン本体やバッテリパックのコネクタに触れないでください。
感電や故障の原因となります。

1 **パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外します。**

2 **液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返します。**
液晶ディスプレイを閉じる場合は、文房具などを挟まないようにして静かに閉じてください。

3 **ツメを矢印の方向に押しながら、内蔵バッテリパックを斜め上に持ち上げて取り外します。**
内蔵バッテリパックがコネクタから外れます。

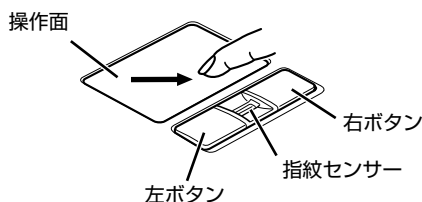
2

4 新しい内蔵バッテリパックを取り付けます。

新しい内蔵バッテリパックを斜め上から差し込み、ツメがカチッと音がするまでしっかりはめこみます。

3 フラットポイントを使う

NF75X/D の場合、または NF75XN/D で選択した場合には、フラットポイントデジタイザが搭載されています

ここでは主にフラットポイントの説明をしています。

フラットポイントについて

フラットポイントは、指先の操作でマウスポインタを動かすことのできる便利なポインティングデバイスで、操作面とその手前にある 2 つのボタンで構成されています。
操作面は、マウスでいえばボール部分の機能を持ち、指先で上下左右になぞることにより、画面上のマウスポインタを移動させます。
左右のボタンは、それぞれマウスの左右のボタンに相当し、その機能はソフトウェアにより異なります。
また、中央にある指紋センサーを使って、簡単に画面を上下にスクロールできます。
フラットポイントデジタイザが搭載されている場合で、デジタイザ機能を使いたい場合は、「デジタイザ用ペンで絵や文字を入力する」(••▶P.42)もご覧ください。

(イラストは機種や状況により異なります)

POINT

フラットポイント、およびフラットポイントデジタイザをお使いになるときは、次の点にご注意ください

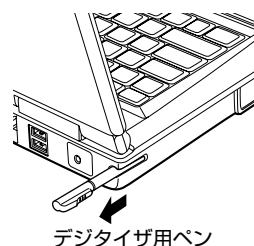
- フラットポイントやフラットポイントデジタイザは操作面表面の結露、湿気などにより誤動作することがあります。また、濡れた手や汗をかいた手でお使いになった場合、あるいは操作面の表面が汚れている場合は、マウスポインタが正常に動作しないことがあります。電源を切ってから、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
- お使いになるソフトウェアによっては、指紋センサーを使った画面のスクロールができない場合があります。

USB[ユーエスビー]マウスを使用することもできます

参照

▼ マウスの接続方法について
『画面で見るマニュアル』»「000680」で検索
→「マウスを接続する」
▼ マウスについて
『画面で見るマニュアル』»「000780」で検索
→「マウスを使う」

フラットポイントの使い方

NF75X/D の場合、または NF75XN/D で選択した場合には、フラットポイントデジタイザが搭載されています。
デジタイザ用ペンの説明もご覧ください。
ペンはパソコン本体背面にセットされています。
ペンをスライドさせると取り出せます。使わないときは、ここに差し込んでおきます。

重要

デジタイザ用ペンの取り扱い上の注意

・液晶ディスプレイやフラットポイントデジタイザを強くたたかないでください。
・キーボードやパームレスト部などに置いたまま液晶ディスプレイを閉じないでください。
・デジタイザ用ペンは、液晶ディスプレイでは使用できません。

■クリック／タップ

左ボタンをカチッと 1 回押して、すぐ離すか、操作面を1回タップ(軽くたたく)することです。
また、右ボタンを 1 回カチッと押すことを「右クリック」といいます。

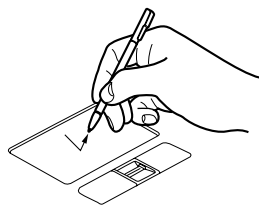
または

(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

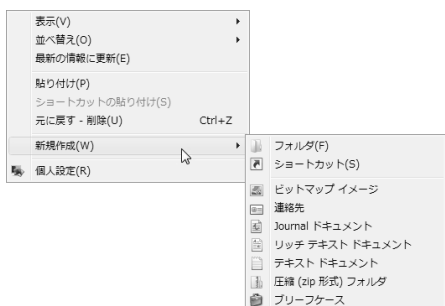
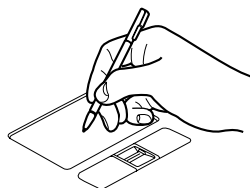
■デジタイザ用ペンの場合

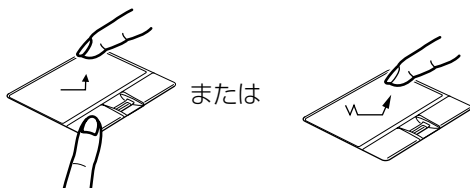
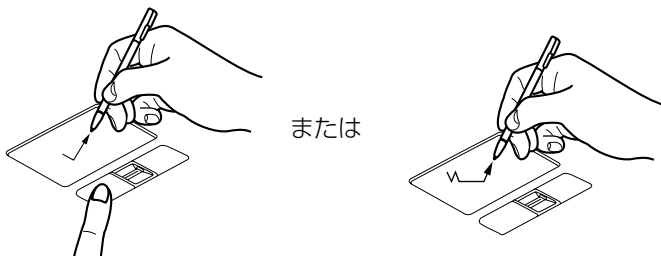
■ダブルクリック／ダブルタップ

左ボタンをカチカチッと 2 回素早く押して、すぐ離すか、操作面を 2 回連続してタップすることです。

または

■デジタイザ用ペンの場合

■ポイント

マウスポインタをメニューなどに合わせることです。ポイントすると、項目が反転表示されたり、項目の説明が表示されます。また、ポイントしたメニューの下にサブメニューがある場合（メニューの右端に ▶ が表示されています）、サブメニューが表示されます。

■ デジタイザ用ペンの場合
デジタイザ用ペンの先を、操作面に軽く触れると、マウスポインタが移動します。

■ドラッグ

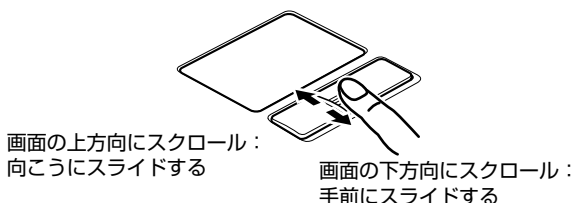
左ボタンを押しながら希望の位置まで操作面をなぞり、指またはデジタイザ用ペンを離します。
左ボタンを使わない場合は、操作面を素早く 2 回タップし、2 回目のタップのときに指またはデジタイザ用ペンを操作面上から離さないで、希望の位置まで操作面をなぞり、指またはデジタイザ用ペンを離します。

■ デジタイザ用ペンの場合

■スクロール

指紋センサー上で指先を前後にスライドすると、画面の表示を上下にスクロールできます。

1 スクロールしたい領域（ウィンドウの中）をクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

2 指紋センサー上で指先を前後にスライドします。

ウィンドウの中の表示が上下にスクロールします。

POINT

指紋センサーで画面をスクロールするときのご注意

お使いになるソフトウェアによっては、指紋センサーを使った画面のスクロールができない場合があります。

フラットポイントおよびフラットポイントデジタイザについては、次のマニュアルもご覧ください。

▼ フラットポイントについて（NF70X, NF55X/D, NF50X/V, NF50X の場合、または NF75XN/D で選択した場合）

『画面で見るマニュアル』 »「000640」で検索

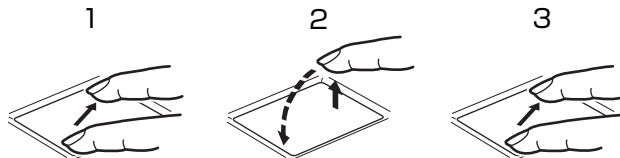
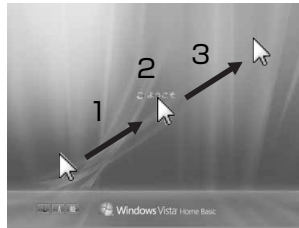
→「フラットポイントを使う」

▼ フラットポイントデジタイザについて（NF75X/D の場合、または NF75XN/D で選択した場合）

『画面で見るマニュアル』 »「000820」で検索

→「フラットポイントデジタイザを使う」

指が操作面の端まできたら

いったん操作面から指を離して、もう一度別の位置からなぞってください。指を離してもマウスポインタは動きません。

指を離している間はマウスポインタは動きません。

うまくクリックできない場合

なるべくボタンの中央部分を押すようにしてください。また、ボタンを押すときや離すときに、マウスポインタの位置がずれないように、気を付けてください。

2

デジタイザ用ペンで絵や文字を入力する

フラットポイントデジタイザが搭載されている機種のみ

フラットポイントデジタイザ上でペンを移動させると、画面上のマウスポインタが移動します。

重 要

デジタイザ用ペンで操作する場合

・デジタイザ用ペンは、液晶ディスプレイの画面に直接タッチして操作することはできません。
・デジタイザ用ペンで操作しているときは、指先などによるフラットポイントデジタイザの操作は有効になりません。また、フラットポイントデジタイザを操作する場合は、デジタイザ用ペンをフラットポイントデジタイザの操作面に近づけないでください。

絵や図形を入力する

このパソコンには、フラットポイントデジタイザを使って描画などができる、「水彩 LITE」および「PenPlus パーソナル for FMV」が添付されています。
また、「ペイント」などの描画ソフトや、画像編集ツールなどでもフラットポイントデジタイザを使うことができます。

参照

▼「水彩 LITE」について

『画面で見るマニュアル』 »「210350」で検索

→「水彩 LITE」

▼「PenPlus パーソナル for FMV」について

『画面で見るマニュアル』 »「210340」で検索

→「PenPlus パーソナル for FMV」

文字を入力する

「らくらく手書き入力」を使うと、フラットポイントデジタイザでペンを使って手書きで文字を入力することができます。

参照

▼ 文字入力について

『画面で見るマニュアル』 »「000820」で検索

→「フラットポイントデジタイザを使う」

4 パソコンの取り扱い

音量を調節する

スピーカーやヘッドホンの音量は、音量調節ボタン、キーボードなどで調節できます。

2

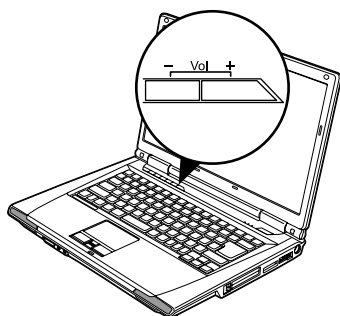
重要

音量の調節について

スピーカーが故障する原因となる場合があるので、音量はスピーカーから聞こえる音がひずまない範囲に設定・調整してください。

1 パソコン本体の音量調節ボタンを押して、適切な音量に調節します。

（−）側を押すと小さく、（＋）側を押すと大きくなります。

■NF75X/D, NF75XN/D, NF55X/D の場合

■NF75X/D, NF75XN/D, NF55X/D 以外の場合

キーボードで音量調節する／音を消す

・音量を小さくしたい場合
【Fn】を押しながら、【F8】を押します。
・音量を大きくしたい場合
【Fn】を押しながら、【F9】を押します。
・音を消したい場合
【Fn】を押しながら、【F3】を押します。
もう一度【Fn】を押しながら【F3】を押すと、画面下部に現在の音量を示すインジケータが表示され、音が出るようになります。

音量小 ←→ 音量大

通知領域の🔊で音量を調節する

通知領域のアイコンでも調節できます。その他、音量調節については、次のマニュアルをご覧ください。

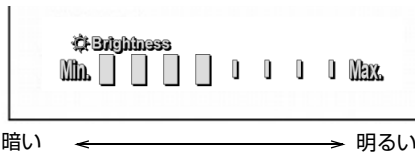
『画面で見るマニュアル』»「000190」で検索
→「音量を調節する」

液晶ディスプレイの明るさを調節する

キーボードで画面の明るさを、8 段階に変更できます。

1 明るさを設定します。

■明るくする場合
【Fn】を押しながら【F7】を押す
■暗くする場合
【Fn】を押しながら【F6】を押す
画面下部に明るさを示すインジケータが表示されます。

暗い ←→ 明るい

POINT

うまく調節できない場合

パソコンを再起動したり、スリープからレジュームしたり、AC アダプタの取り付けや取り外しを行った直後は、キーボードで明るさを変更しても有効にならないことがあります。しばらくしてから、変更してください。

明るさの設定について

- キーボードで画面の明るさを設定しても、パソコンを再起動したり、スリープや休止状態から復帰したり、AC アダプタの取り付けや取り外しを行った直後は、変更前の明るさに戻ります。
- ご購入時は、AC アダプタを接続している場合は明るく、バッテリで使っている場合は少し暗くなるように設定されています。
- 明るさの設定は、AC アダプタを接続している場合と、バッテリで使っている場合とで別々に変更できます。

明るさの設定については、次のマニュアルもご覧ください。

『画面で見るマニュアル』»「000180」で検索
→「液晶ディスプレイの明るさを変更する」

CD/DVD を使う

このパソコンで使えるディスク／使えないディスク

使えるディスク

このパソコンでお使いになることのできるディスクは、次のとおりです。

	種別	読みかたの例
CD	CD-ROM	シーディーロム
	CD-DA（音楽 CD）	シーディーディーエー
	フォト CD	フォトシーディー
	ビデオ CD	ビデオシーディー
	CD-R	シーディーアール
	CD-RW	シーディーアールダブル シーディーリライタブル
DVD	DVD-ROM	ディーブイディーロム
	DVD-VIDEO	ディーブイディービデオ
	DVD+R	ディーブイディープラスアール
	DVD+RW	ディーブイディープラスアールダブル
	DVD+R DL	ディーブイディープラスアールダブルレイヤー
	DVD-R	ディーブイディーアール ディーブイディーマイナスアール
	DVD-RW	ディーブイディーアールダブル ディーブイディーマイナスアールダブル
	DVD-R DL	ディーブイディーアールダブルレイヤー ディーブイディーマイナスアールダブルレイヤー
	DVD-RAM〔注〕	ディーブイディーラム

注：DVD-RAM をお使いになる場合には、フォーマットが必要です。

使えないディスク

次のディスクはお使いにならないでください。

- 円形以外の異形ディスク（星型やカード型などの変形ディスク）
  このパソコンは円形のディスクのみお使いになれます。
  円形以外の異形ディスクをお使いになると故障する場合があります。
  異形ディスクをお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
- 規格外の厚さの DVD 媒体
  DVD 規格では媒体の厚さを 1.14mm ～ 1.5mm と規定しています。
  記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。
  規格外の DVD 媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
- 傷またはヒビの入ったディスク
  傷またはヒビの入ったディスクをお使いになるとドライブ内部で破損する場合があります。
- カートリッジに入れた状態で使用するタイプの DVD-RAM（Type1）
  DVD-RAM は、カートリッジ無しタイプ、またはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをお使いください。なお、カートリッジに入れた状態で使用するタイプの DVD-RAM を、カートリッジから無理に取り出して使わないでください。

推奨ディスク

次のディスクの使用を推奨します。

下記以外のディスクをお使いの場合は、書き込み／書き換え速度が低下することがあります。また、下記以外の DVD-RW または DVD+RW をお使いの場合は、書き込みが正常に行えない場合や、再生できない場合があります。

なお、富士通サプライ品は、富士通コワーコ株式会社の取り扱い品です。
お問い合わせ先
富士通コワーコ株式会社　お客様総合センター
電話：0120-505-279
受付時間：9:00 ～ 17:30（土・日・祝日・年末年始除く）
URL：http://jp.fujitsu.com/coworco/

- **CD-R**
  太陽誘電：CDR-80WTY、CDR-80WPY
- **CD-RW**
  富士通サプライ品：CD-RW74/0241410
  三菱化学メディア：SW74QU1、SW74EU1、SW80QU1、SW80EU1
- **DVD-R**
  太陽誘電：DR-47WTY、DR-47TY
- **DVD-R DL**
  三菱化学メディア：DHR85YP1、DHR85H1
- **DVD-RW**
  日本ビクター：VD-W47H

- **DVD-RAM**
  松下電器　　：LM-HC47M（4.7GB、カートリッジ無）
  LM-HB47MA（4.7GB、カートリッジ有、取り出し可）
  LM-HB94M（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）
  日立マクセル：DRM47PWC.S1P A（4.7GB、カートリッジ無）
  DRMC94C.1P（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）
  DRM120C.1P A（4.7GB、カートリッジ無）
  DRMC240C.1P（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）
- **DVD+R**
  三菱化学メディア：DTR47JP
  太陽誘電：DR+47WTY
- **DVD+R DL**
  三菱化学メディア：DTR85H1、DTR85NP1
- **DVD+RW**
  リコー：D4RWD-S1CW、D8RWD-S1CW
  三菱化学メディア：DTW47U1

参照

▼ このパソコンで使えるディスク／使えないディスクについて

『画面で見るマニュアル』 »「000050」で検索
→「使えるディスクと対応ソフトウェア」

2

ディスクをパソコンにセットする／取り出す

ここでは、ディスクをパソコンにセット／取り出しをする方法について説明しています。

ディスクをセットする

⚠注意

・ディスクをセットまたは取り出す場合は、トレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

重要

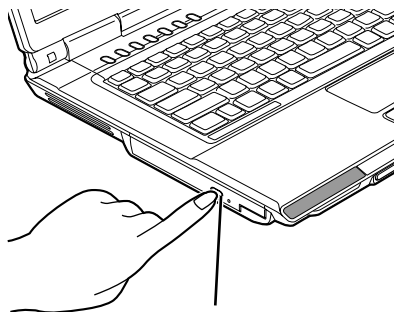
ディスクをセットする場合

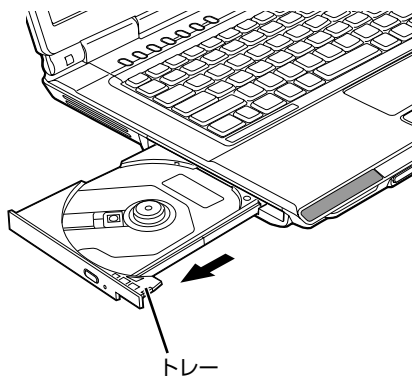
- CD や DVD に頻繁にアクセスしたり、DVD-VIDEO を再生したり、CD や DVD に書き込み、書き換えをしたりする場合は、パソコン本体に AC アダプタを取り付けることをお勧めします。
  パソコン本体に AC アダプタを取り付ける方法については、「AC アダプタを接続する」（••▶P.24）をご覧ください。
- ディスクをセットするときは、トレー中央の突起にディスクの穴を合わせ、パチッと音がするまでしっかりとはめ込んでください。
  きちんとはめ込まないと、ディスクがドライブ内部で外れて、トレーやドライブの内部、およびディスクを破損する原因となることがあります。

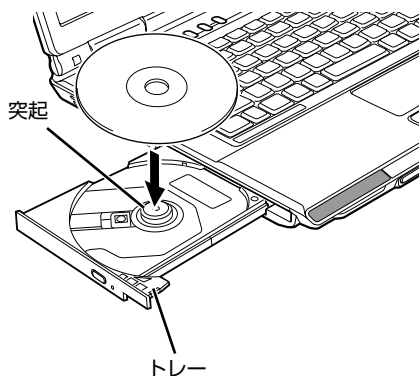
ディスクを再生する場合

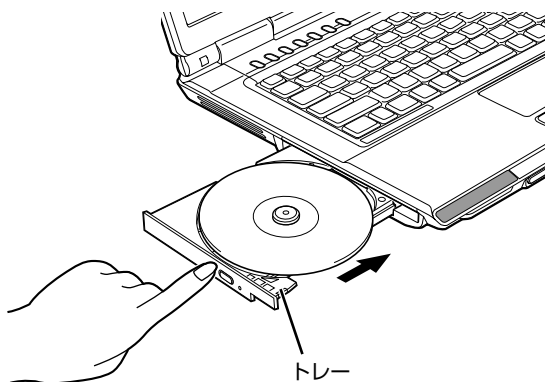
ディスクはデータの読み出しなどの際に高速回転するため、使用時には振動や風切音がすることがあります。

1 CD/DVD 取り出しボタンを押します。

トレーが少し飛び出します。
電源が切れている場合は、電源を入れてから CD/DVD 取り出しボタンを押してください。
状態表示 LED の が点滅中に CD/DVD 取り出しボタンを押してもかまいません。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 トレーを静かに引き出します。

3 トレーを支えながら、ディスクをセットします。

ディスクのレーベル面を上に（両面タイプの DVD-RAM の場合は、データの読み取り／書き込みを行う面を下に）して、トレー中央の突起にディスクの穴を合わせ、パチッと音がするまでしっかりとはめ込んでください。

4 トレーを静かに押し込みます。

ディスクをセットしてから、パソコンで使えるようになるまで、約 10 秒かかります。

「自動再生」ウィンドウが表示された場合

[x] をクリックします。

（画面は状況により異なります）

ディスクを取り出す

⚠注意

・ディスクをセットまたは取り出す場合は、トレーに指などを入れないでください。
　けがの原因となることがあります。

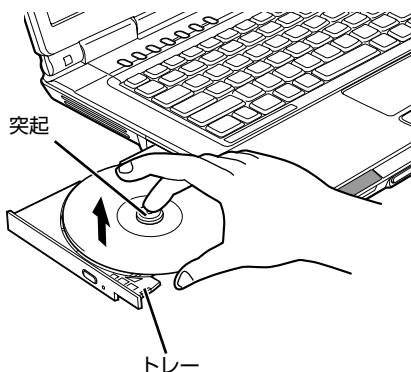
1　ディスクを利用しているソフトウェアがあれば終了します。

2　CD/DVD 取り出しボタンを押します。

トレーが少し飛び出します。
電源が切れている場合は、電源を入れてから CD/DVD 取り出しボタンを押してください。
状態表示 LED の が点滅中に CD/DVD 取り出しボタンを押してもかまいません。

3　トレーを静かに引き出します。

4 トレーを手で支えながらディスクを取り出します。

トレー中央の突起を押さえながら、ディスクがパソコン本体にぶつからないように、ディスクのふちを持ち上げてください。

（イラストは機種や状況により異なります）

5 トレーを静かに押し込みます。

ディスクが取り出せなくなった場合は、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 ≫「000052」で検索
→「CD/DVD をパソコンにセットする／取り出す」→「CD/DVD が取り出せなくなったら」

このパソコンでできることのご紹介

画面で見るマニュアルでは、次のようなことを説明しています。
この他にも様々な機能がありますので、画面で見るマニュアルをご覧ください。

参照

▼ DVD を見る
▼ CD や DVD にデータを保存する
▼ CD に音楽を保存する
『画面で見るマニュアル』
→「8. 添付ソフトウェア一覧（カテゴリ別）」→「CD・DVD」
▼ 音楽 CD を聴く
『画面で見るマニュアル』
→「8. 添付ソフトウェア一覧（カテゴリ別）」→「音楽・音声」→「パソコンで音楽を楽しむ」

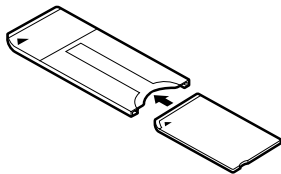
メモリーカードを使う

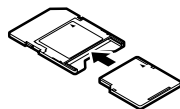
ここでは、このパソコンでお使いになれるメモリーカードの種類や、メモリーカードのセット方法、および取り出し方法について説明しています。
SD メモリーカード、メモリースティックおよび xD- ピクチャーカードを総称して、メモリーカードと呼んでいます。

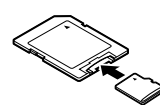
メモリーカードをお使いになる上でのご注意

メモリーカードをお使いになるときは、次の点にご注意ください。

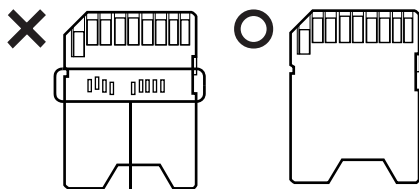
- メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo または miniSD カードや microSD カードをお使いの場合は、必ずアダプタにセットしてからお使いください。そのまま挿入すると、メモリーカードが取り出せなくなります。
  また、メモリーカードを取り出す場合は、必ずアダプタにセットしたまま取り出してください。アダプタだけをダイレクトメモリースロットに残すと、故障の原因となります。
- メモリースティック Duo アダプタは、塗装部分が剥がれた状態では使用しないでください。ダイレクトメモリースロット内部の端子が接触し、メモリースティック Duo またはメモリースティック PRO Duo を認識しなかったり、故障の原因となります。
  また、剥がれた塗装部分などにテープなどを貼って使用することもしないでください。アダプタが取り出せなくなる場合があります。

メモリースティック Duo アダプタ

メモリースティック Duo
メモリースティック PRO Duo

miniSD カードアダプタ

miniSD カード

microSD カードアダプタ

microSD カード

- miniSD カードのアダプタには、裏面の中央部から端子が露出している製品がありますが、このタイプのアダプタは使用しないでください。ダイレクトメモリースロット内部の端子が接触し、故障の原因となる場合があります。
  miniSD カードのアダプタは、裏面中央部から端子が露出していない製品をご利用ください。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　このマニュアルの巻頭でご案内しています。

使えるメモリーカード

ダイレクトメモリースロットは、デジタルカメラなどに使われているメモリーカードに直接データを読み書きするためのスロットです。
ダイレクトメモリースロットが対応しているメモリーカードは次のとおりです。

MEMORY STICK	SD / SDHC	xD-Picture Card
・メモリースティック〔注〕 ・メモリースティック（メモリーセレクト機能付）〔注〕 ・メモリースティック Duo（デュオ）〔注〕 ・メモリースティック PRO（プロ）〔注〕 ・メモリースティック PRO Duo（プロデュオ）〔注〕	・SD メモリーカード ・miniSD（ミニエスディー） カード ・microSD（マイクロエスディー） カード ・SDHC（エスディーエイチシー） カード	・xD（エックスディー） - ピクチャーカード ・xD（エックスディー） - ピクチャーカード Type M（タイプエム） シリーズ ・xD（エックスディー） - ピクチャーカード Type H（タイプエイチ） シリーズ

注：マジックゲート機能が必要なデータの記録／再生はできません。

メモリーカードについて

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- マルチメディアカード、セキュアマルチメディアカードには対応していません。
- SD メモリーカード、miniSD カード、microSD カードは、著作権保護機能（CPRM［シーピーアールエム］）に対応しています。
- 2GB を超える SD メモリーカードには対応していません。2GB を超える場合は、SDHC カードをお使いください。
- SD IO カードには対応していません。

メモリーカードをセットする／取り出す

⚠注意

- メモリーカードをセットまたは取り出す場合は、ダイレクトメモリースロットに指などを入れないでください。
  けがの原因となることがあります。

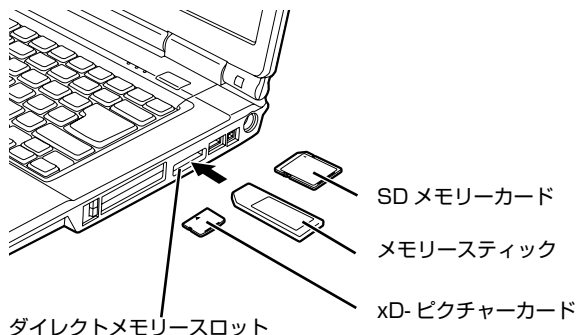
重要

メモリーカードをお使いになるときは、次の点にご注意ください

- メモリーカードや記録されているデータの取り扱いについては、メモリーカードや周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- メモリーカードをデジタルカメラなどで使っている場合は、お使いの機器でフォーマットしてください。Windows でフォーマットすると、デジタルカメラなどでメモリーカードが使えなくなります。デジタルカメラなどでのフォーマットの方法については、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。
- テレビチューナーやワンセグチューナーが搭載されている機種の場合は、番組の視聴中や録画中または録画予約の待機中は、メモリーカードのセットや取り出しを行わないでください。

メモリーカードをセットする

1　メモリーカードをダイレクトメモリースロットにセットします。

製品名のある面を上にして、奥までしっかりと差し込んでください。

※製品名のある面を上側にして、まっすぐにセットします。
※ SD メモリーカード、メモリースティック、xD- ピクチャーカードを同時に使用することはできません。

（イラストは機種や状況により異なります）

メモリーカードを取り出す

1　画面右下の通知領域にある（ハードウェアの安全な取り外し）をクリックします。

2　「nnn を安全に取り外します」をクリックします。

nnn にはお使いのメモリーカードの名称が表示されます。

3　「ハードウェアの取り外し」というメッセージが表示されたら、メモリーカードをパソコンから取り出します。

メモリーカードを一度押すと、少し飛び出します。
飛び出したメモリーカードを引き抜きます。

メモリーカードについて詳しくは次のマニュアルもご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000700」で検索
→「メモリーカードを使う」

8 テレビを見るためには

テレビチューナーが搭載されている機種のみ

テレビを見るために必要な準備

初めてテレビを見るときは、次の作業が必要です。

1 アンテナケーブルを接続する（••▶P.59）

2 チャンネルを設定する

テレビの視聴や録画をするには、お使いの地域に合わせてチャンネルを設定する必要があります。
テレビを視聴するソフトウェアではチャンネルを設定する必要があります。テレビを視聴するソフトウェアは次のとおりです。

・「DigitalTVbox［デジタルテレビボックス］」
　Windows を起動して地上デジタル放送を楽しめます

チャンネル設定の方法は、次のマニュアルをご覧ください。

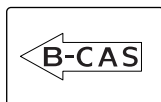
参照

▼「DigitalTVbox」について

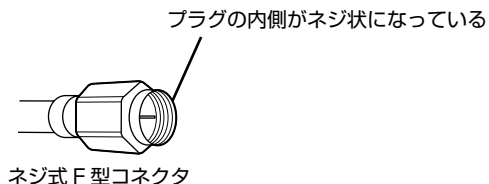
『FMV テレビ操作ガイド』

必要なものを用意する

必ず用意してください

■B-CAS（ビーキャス）カード

■アンテナ変換ケーブル

■アンテナケーブル（別売）

アンテナケーブルはＦ型コネクタプラグ付アンテナケーブルをご購入ください。
アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式のＦ型コネクタプラグ付アンテナケーブルの使用をお勧めします。
なお、ケーブルは適切な長さのものを用意してください。

重要

ネジ式でないＦ型コネクタプラグ付アンテナケーブルをお使いになる場合は、次の点にご注意ください

ネジ式でないＦ型コネクタプラグ付アンテナケーブルは、ネジ式に比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

必要に応じて用意してください

アンテナ線の形状などによって、必要なものが異なります。ここでは、代表的なものを説明します。
「接続例」（▶P.58）を参考に、用途に合った製品をご購入ください。

■混合器

別々の電波を、１本の線に混合するための機器です。

■ブースター

受信電波が弱い場合に電波を増幅させるための機器です。

■アッテネーター

強すぎる電波を減衰して受信できるようにするものです。

このパソコンのテレビチューナーで視聴できる放送について

地上デジタル放送を視聴できます。
地上デジタル放送を視聴するには地上デジタル放送に対応した UHF［ユーエイチエフ］アンテナが必要です。

2

■地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送用のアンテナについて
  地上デジタル放送を視聴するには、地上デジタル放送に対応した UHF アンテナを、地上デジタル放送の電波送信塔に向けて設置する必要があります。
  地上デジタル放送に対応していないUHFアンテナをお使いの場合は、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを設置してください。また、地上デジタル放送に対応した UHF アンテナをお使いの場合でも、アンテナの向きを変更したり、ブースターが必要になったりする場合があります。アンテナの向きを変えると、今まで視聴していた地上アナログ放送が映らなくなることがありますので、そのようなときは、地上デジタル放送用と地上アナログ放送用のアンテナを、別に設置することをお勧めします。
  また、お住まいの地域によって、周波数が異なります。詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電器店にお問い合わせください。

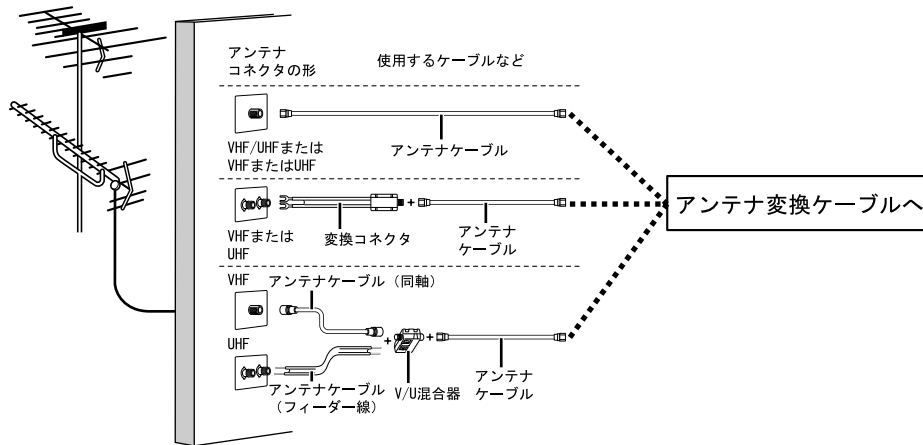
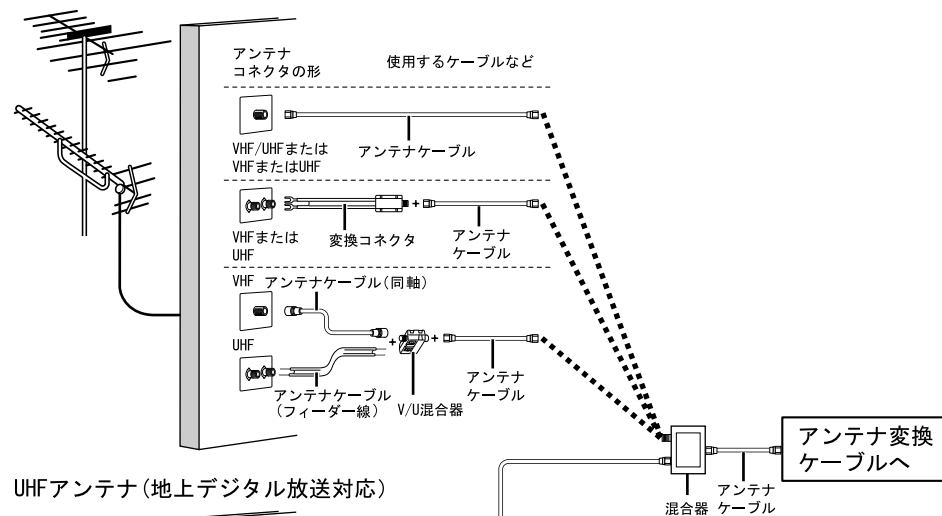
ケーブルテレビをご利用になっている場合

ケーブルテレビをご利用になっている場合は、受信契約をしているケーブルテレビ放送会社によって接続方法が異なります。
このパソコンでは、「同一周波数パススルー方式」、「周波数変換パススルー方式」に対応しています。詳しくは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

- 地上デジタル放送の放送エリアについて
  地上デジタル放送を視聴する前に、お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内かどうかを、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2007 年 8 月現在）で確認してください。
  なお、お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられたり、電波が弱かったりする場合は、視聴できないことがあります。

接続例

接続のしかたは壁のアンテナコネクタの形や、お使いになるケーブルによって異なります。次の図から最も近いものを選択し、必要なケーブル類を接続してください。

■UHF アンテナが地上デジタル放送に対応している場合

■UHF アンテナが地上デジタル放送に対応していない場合

■マンションなどの共同受信の場合
マンションなどの共同受信の場合は、視聴できる放送が異なります。マンションの管理者にお問い合わせください。

アンテナケーブルを接続する

ここでは、アンテナ変換ケーブルを使用してパソコン本体にアンテナケーブルを接続する方法について説明します。

⚠警告

・雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による感電、火災の原因となります。

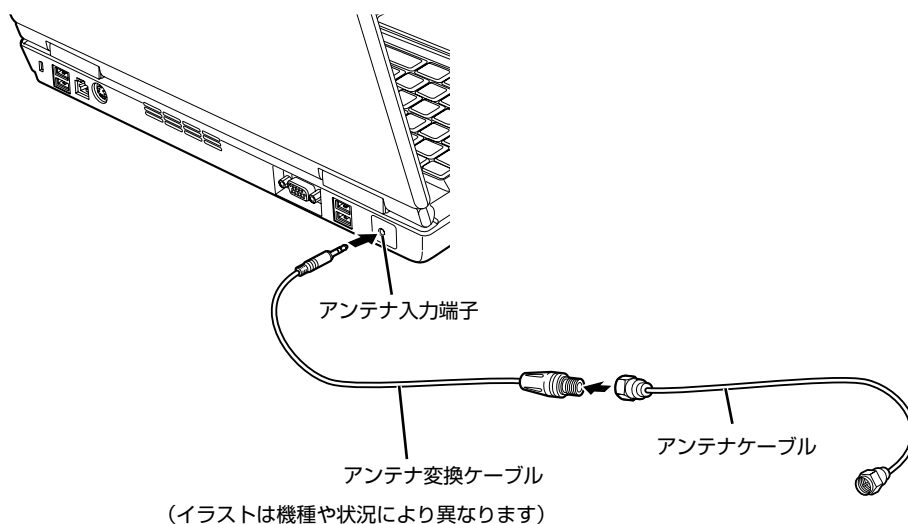
重要

アンテナケーブルを接続する場合
パソコンの電源を切ってから、アンテナケーブルを接続してください。

1 **パソコンの電源が入っている場合は、電源を切ります。**

2 **アンテナ変換ケーブルとアンテナケーブルを接続します。**
アンテナケーブルは、「接続例」（••▶P.58）を参考にして、壁などのアンテナコネクタに接続してください。

3 アンテナ変換ケーブルをパソコン本体のアンテナ入力端子（地上デジタル）に接続します。

（イラストは機種や状況により異なります）

POINT

デジタル放送のデータ放送で双方向通信をする場合は

デジタル放送のデータ放送で双方向通信をする場合は、インターネットに接続する必要があります。その場合は、Windows のセットアップが終わってから、接続してください。
インターネットに接続する場合は、次のマニュアルをご覧ください。

参照

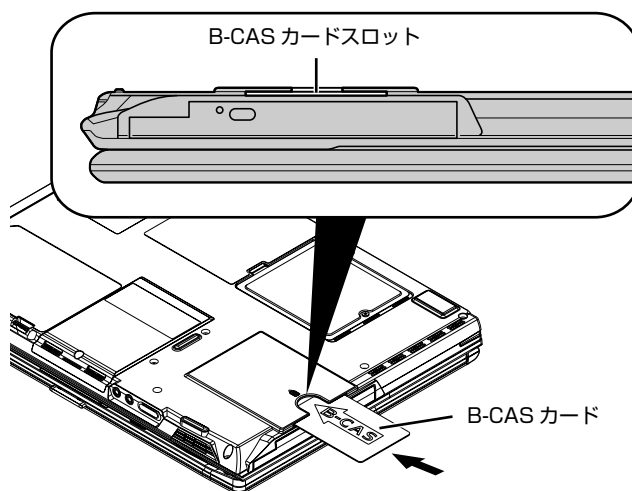
▼ インターネットに接続する場合
『スタートガイド２　セットアップ編』
→「インターネットを始めるための準備をする」

B-CAS カードをセットする

1 **パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外します。**

2 **液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返します。**

3 **B-CAS カードを B-CAS カードスロットに挿入します。**

B-CAS カードスロットに B-CAS カードを奥までしっかりと挿入します。
「B-CAS」と印字されている面が下図のようになるように挿入してください。
B-CAS カードの向きが正しいことを確認してください。

POINT

B-CAS カードの取り外し方

B-CAS カードは通常パソコン本体にセットしたままにしておきますが、取り外す場合は、次の手順に従って操作してください。

1. パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外します。
2. 手で B-CAS カードを引き抜きます。

B-CAS カードについて

- B-CAS カードの説明書に記載されている内容をよくお読みください。
- B-CAS カードは必ずパソコン本体に挿入してください。B-CAS カードを挿入していないと、地上デジタル放送を視聴することができません。

B-CAS カードについては、次のマニュアルをご覧ください。

『FMV テレビ操作ガイド』
→「テレビを楽しむ」→「アナログ放送とデジタル放送について」→「アナログ放送やデジタル放送を受信するには」→「地上デジタル放送を受信するには」

テレビを見るための準備が完了したら

POINT

テレビを見るときの注意

・パソコンの電源が切れた状態（シャットダウン状態）から、パソコン本体の Digital TV ボタンやリモコンのテレビボタンを押して、テレビ視聴・録画ソフトウェア「DigitalTVbox」を起動すると、「DigitalTVbox」の画面が表示されるまで時間がかかります。
・「DigitalTVbox」の画面が表示されてからしばらくの間、テレビ番組がスムーズに再生されない場合があります（録画データには影響ありません）。
このとき、「放送波、録画番組内にデータエラーが検出されました。正常に受信できません。」というメッセージが一瞬表示されることがありますが問題ありません。

テレビを見るときの注意については、次のマニュアルもご覧ください。

参照
「FMV テレビ操作ガイド」
→「テレビを見る」→「テレビを見るときの注意」

このパソコンでテレビを見る方法については、次のマニュアルをご覧ください。

参照
▼ テレビを見る前に確認していただきたいこと
▼ テレビを見たり録画したりする方法
▼ トラブル時の対処方法
『FMV テレビ操作ガイド』

9 リモコンを使う

テレビチューナーが搭載されている機種のみ

ここでは、リモコンを使用するための準備とお使いになる際の注意について説明します。

リモコンに乾電池を入れる

⚠警告

・乾電池を機器に入れる場合は、＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂・液漏れ・発火の原因となります。

⚠注意

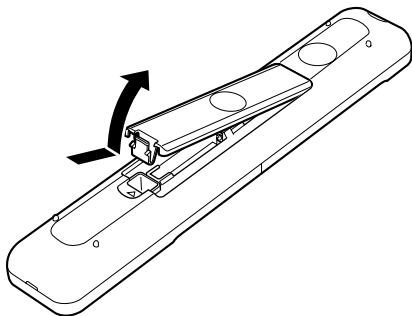
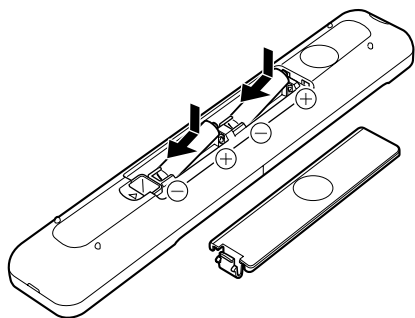
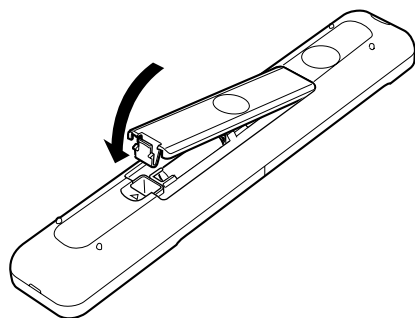
・電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因となることがあります。

・使い切って寿命のなくなった乾電池はすぐに取り出してください。電池の液漏れなどの原因となることがあります。

重要

ご購入時に添付されている乾電池はお早めに交換してください

ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。

1 リモコンを裏返して電池ボックスのふたを開けます。

2 乾電池の＋（プラス）と－（マイナス）の向きを確かめてから添付の乾電池を入れます。

3 電池ボックスのふたを閉めます。

リモコンについて

リモコンでは次の操作ができます。

- テレビを見る
- テレビを録画する
- DVD を見る
- 音楽を聞く
- 映像配信サービスを利用する

詳しくは、次のマニュアルを参照してください。

参照

▼ 操作について

『FMV テレビ操作ガイド』

『画面で見るマニュアル』

→「4.FMV 使いこなし事例集」→「リモコンで楽しむ」

▼ リモコンの各部名称について

『画面で見るマニュアル』 » 「000320」で検索

→「各部の名称と働き：リモコン」

リモコンをお使いになる場合の注意

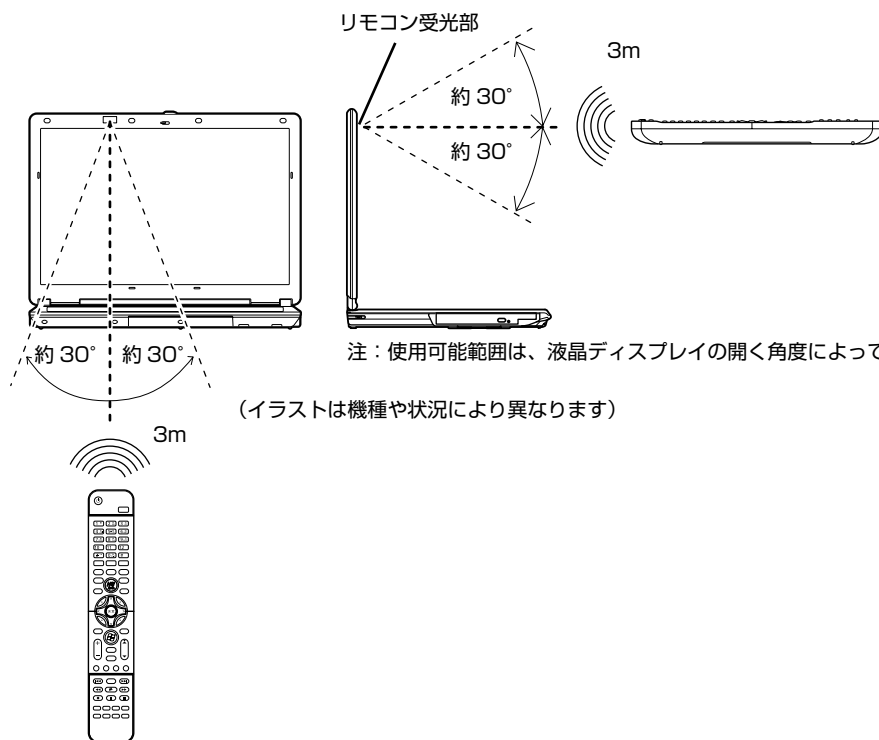
リモコンをお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

- リモコンをお使いになる場合、Windows が起動しているときはリモコンマネージャーが起動している必要があります。画面右下の通知領域に(リモコンマネージャー）が表示されているか、確認してください。
- 直射日光などの強い光があたる場所での使用は避けてください。使用距離が短くなる場合があります。
- 信号が受けやすいように、リモコンをパソコン本体の受光部に向けてください。
- パソコン本体の受光部とリモコンの間に障害物がない場所に設置してください。
- リモコンをプラズマディスプレイ／プラズマテレビの近くでお使いになると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
  これはプラズマディスプレイ／プラズマテレビから放射される赤外線により、リモコンとパソコン本体の受光部との通信が妨害されるために起こる現象です。
  このようなときは、パソコン本体またはプラズマディスプレイ／プラズマテレビの設置場所を変更してください。

▼ リモコンマネージャーについて

『画面で見るマニュアル』 ≫「200890」で検索
→「リモコンマネージャー」

パソコン本体のリモコン受光部使用可能範囲

パソコンの取り扱い

10 ワンセグ放送を見るためには

ワンセグチューナーが内蔵されている機種のみ

ここでは、ワンセグ放送についての概要やアンテナの接続方法、ワンセグ放送を見るためのソフト「Corel Mobile TV 2.0［コーレルモバイルテレビ］」の起動方法や操作方法を説明しています。

2

ワンセグ放送について

ワンセグ放送とは、携帯端末向け地上デジタル放送サービスの一つで、携帯電話やノートパソコンなどの移動端末向けのサービスです。デジタルハイビジョン放送などのワンセグ以外の地上デジタル放送と比べると、画質は鮮明ではありませんが、携帯電話やノートパソコンなどでも乱れの少ない映像が受信できます。ワンセグ放送は、ワンセグ放送が開始されている地域で受信することができます。ワンセグ放送が受信可能な地域については、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）などでご確認ください。

従来のアナログ放送と比べて

ワンセグ放送は、従来のアナログ放送と比べて主に次の特長があります。

- ゴーストがなくなります。
  ワンセグ放送はデジタル放送なので、地形や建造物の反射波の影響で画像が 2 重、3 重に映ったり、揺れたりする現象（ゴースト）がありません。
- テレビで電子番組リストが見られます。
  各放送局から番組と共に送信される電子番組リストが利用できます。電子番組リストは素早く更新されるので、急な番組変更の場合も安心です。

このパソコンでできること

このパソコンに内蔵されているワンセグチューナーを使用して、次のことができます。

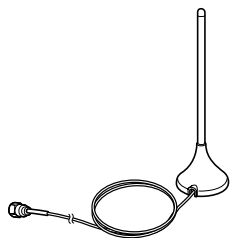
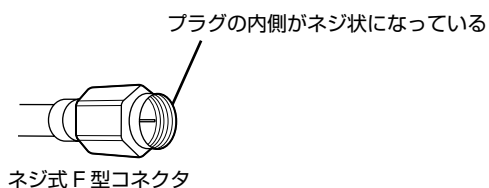
- 日本国内で放送している携帯端末向け地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」放送を視聴することができます。
- ワンセグ放送の電子番組リストを見ることができます。
- 視聴中の番組を録画することができます。
- ワンセグ放送の電子番組リストから、録画したい番組を選択するだけで、録画を予約することができます。
- データ放送を有効にすると、現在視聴している番組や放送局に関する追加情報などを表示することができます。

必要なものを用意する（屋内でワンセグ放送を見る場合のみ）

必ず用意してください

■アンテナ変換ケーブル

どちらかを用意してください

■室内用ワンセグアンテナ　■アンテナケーブル（別売）

アンテナケーブルはＦ型コネクタプラグ付アンテナケーブルをご購入ください。
アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式のＦ型コネクタプラグ付アンテナケーブルの使用をお勧めします。
なお、ケーブルは適切な長さのものを用意してください。

重要

室内用ワンセグアンテナは屋内専用です

室内用ワンセグアンテナは屋内専用です。屋外ではお使いになれません。また、次の点にご注意ください。

- 強電界地域用です。電波の弱い地域では使えません。
- 社団法人デジタル放送推進協会の発表している受信エリア内でも受信できない事があります。
- 地形や構造物の周囲環境、電波の伝播状況によっては受信できないことがあります。
- 見通しが良い窓の近くに設置してください。

室内用ワンセグアンテナの取り扱い上の注意

- 室内用ワンセグアンテナは、本パソコン専用です。また、ワンセグ放送の受信以外にはお使いになれません。
- アンテナ及びケーブルは、乳幼児の手の届かない場所に置いてください。ケーブルが首にまきついたりして危険です。
- 室内用ワンセグアンテナは、安定した場所に置いてください。不安定な場所に置くとアンテナが落下して、アンテナが破損したり、落下したアンテナに当たってケガをする原因となることがあります。
- ケーブルを手や足などで引っかけたりしないような場所に設置してください。また、床においておくと足で踏んでケガをする恐れがありますのでご注意ください。
- アンテナの先端などで目をついたりしないよう、ご注意ください。

ネジ式でない F 型コネクタプラグ付アンテナケーブルをお使いになる場合は、次の点にご注意ください

ネジ式でない F 型コネクタプラグ付アンテナケーブルは、ネジ式に比べノイズの影響を受けやすいため、映像がとぎれたり、乱れたりすることがあります。

必要に応じて用意してください

アンテナの設置されている環境によっては、次のものが必要になる場合があります。用途に合った製品をご購入ください。

■ブースター

受信電波が弱い場合に電波を増幅させるための機器です。

■アッテネーター

受信電波が強すぎる場合に、電波を減衰して受信できるようにするものです。

■分波器

複数の種類の電波が 1 本のアンテナ線で配信されている場合に、それぞれの電波を分離するものです。ワンセグ放送が BS デジタル・110 度 CS デジタル放送と同じアンテナ線で配信されている場合は、分波器を使用してワンセグ放送を分離し、接続することをお勧めします。

■地上デジタル放送専用のアンテナ

お住まいの地域によっては、地上デジタル放送専用のアンテナを設置する必要があります。

屋内でワンセグ放送を見る

ここでは、屋内でワンセグ放送を見るためにアンテナを接続する方法について説明します。

■屋内にアンテナコネクタがある場合

屋内にアンテナコネクタがある場合は、市販のアンテナケーブルと添付のアンテナ変換ケーブルを使って、壁のアンテナコネクタに接続します。

安定した画像や音声でワンセグ放送を見ることができますが、アンテナコネクタのある場所でしか見ることができません。

なお、ワンセグ放送を受信するためには、地上デジタル放送に対応したアンテナが必要です。

■屋内にアンテナコネクタがない場合

屋内にアンテナコネクタがない場合は、添付の室内用ワンセグアンテナとアンテナ変換ケーブルを使います。

壁のアンテナコネクタに接続する場合に比べて、ワンセグ放送の映りが悪くなったり不安定になったりすることがあります。

⚠警告

・雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による感電、火災の原因となります。

1 パソコンの電源が入っている場合は、電源を切ります。

2 アンテナケーブルをアンテナ変換ケーブルに接続します。

屋内にアンテナコネクタのある場合は、「屋内にアンテナコネクタのある場合」にお進みください。

屋内にアンテナコネクタの無い場合は、「屋内にアンテナコネクタの無い場合」にお進みください。

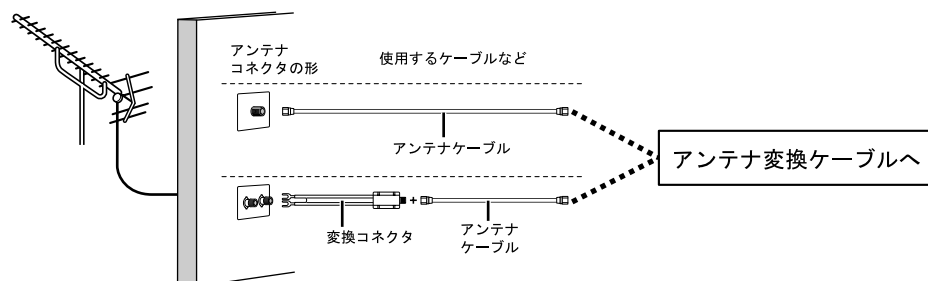
■屋内にアンテナコネクタのある場合

屋内にアンテナコネクタのある場合は、アンテナケーブルをアンテナ変換ケーブルに接続します。

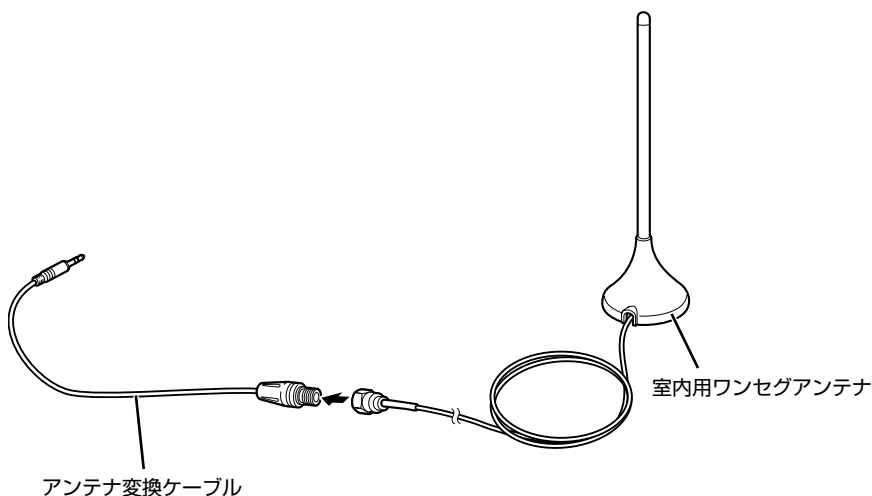
接続のしかたは、壁のアンテナコネクタの形や、お使いになるケーブルによって異なります。次の図から最も近いものを選択し、必要なケーブル類を接続してください。

（地上デジタル放送に対応した UHF［ユーエイチエフ］アンテナが必要です。）

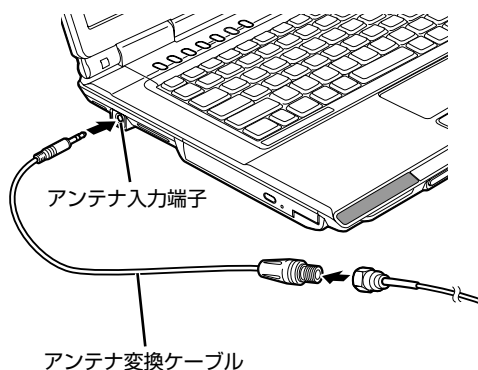
地上デジタル放送に対応したアンテナ
注：地上デジタル放送以外の放送に同時に対応している場合もあります。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

・ケーブルテレビをご利用中の場合
ケーブルテレビを利用している場合は、伝送方式によって、このパソコンに添付のアンテナ変換ケーブルを使用したワンセグ放送の受信をすることができないことがあります。伝送方式については、ご利用のケーブルテレビ会社にあらかじめご確認ください。なお、本製品は同一周波数パススルー方式（放送電波と同じチャンネルで UHF が送信される方式）にのみ対応しています。ご利用のケーブルテレビがこの方式の場合のみ、ケーブルテレビの端子にこのパソコンに添付のアンテナ変換ケーブルを接続してワンセグ放送を受信することができます。
・共聴施設・集合住宅におけるワンセグ放送の受信について
難視聴対策のなされている施設や、電波障害対策の共聴施設、および集合住宅における共同受信施設において、このパソコンに添付のアンテナ変換ケーブルを使用してワンセグ放送を受信するためには、アンテナやブースターなどの機器の再調整や、その他の機器の追加、および取り替えなどが必要になる場合があります。

■屋内にアンテナコネクタの無い場合

屋内にアンテナコネクタの無い場合は、添付の室内用ワンセグアンテナをアンテナ変換ケーブルに接続します。

（イラストは機種や状況により異なります）

3 アンテナ変換ケーブルをパソコン本体のアンテナ入力端子に接続します。

2

屋外でワンセグ放送を見る

このパソコンは、内蔵ワンセグアンテナが搭載されています。パソコン本体だけでワンセグ放送を手軽に屋外で視聴することができます。
屋外の電波の弱い場所などでワンセグ放送を視聴すると映像や音声が止まったり、映像を見ることができない場合があります。その場合は、見通しの良い場所へ移動すると、映りがよくなる場合があります。

⚠ 警告

・自転車やバイク、自動車などの運転中は、ワンセグ放送や音楽を視聴しないでください。
周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ交通事故の原因になります。また、歩行中でも周囲の交通に充分に注意してください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。

重要

- 次のような電波の受信状況が悪い場所では映像や音声が止まったり、映像を見ることができない場合があります。
  - 放送局から遠い地域または極端に近い地域
  - 山間部やビルの陰
  - 移動中
  - 高圧線、ネオン、無線局の近くなど
  - 線路や交通量の多い道路の近くなど
  - 地下街、トンネルの中など
  - その他妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所など

POINT

- 屋外でワンセグ放送を見る場合は、バッテリの残量が充分にあることを確認してください。

視聴するエリアを選択する

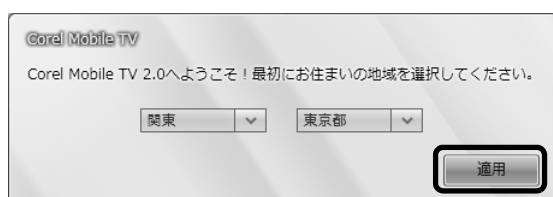
「Corel Mobile TV 2.0」を初めて起動したときや、普段使用している場所から離れた場所（旅行先など）でワンセグ放送を視聴する場合には、視聴するエリアの選択を設定する必要があります。視聴するエリアを選択しないと、「Corel Mobile TV 2.0」の操作や動作が不安定になる場合があります。

2

1 **（スタート）→「すべてのプログラム」→「Corel Mobile TV」→「Corel Mobile TV 2」の順にクリックします。**

「Corel Mobile TV 2.0」が起動します。

2 **エリアと地域を選択し「適用」をクリックします。**

選択したエリアで受信可能なすべてのチャンネルが設定され、ワンセグ放送が受信できるようになります。

POINT

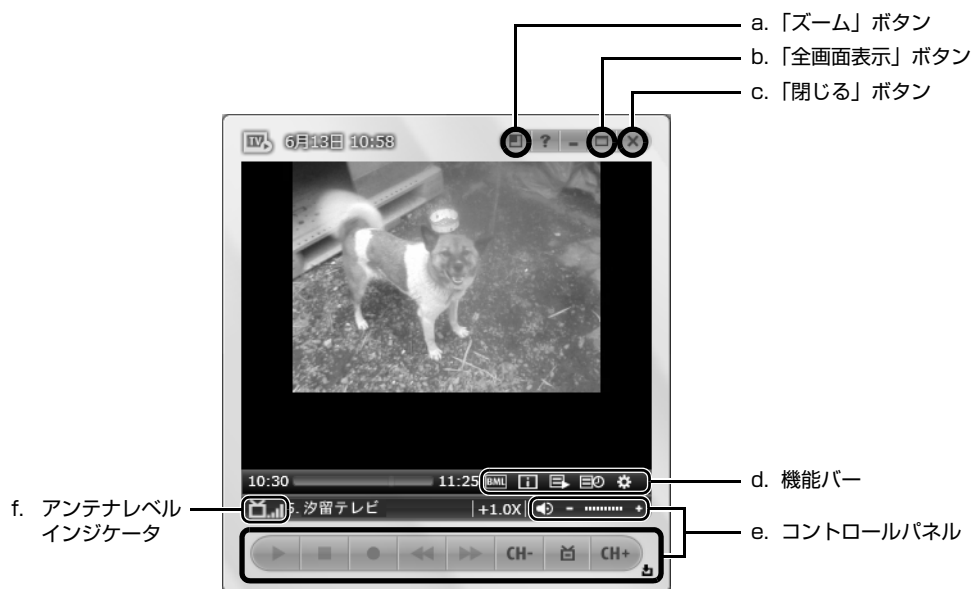
受信するエリアが一覧に無い場合は、地域を変更してからエリアを選択してください

電波環境によっては、受信する場所の住所を選択するより、その付近の受信エリアを選択する方が良好に受信ができる場合があります。

ワンセグ放送を視聴するエリアが一覧に無い場合や、一覧から選択しても受信状態が良くならない場合は、「カスタム設定」を行ってください。「カスタム設定」については、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 » 「002020」で検索
→「ワンセグ放送を見る／録る」

「Corel Mobile TV 2.0」の基本操作

a.「ズーム」ボタン

画面サイズを 200%（ズーム）に拡大します。画面表示が 200%のときにクリックすると、元の表示（100%）に戻ります。

b.「全画面表示」ボタン

全画面表示にするときに押します。もとの画面サイズに戻す場合は、画面上をクリックするまたは、【Esc】を押します。

c.「閉じる」ボタン

「Corel Mobile TV 2.0」を終了するときに押します。

d. 機能バー

番組情報や、録画予約一覧、ヘルプなどを見るときに使います。

e. コントロールパネル

テレビ番組の録画、録画した番組の再生、早送り、早戻し、停止の操作ができます。

チャンネルを変更します。中央のボタンを押すと、「チャンネル一覧」を表示します。

音量の調整や、音量を消すことができます。

f. アンテナレベルインジケータ

受信中の放送信号の強さを表示します。表示されるアンテナの本数が多いほど、ワンセグ放送の受信状態が良好になります。

ワンセグ放送のチャンネル変更や音量調節は本体前面のチャンネルボタンや音量調節ボタンでも行うことができます。チャンネルボタンや音量調節ボタンについては、「パソコン本体前面」（••▶P.10）をご覧ください。

ワンセグ放送や予約録画、録画番組の再生については、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「002020」で検索

→「ワンセグ放送を見る／録る」

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

録画を予約する

「Corel Mobile TV 2.0」では、番組を予約して録画することができます。
ここでは、録画を予約する方法と、予約した番組を確認する手順について説明します。

重要

パソコンの日付や時刻を確認してください

予約録画をするときは、パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。パソコンの時計は少しずつずれる場合があるので、ときどき時刻あわせをしてください。
パソコンの日時を変更する場合は、次のマニュアルをご覧ください。

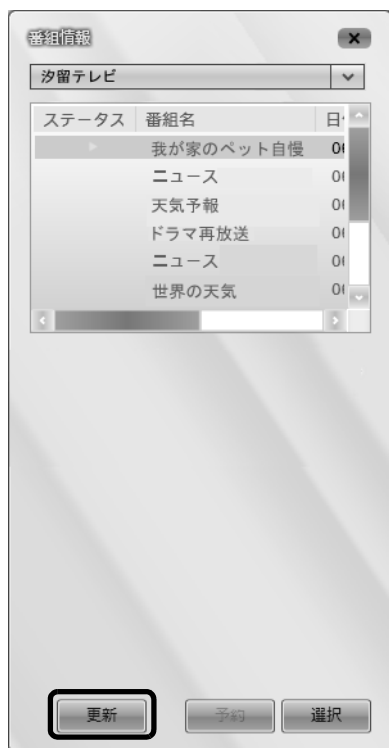
参照
『画面で見るマニュアル』»「920080」で検索
→「日付や時刻を変える」

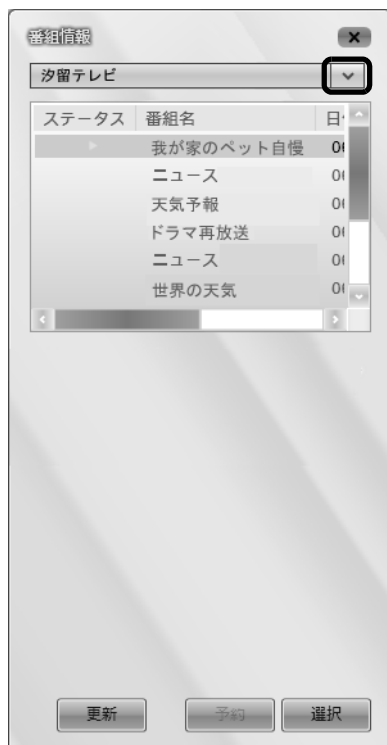
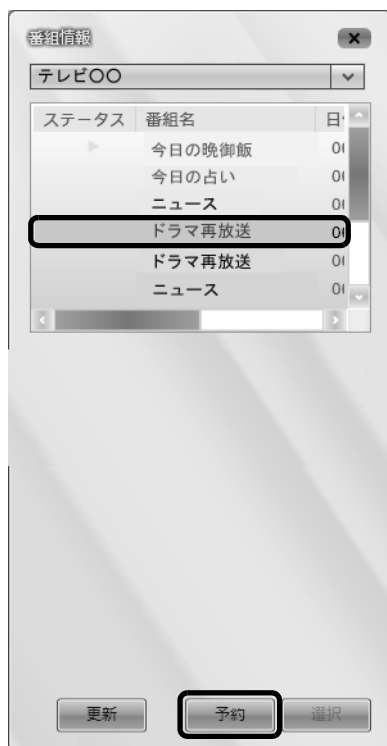
番組情報について

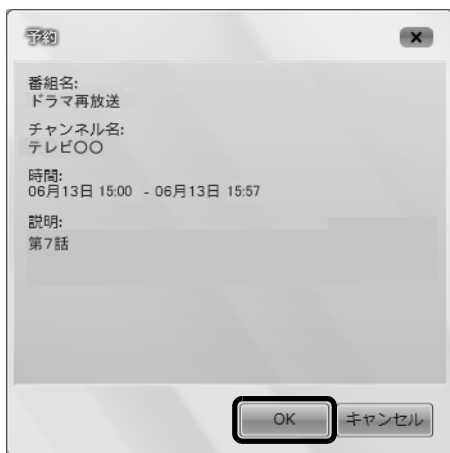
各チャンネルの放送波には番組情報が含まれていない場合があります。その時は番組名に何も表示されません。

1 **機能バーにある「番組情報」ボタンをクリックします。**

2 「更新」をクリックします。

お使いの状況で受信できる放送局の一覧の更新が始まります。
更新を行う前でも、前回視聴したときに受信した放送局が表示されている場合がありますが、前回視聴した時から放送予定が変更されている場合があります。予約録画を確実に行うためには必ずアップデートを行ってください。

3 録画したい番組が放送される、放送局をクリックします。

録画予約が可能な番組の一覧が表示されます。

4 録画を予約したい番組をクリックして、「予約」をクリックします。

5 「予約」ウィンドウで「OK」をクリックします。

選択した番組の録画予約が確定します。

6 ✕ をクリックします。

以上で、番組の録画予約が完了しました。予約した番組が録画されます。

POINT

予約した番組を確認する場合

機能バーにある「録画予約一覧」ボタンをクリックすると、録画を予約した番組の一覧が表示されます。

録画した番組を再生する

「Corel Mobile TV 2.0」では、視聴中の番組をリアルタイムに録画したり、特定の番組を予約録画することができます。
ここでは、録画した番組を再生する方法について説明します。

1 **機能バーにある「録画済み番組」ボタンをクリックします。**

録画済みの番組の一覧が表示されます。

次のページへ

2 再生したい番組を選択し、「再生」ボタンをクリックします。

録画した番組の再生が始まります。

ワンセグ放送について、詳しくは次のマニュアルをご覧ください。

『画面で見るマニュアル』 »「002020」で検索
→「ワンセグ放送を見る／録る」

指紋認証を使う

指紋認証を使うための準備をする

指紋認証とは、指紋センサーで指の指紋を読み取って行う認証のことです。
指紋認証を使うと、ユーザー名やパスワードの入力を省略し、指紋センサーに指をスライドさせるだけで次のようなことができます。

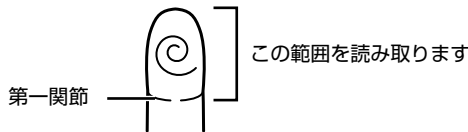
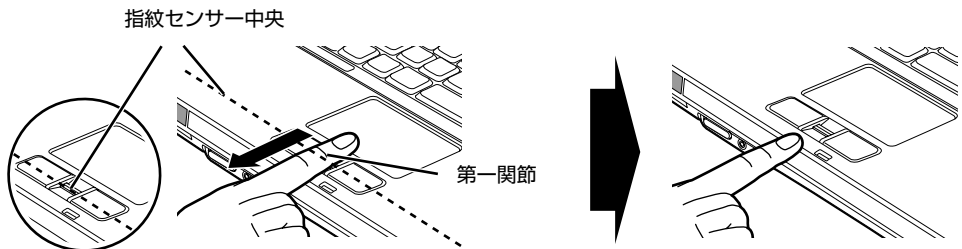
- Windows へログオンする
- ID（ユーザー名）やパスワードを必要とするホームページへログインする
- パスワードが設定されたスクリーンセーバーを解除する
- ユーザーの切り替えをする

ここでは、指紋認証を使えるようにするための初期設定について説明しています。

指のスライドのさせ方

指紋の登録や認証を行う場合は、次のように指をスライドさせてください。認証の失敗を減らすことができます。

1 **操作する指の第一関節が、指紋センサーの中央部に当たるように準備します。**

第一関節より先の部分が読み取り範囲となります。

2 **指をまっすぐ伸ばして第一関節を指紋センサーに軽く当てます。手全体を手前に引くようにして、センサー部が完全に見えるまで水平にスライドさせます。**

（イラストは機種や状況により異なります）

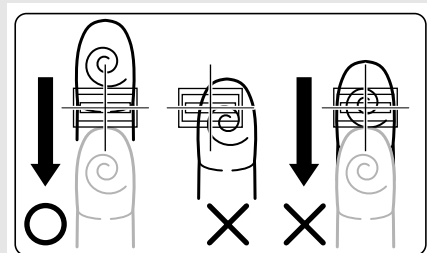
重要

指を突き立てたり、引っかけるようにスライドさせないでください

指紋センサーに指のはら（指紋の中心部）が接触していなかったり、指を引っかけるようにスライドさせると指紋の読み取りがうまくいかない場合があります。
必ず、指のはら（指紋の中心部）が指紋センサーに接触するようにスライドさせてください。

（イラストは機種や状況により異なります）

うまく認識されないときは

次の点に気を付けて操作してください。
・ 指の第一関節より先の部分が、指紋センサー上を通過するようにする
・ 指紋の渦の中心が、指紋センサーの中心を通過するようにする
・ 1 秒程度で通過するくらいの速さで、スーッと動かす

なお、親指など、指紋の渦の中心を合わせにくい指は、うまく認識できないことがあります。
その際は、中心を通過させやすい指を登録してください。

指紋の読み取りがうまくいかない場合

指紋センサーに指をスライドさせるときは、必ず指紋の入力画面の表示を確認し、指紋の入力が可能な状態になってから行ってください。指紋の入力画面が表示される前から指を指紋センサーに置くと、指紋の認証に失敗する場合があります。
また、指のスライドが速すぎたり遅すぎたりした場合や、スライドの途中で指を止めたりした場合にも、正常に認識できないことがあります。画面のメッセージに従って、スライドの速さを調節してください。

指紋を登録する

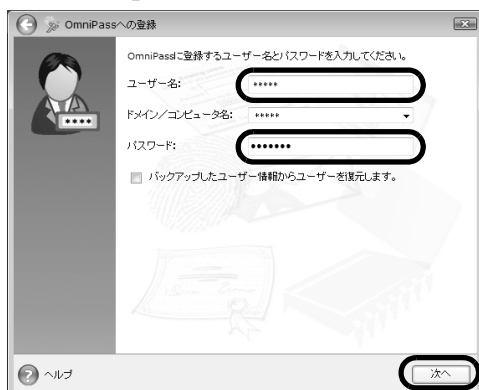
認証に必要な情報を登録します。

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass 登録ウィザード」の順にクリックします。

2 「既存の Windows ユーザーの登録」をクリックします。

3 Windows のログオンパスワードを設定している場合は、ログオンするときと同じパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。
Windows のログオンパスワードを設定していない場合は、「パスワード」は空欄のまま「次へ」をクリックします。

「ユーザー名」が Windows にログオンするときと同じことを確認してください。

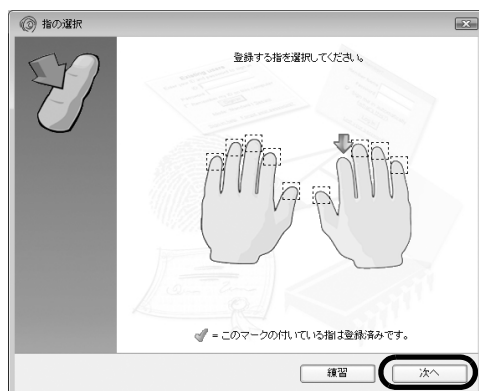
次のページへ

重要

Windows のログオンパスワードを設定していない場合

セキュリティを強くするためにはWindowsのログオンパスワードもあわせて設定することをお勧めします。パスワードを設定しない場合は、誰でもそのユーザーでWindows にログオンし、個人の文書や画像などのデータファイルを開いたり削除したりできます。
Windows のログオンパスワードの設定方法については、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「202460」で検索
→「Windows のログオンパスワードを設定する」

4 認証で使用する指をイラストで選択し、「次へ」をクリックします。

POINT

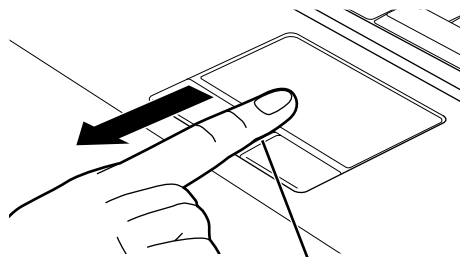
「練習」ボタンについて

この画面にある「練習」ボタンをクリックすると、指紋登録の練習をすることができます。指紋を登録する前に指紋の読み取りを練習されることをお勧めします。
ウィンドウ左上の、または「完了」ボタンをクリックすると、指紋を登録する画面に戻ります。

指紋の登録本数について

指先の怪我やその他の理由で指紋を認証できなくなった場合に備え、登録時の手順では 2 本分の指紋を登録します。1 本目の登録が完了すると、再度指の選択画面に戻り、2 本目の登録を行います。

5 指紋の読み取りが始まります。画面の表示に従って指紋の読み取りを行ってください。

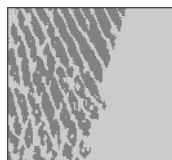
指紋が正常に読み取れた場合にはイラストが緑色に、読み取れなかった場合にはイラストが赤色に表示されます。
指紋の採取は最低 3 回行います。指紋の採取が成功した後に、確認のためにもう一度指紋センサーに指をスライドさせます。

（イラストは機種や状況により異なります）

POINT

指紋は正しく登録してください

指紋の登録が正常に完了しても、指紋の読み取りが不完全なまま登録してしまうと、Windows のログオン時などの指紋認証に成功する可能性が低くなってしまう場合があります。指紋を登録するときの認証は、できるだけ次の条件を満たすように行ってください。

- 読み取り領域の全体に指紋が読み取られている
- 指紋の渦が画像の中に含まれている
- 指紋の各方向の線がまんべんなく含まれている

良い例

悪い例

指紋の読み取りがうまくいかない場合

指紋センサーに指をスライドさせる方法を確認してください。スライドの方法については、「指のスライドのさせ方」（••▶P.81）をご覧ください。

6 「確認は成功しました」と表示されたら、「完了」をクリックします。

確認がうまくいかなかった場合には、ウィンドウ左上の をクリックし、もう一度指紋の読み取りを行ってください。

7 「少なくとも 2 本の指の登録が必要です。引き続き、2 本目の指を登録してください。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

手順 4 の操作に戻り、1 指目以外の指の指紋を登録してください。

8 2 指目の指紋を登録したら、「完了」をクリックします。

「操作が完了するまでお待ちください」というウィンドウが表示され、登録が完了するとウィンドウが閉じます。

これで指紋の登録は完了です。

複数ユーザーで指紋認証を使う

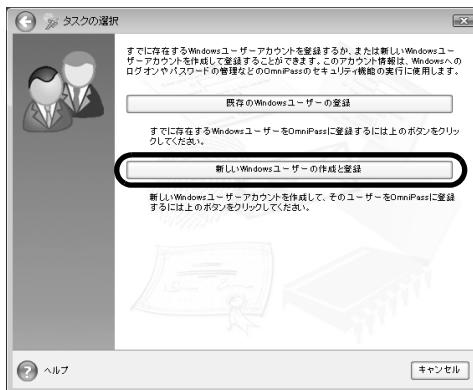
複数のユーザーが指紋を登録して、指紋認証を使うことができます。Windows のログオンパスワードも同時に設定できます。
新しいユーザーを登録する場合は、コンピュータの管理者でログオンしている必要があります。

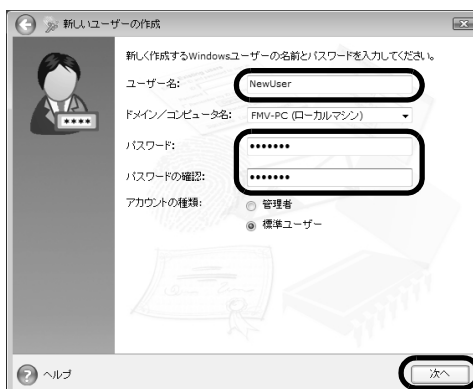
重要

1 人のユーザーが、Windows のユーザー名を複数使い分ける場合

Windows のユーザー名を複数使い分ける場合、同じ指を重複して登録すると、正しく認証されません。必ず指を変えて指紋を登録してください。

1 **（スタート）→「すべてのプログラム」→「Softex」→「OmniPass 登録ウィザード」の順にクリックします。**

2 **「新しい Windows ユーザーの作成と登録」をクリックします。**

3 **新しく追加するユーザーの名前を「ユーザー名」に、ログオンパスワードを「パスワード」および「パスワードの確認」に入力したら、アカウントの種類を選んで、「次へ」をクリックします。**

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「続行」をクリックします。

ここで入力したユーザー名とパスワードで、新しいユーザーが追加されます。

「パスワード」の設定について

Windows のログオンパスワードを設定せずにユーザー名と指紋だけを登録して指紋認証を使用することもできます。その場合は「パスワード」および「パスワードの確認」は空欄のままで「次へ」をクリックします。
パスワードを設定しない場合は、誰でもそのユーザーで Windows にログオンし、個人の文書や画像などのデータファイルを開いたり削除したりできます。セキュリティを強くするためにはWindowsのログオンパスワードもあわせて設定することをお勧めします。

「アカウント」の種類について

・「管理者」
パソコンの設定を変更したり、新しいソフトウェアをインストールしたりできます。
・「標準ユーザー」
パソコンの設定の変更や、ファイルの参照、システムの重要なファイルの削除が制限されます。また、ソフトウェアのインストールや一部のソフトウェアの使用が制限されます。

4 **新しく追加したユーザー名で指紋の登録をします。**
「指紋を登録する」手順４（→P.84）に戻り、指紋の登録をしてください。

指紋認証については、次のマニュアルもご覧ください。

参照
▼ 指紋認証が使えなくなったら
『画面で見るマニュアル』 »「000810」で検索
→「指紋認証を使う」

2

指紋認証を使う

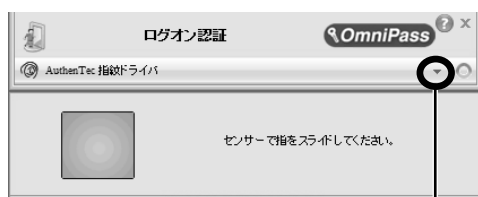
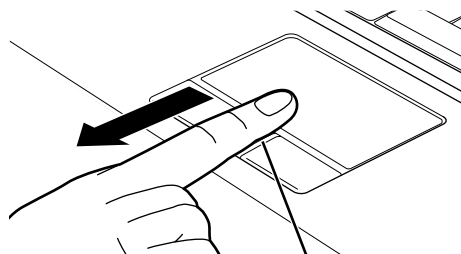
指紋認証を使って Windows にログオンする

指紋認証を使うと Windows ログオンパスワードを入力する代わりに、指紋センサーに指をスライドさせるだけで Windows にログオンできるようになります。
また、複数ユーザーでパソコンを使用している場合には、ユーザー選択も省略することができます。

1 **電源ボタン（⏻）を押して、Windows を起動します。**

Windows が起動すると「ログオン認証」画面が表示されます。

2 **指紋登録した指のいずれかを指紋センサーにスライドさせます。**

指紋の認証に成功すると、Windows にログオンします。認証画面が表示されていない場合は、「ログオン認証」画面下部のプルダウンメニューから「AuthenTec 指紋ドライバ」を選択して、認証画面を表示させてください。

「ログオン認証」画面下部のプルダウンメニューから「AuthenTec 指紋ドライバ」を選択します。
また、認証ツールバーが表示されない場合は、ユーザーのアイコンをクリックするか、または「ユーザーの切り替え」ボタンをクリックしてログオン画面を切り替え、認証ツールバーを表示させてください。

指紋センサー

（イラストは機種や状況により異なります）

POINT

指紋の読み取りがうまくいかない場合

指紋センサーに指をスライドさせる方法を確認してください。スライドの方法については、「指のスライドのさせ方」（••▶P.81）をご覧ください。

指紋認証がうまくいかない場合

指を繰り返しスライドしても指紋認証に失敗する場合は、Windows のログオンパスワードを使ってログオンしてください。

指紋センサーについての注意

- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - 指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりした場合
  - 指紋センサー表面を爪や硬いもので強く擦り、センサー表面にキズが入った場合
  - 泥などで汚れた手で指紋センサーに触れ、細かい異物などでセンサー表面にキズが入ったり、表面が汚れたりした場合
  - 指紋センサーのセンサー部にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりした場合
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証率が低下したりすることがあります。指紋センサー表面はときどき清掃してください。
  - 指紋センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている
  - 指紋センサー表面に汗などの水分が付着している
  - 指紋センサー表面が結露している
- 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋センサー表面の清掃を行ってください。現象が改善されることがあります。
- 指紋センサーを清掃する際には、メガネ拭きなどの乾いたやわらかい布でセンサー表面の汚れを軽く拭き取ってください。
- 指紋センサーに指を置く前に金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてください。静電気が故障の原因となる場合があります。冬期など乾燥する時期は特にご注意ください。
- 長期間使用することにより、センサー周辺にゴミがたまることがありますが、先のとがったもので取り除かないようにしてください。

指紋認証をお使いになる場合の注意

- 本機能は画像に含まれる指紋の特徴をもとに照合を行うものです。このため、お客様によっては指紋の特徴情報が少なく、登録操作ができない場合があります。
- 指紋の登録には同一の指で最低 3 回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行うと、認証できない場合があります。
- 指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証率（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される割合）が低下することがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証時の状況が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけている場合
  - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている場合
  - 手が荒れたり、指に損傷（切傷、ただれなど）を負っている場合
  - 手が極端に乾燥していたり、乾燥肌の場合
  - 指が泥や油などで汚れている場合
  - 太ったり、やせたりして指紋が変化した場合
  - 磨耗して指紋が薄くなった場合
  - 指紋登録時に比べ、指紋認証時の指の表面状態が極端に異なる場合
  - 濡れたり、汗をかいたりしている場合
- センサー表面が濡れていたり結露していたりすると、誤作動の原因となります。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。
- 認証率はお客様の使用状況により異なります。
- 各指で指紋が異なりますので、必ず登録を行った指で認証の操作を行ってください。
- 指紋が正常に読み取れなかったときや、一定時間内に認証されなかったときは、警告メッセージが表示されます。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保障するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

12 パソコンの取り扱い

LAN（有線 LAN）機能を使う

LAN［ラン］（有線 LAN）機能を使うための、LAN コネクタについて説明します。
ここでは、主にインターネットに接続する場合を例に説明します。

2

このパソコンの LAN 機能

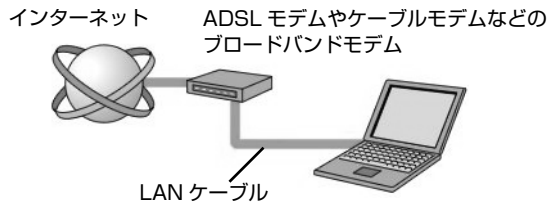
このパソコンでは、次のものが標準で準備されています。

- LAN コネクタ（LAN ケーブル用）
  1000BASE-T［ベースティー］/100BASE-TX［ベースティーエックス］/10BASE-T 準拠

インターネットを使うときの接続例

次のイラストは、パソコンとブロードバンドモデムを LAN ケーブルで接続している一例です。ネットワークの形態によって使用する機器が異なりますので、ネットワークに合ったものをご購入ください。

ネットワークの種類やしくみについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「390010」で検索
→「ネットワークの種類やしくみ」

LAN（有線 LAN）をお使いになる場合

LAN（有線 LAN）をお使いになる場合に必要なものなどを説明します。
ここでは、ブロードバンドインターネットにパソコンを接続する例を説明します。

必要なものを用意する

このパソコンの他に、次のものが必要です。

- ブロードバンドモデム
  ADSL［エーディーエスエル］モデム、ケーブルモデムなど、インターネットの回線や、プロバイダにより異なります。
- ルーター
  異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークの中を流れるデータをきちんと目的の場所（パソコンやプリンタなど）に届けるための機器。一般的には、LAN と外部のネットワーク（インターネット）を結ぶために使われます。
  複数台のパソコンを接続する場合は必要です。ブロードバンドモデムに内蔵されている場合もあります。
  なお、1000BASE-T の通信を行うためには、1000BASE-T に対応したものを使用してください。
- ハブ
  ネットワーク上でケーブルを中継するための機器。
  複数台のパソコンを接続する場合に必要です。ルーターに内蔵されている場合もあります。
  1000BASE-T の通信を行うためには、1000BASE-T に対応したものを使用してください。
- LAN ケーブル（ストレートタイプ）
  お使いになるネットワークのスピードに合ったものが必要です。接続するネットワーク機器のマニュアルをご覧になり、必要なものをご用意ください。
  1000BASE-T の通信を行うためには、エンハンストカテゴリ 5（カテゴリ 5E）以上の LAN ケーブルを使用してください。

LAN を使うための設定

LAN をお使いになるためには、必要な機器を LAN ケーブルで接続し、ネットワークの設定を行います。インターネットに接続する場合は、プロバイダより提供されるマニュアルに従って、機器の設定をしてください。

接続、設定の方法については、次のマニュアルでも説明しています。

参照

『画面で見るマニュアル』 ≫「000100」で検索
→「LAN を使う」

13 パソコンの取り扱い

無線 LAN 機能を使う

無線 LAN 搭載機種のみ

2

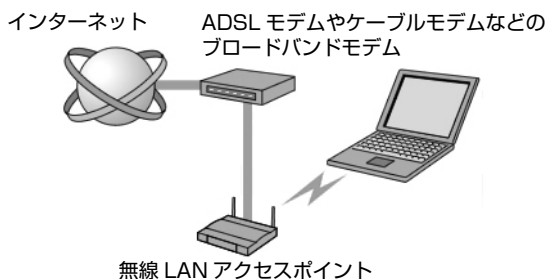
無線 LAN［ラン］機能について説明します。
ここでは、主にインターネットに接続する場合を例に説明します。

このパソコンの無線 LAN 機能

無線 LAN が搭載されている機種では、次の規格の無線 LAN による通信を行うことができます。別途、無線 LAN アダプタを購入する必要はありません。

- NF75XN/D, NF70XN で、IEEE802.11n ドラフト準拠に対応した無線 LAN を選択した場合
  IEEE［アイトリプルイー］802.11a（J52/W52/W53/W56）準拠、IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠、IEEE802.11n ドラフト準拠（Wi-Fi®［ワイファイ］準拠）
- NF75X/D, NF70X の場合、NF75XN/D, NF70XN で IEEE802.11n ドラフト準拠に対応しない無線 LAN を選択した場合
  IEEE802.11a（J52/W52/W53/W56）準拠、IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）
- NF55X/D, NF50X/V, NF50X の場合、NF50XN で無線 LAN を選択した場合
  IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）

インターネットを使うときの接続例

次のイラストは、ブロードバンドインターネットと接続している一例です。ネットワークの形態によって使用する機器が異なりますので、ネットワークに合ったものをご購入ください。

無線 LAN でインターネットに接続するには、無線 LAN アクセスポイントを利用する「インフラストラクチャ通信」という方式で通信します。
ブロードバンドモデムに電波を送受信する無線 LAN アクセスポイントを接続し、無線 LAN アクセスポイントとパソコンの間を、LAN ケーブルの代わりに電波で送受信します。

ネットワークの種類やしくみについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「390010」で検索
→「ネットワークの種類やしくみ」

無線 LAN をお使いになる場合

必要なものを用意する

無線 LAN を使うためには、このパソコンの他に次のものが必要です。

- 無線 LAN アクセスポイント
  LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して情報のやり取りを行う無線 LAN では、「無線 LAN アクセスポイント」と呼ばれる機器が必要となります。無線 LAN アクセスポイントには主に次のものがあります。
  - ワイヤレス LAN ステーション
  - ワイヤレスブロードバンドルーター

無線 LAN を使うための設定

無線 LAN を使うには、無線 LAN アクセスポイントとパソコンの設定を行います。
初めて設定する場合は、使用するネットワークの情報やデータの暗号化などを、無線 LAN アクセスポイントとパソコンの両方に設定します。
すでにネットワークで使われている無線 LAN アクセスポイントに接続する場合は、無線 LAN アクセスポイントと同じ設定になるように、パソコンを設定します。

無線 LAN については、次のマニュアルをご覧ください。

参照

▼ 初めてインターネットに接続する

『スタートガイド2　セットアップ編』

→「インターネットを始めるための準備」

▼ 無線 LAN の設定

『画面で見るマニュアル』 »「001000」で検索

→「無線 LAN を使う」

▼ 別売の無線 LAN カードなどを使う

『画面で見るマニュアル』 »「001020」で検索

→「別売の無線 LAN アダプタを使う」

14 パソコンの取り扱い

FeliCa ポートを使う

FeliCa ポート搭載機種のみ

FeliCa［フェリカ］ポートを使った便利な機能について説明しています。ここでは、FeliCa 対応カードや FeliCa 対応携帯電話を、合わせて「FeliCa 対応カード」として説明しています。

FeliCa とは？

FeliCa とは、非接触 IC カード技術方式の名称です。電子マネーや交通機関の IC 乗車券、一部の携帯電話などに採用されています。FeliCa に対応したカードや携帯電話は、主に交通機関の読み取り装置（自動改札など）や、コンビニエンスストアなどのレジにある専用機器で、料金の精算や個人認証の用途で使用することができます。このパソコンの FeliCa ポートでは、「FeliCa 対応カード」および「FeliCa 対応携帯電話」を使用することができます。

FeliCa プラットフォームマーク

FeliCa プラットフォームマークは、FeliCa に対応した機器やサービスにおいて、フェリカネットワークス株式会社が管理する共通領域を使ったプラットフォームに対応していることを表します。

このパソコンでできること

このパソコンの FeliCa ポートでは、主に次のことができます。

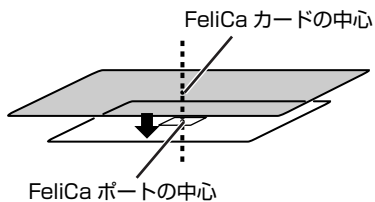
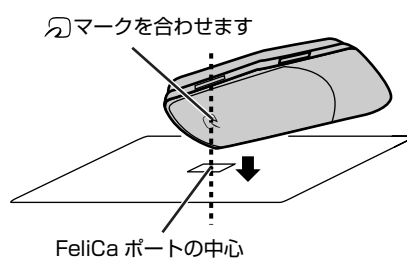
- インターネットでのショッピングの支払い
  Edy［エディ］や eLIO［エリオ］などによる支払いに対応した、ホームページでのショッピングのときに、このパソコンの FeliCa ポートを使って支払いをすることができます。
- 残高や利用履歴のチェック
  Edy や交通機関の IC 乗車券の、残高照会や利用履歴をチェックすることができます。

このパソコンで使用できる FeliCa 対応カードについては、次のホームページをご覧ください。
ジャストシステムホームページ：http://www.justsystem.co.jp/atlife/kazasu/card/

FeliCa ポートを使う

1 FeliCa 対応カードを、このパソコンの本体前面にある FeliCa ポートに軽くタッチします。

FeliCa 対応カードの場合は、カードをパソコン本体に対して横向きにし、カードの中心を FeliCa ポートにある FeliCa プラットフォームマークに合わせてください。
FeliCa 対応携帯電話の場合は、携帯電話に刻印されている FeliCa プラットフォームマークを、このパソコンの FeliCa プラットフォームマークに合わせてください。
「かざしてナビ」を初めて表示させたときには、「使用許諾契約書」が表示されます。
内容を確認してください。

■FeliCa 対応カードの場合
カードの中心を合わせます。

■ FeliCa 対応携帯電話の場合
携帯電話の マークを合わせます。

「かざしてナビ」が表示されます。

POINT

「かざしてナビ」が表示されない場合

- お使いになる FeliCa 対応カードによっては、読み取りづらい場合があります。そのような場合は合わせる位置を少しずらし、再度反応をお確かめください。
- (スタート) →「すべてのプログラム」→「FeliCa ポート」→「かざしてナビ」→「かざしてナビ」の順にクリックしても、「かざしてナビ」を表示させることができます。

バッテリで使用するときは

ご購入時の状態では、このパソコンをバッテリで使用しているときは、FeliCa 対応カードが FeliCa ポートに軽くタッチされたことを監視する動作（ポーリング）がオフになります。このパソコンをバッテリで使用しているときに FeliCa を使う場合は、(スタート) →「すべてのプログラム」→「FeliCa ポート」→「かざしてナビ」→「かざしてナビ」の順にクリックして、「かざしてナビ」を表示させるか、「「かざしてナビ」のポーリング動作について」（••▶P.97）をご覧になり設定を変更してください。

2 「かざしてナビ」の中から、ソフトウェアをクリックして表示させます。

アイコンが薄く表示されているソフトウェアは、このパソコンでは使用できません。クリックすると「(ソフトウェア名称) がセットアップされていません」というメッセージが表示されます。あらかじめご了承ください。
各ソフトウェアの詳しい使い方については、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「かざしてナビ」の画面の色は、使用する時間帯によって異なります。「かざしてナビ」については、次のマニュアルもあわせてご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 » 「210680」で検索
→「かざしてナビ」

「かざしてナビ」のポーリング動作について

FeliCa 対応カードが FeliCa ポートに軽くタッチされたことを監視する動作のことを「ポーリング」といいます。「ポーリング」がオンになっていないと、FeliCa ポートに FeliCa 対応カードを軽くタッチしても「かざしてナビ」が表示されません。ご購入時の状態では、パソコンを AC アダプタで使用する場合のポーリングはオンに、バッテリで使用する場合のポーリングはオフになります。ポーリング動作を変更する場合は、次の手順で設定を変更してください。

1 (スタート) →「すべてのプログラム」→「FeliCa ポート」→「かざしてナビ」→「かざしてナビ」の順にクリックします。

「かざしてナビ」が表示されます。

2 「かざしてナビ」の画面右上にある「Menu」をクリックし、表示されたメニューから「オプション」をクリックします。

「オプション」ウィンドウが表示されます。

3 起動時のポーリング設定をオンにする場合は、「起動時のポーリング設定」の欄にある「オン」の をクリックして にしてください。

バッテリで使用するときにポーリングをオンにする場合は、「バッテリー駆動時にポーリングをオフにする」の をクリックして にしてください。

4 「OK」をクリックします。

FeliCa ポートをお使いになる上でのご注意

- このパソコンの FeliCa ポートは、電波法に基づく形式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
- 使用周波数は、13.56MHz 帯です。
- 本機を分解、改造したり、形式番号を消すと、法律により罰せられる事があります。
- 周囲で複数の FeliCa ポートをご使用の場合、1m 以上間隔をあけてお使いください。
- 近くに同一周波数帯を使用中の他の無線機がないことを確認してからお使いください。

2

故障かな？と思ったら

FeliCa 対応カードをうまく読み取れないときは、自己診断機能を使って、FeliCa ポートが正常に動作しているか確認することができます。

1 **画面右下の通知領域にある（かざしてナビ）のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「終了」をクリックします。**

「かざしてナビ」が終了します。

2 **（スタート）→「すべてのプログラム」→「FeliCa ポート」→「FeliCa ポート自己診断」をクリックします。**

自己診断ツールが起動します。

3 **画面に表示された内容を確認し、「次へ」をクリックします。**

診断が開始されます。しばらくすると、診断結果が表示されます。

『サポート＆サービスのご案内』をご覧になり、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」または各ソフトウェアのお問い合わせ窓口にお問い合わせください。

第 3 章

周辺機器の設置／設定／増設

周辺機器の使用上の注意やメモリの増やし方などを説明しています。目的に合わせてお読みください。

1 周辺機器をお使いになる場合

ここでは、周辺機器をお使いになる場合に知っておいていただきたいことについて説明します。

⚠警告

・周辺機器の取り付け／取り外しを行うときは、本製品や周辺機器の電源を切った状態で行ってください。
AC アダプタや電源コードがコンセントにつながっている場合は、それらをコンセントから抜いてください。
感電の原因となります。

・周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

周辺機器とは？

プリンタ、デジタルカメラ、メモリなどの装置のことです。パソコンの各種コネクタに接続したり、パソコン本体内部に取り付けたりして、パソコンの機能を拡張したり、処理速度を高めたりできます。

周辺機器を取り付けると

メモリを取り付けてパソコンの処理能力を上げたり、プリンタを接続して印刷したりなど、パソコンでできることがさらに広がります。
また、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込んで、E メールに添付したりできます。

周辺機器を取り付けるには

周辺機器の取り付け方について、本マニュアル内では、「メモリの増設／交換」（••▶P.105）について記載しています。また、画面で見るマニュアルでも、紹介しています。
お使いになる周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』
→「5. パソコン本体の取り扱い」または「6. 周辺機器の接続」

3

「画面で見るマニュアル」で調べる

1 **表示される画面の中から取り付けたい周辺機器をクリックします。**

例えば、プリンタを接続する場合は、「6. 周辺機器の接続」→「プリンタを接続する」をクリックします。

POINT

手順の中に「動画を見る」というボタンがあるとき

ボタンをクリックすると、インターネットに接続して手順の動画をご覧いただけます。このとき、FMV ユーザー登録で発行された「ユーザー登録番号」と「パスワード」が必要です。ユーザー登録については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

周辺機器の取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- **周辺機器によっては設定作業が必要です**
  パソコンの周辺機器の中には、接続するだけでは正しく使えないものがあります。このような機器は、接続した後で設定作業を行う必要があります。例えば、プリンタや PC カードを使うには、取り付けた後に「ドライバのインストール」という作業が必要です。周辺機器の接続は、このマニュアルをよくご覧になり、正しく行ってください。
- **ドライバなどがフロッピーディスクで添付されている場合**
  周辺機器によっては、添付のドライバなどがフロッピーディスクで提供されているものがあります。オプションの FDD ユニット(USB)をご購入になり、接続した上でドライバをインストールしてください。
- **マニュアルをご覧ください**
  ケーブル類を接続する場合は、次のマニュアルをご覧になり、接続時に間違いがないようにしてください。

  参照

  ▼ ケーブル類を接続する場合

  『画面で見るマニュアル』

  →「6. 周辺機器の接続」

  誤った接続状態で使用すると、このパソコンおよび周辺機器が故障する原因となることがあります。
  また、「画面で見るマニュアル」で説明している周辺機器の取り付け方法は一例です。「画面で見るマニュアル」とあわせて周辺機器のマニュアルも必ずご覧ください。
- **純正品をお使いください**
  弊社純正の周辺機器については、販売店にお問い合わせになるか、富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」（http://www.fujitsu-webmart.com/）をご覧ください。
  他社製品につきましては、このパソコンで正しく動作するかどうか、保証いたしかねます。他社製品をお使いになる場合は、製造元のメーカーにお問い合わせくださいますようお願いいたします。
- **ACPI［エーシーピーアイ］に対応した周辺機器をお使いください**
  このパソコンは ACPI モードに設定されています。ACPI モードに対応していない周辺機器をお使いの場合、省電力機能などが正しく動作しない場合があります。
- **周辺機器の電源は、パソコンの電源を入れる前に入れてください**
  電源を入れて使う周辺機器を取り付けた場合は、周辺機器の電源を入れてからパソコンの電源を入れてください。また、周辺機器の電源を切るときは、パソコンの電源を切ってから周辺機器の電源を切ってください。

重要

周辺機器を取り付ける場合

- ・コネクタに周辺機器を取り付ける場合は、コネクタの向きを確認し、まっすぐ接続してください。
- ・複数の周辺機器を取り付ける場合は、1 つずつ取り付けて設定を行ってください。

2 メモリの増設／交換

パソコンに取り付けられるメモリを増やすことによって、パソコンの処理能力などを上げることができます。ここでは、メモリを増やす方法について説明します。

必要なものを用意する

■メモリ（拡張 RAM［ラム］モジュール）

NF75X/D, NF75XN/D, NF70X, NF70XN の場合

FMVNM51J4（512MB）、FMVNM1GJ4（1GB）、FMVNM2GJ4（2GB）のメモリが取り付けられます。

NF55X/D の場合

FMVNM51J4（512MB）、FMVNM1GJ4（1GB）のメモリが取り付けられます。

NF50X/V, NF50X, NF50XN の場合

FMVNM51J2（512MB）、FMVNM1GJ2（1GB）のメモリが取り付けられます。

■プラスのドライバー（ドライバーサイズ：1 番）

このパソコンのネジを取り外すときに使います。ネジの頭をつぶさないように、ネジのサイズ（M2.5）に合ったものをお使いください。他のドライバーを使うと、ネジの頭をつぶすおそれがあります。

メモリの組み合わせ表

次の表で、メモリの容量とメモリスロットの組み合わせを確認してください。
次の表以外の組み合わせにすると、パソコンが正常に動作しない場合があります。
なお、組み合わせによってはあらかじめ取り付けられているメモリを交換したり、取り外したりする必要があります。

■ご購入時のメモリの組み合わせ

お使いの機種	総容量	スロット 1	スロット 2
NF75X/D, NF70X, NF55X/D, NF50X/V, NF50X NF75XN/D, NF70XN, NF50XN（1GB を選択）	1GB	512MB	512MB
NF75XN/D, NF70XN, NF50XN（2GB を選択）	2GB	1GB	1GB

■メモリの組み合わせ例

メモリを取り付けたり交換したりする場合は、下の表のように組み合わせてください。

- NF55X/D, NF50X/V, NF50X, NF50XN の場合

総容量	スロット 1	スロット 2
1GB	512MB	512MB
	1GB	なし
1.5GB	1GB	512MB
2GB	1GB	1GB

- NF75X/D, NF75XN/D, NF70X, NF70XN の場合

総容量	スロット 1	スロット 2
1GB	512MB	512MB
	1GB	なし
1.5GB	1GB	512MB
2GB	1GB	1GB
	2GB	なし
3GB	2GB	1GB
4GB（最大）［注］	2GB	2GB

注：OS が使用可能な容量は約 3.25GB になります。

次の表の組み合わせはデュアルチャネル対応です

総容量	スロット 1	スロット 2
1GB	512MB	512MB
2GB	1GB	1GB
4GB［注］	2GB	2GB

注：NF75X/D, NF75XN/D, NF70X, NF70XN のみ対応しています。

メモリ取り扱い上の注意

⚠警告

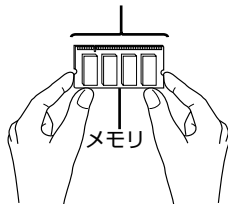
・メモリの取り付け／取り外しを行う場合は、必ずパソコン本体の電源を切り、AC アダプタやバッテリ、周辺機器を取り外してください。スリープや休止状態では、取り付け／取り外しを行わないでください。
感電の原因となります。また、データが消失したり、パソコン本体やメモリが故障する原因となることがあります。

・取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

⚠注意

・メモリの取り付け位置のすぐそばに高温になる部分があります。
メモリの取り付け／取り外しを行うときは、パソコン本体の電源を切って、しばらくしてから行ってください。火傷の原因になることがあります。

メモリを取り付けるときの注意

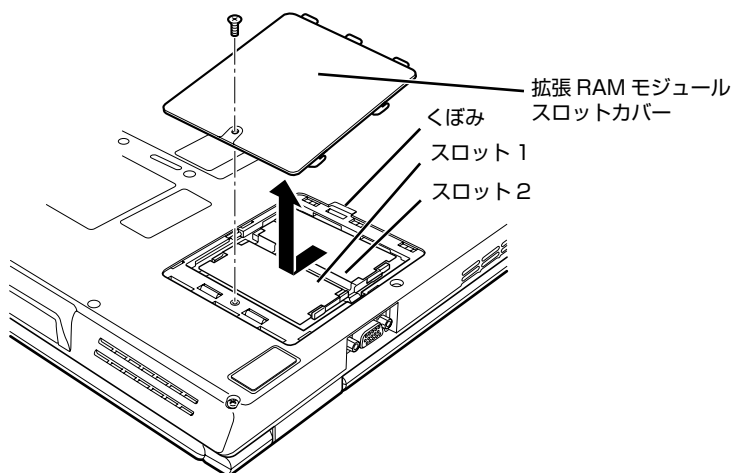
- メモリは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体に留まった静電気により破壊される場合があります。メモリを取り扱う前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。
- 操作に必要な箇所以外には手を触れないでください。故障の原因となることがあります。
- パソコンの部品など不要な物を、パソコン本体内部に落とさないでください。故障の原因となることがあります。
- メモリは何度も抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。
- メモリの表面の端子や IC 部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。
- メモリは下図のようにふちを両手で持ってください。金色の線が入っている部分（端子）には、絶対に手を触れないでください。指の油分などが付着すると、接触不良の原因となることがあります。

メモリを増やす

メモリは、パソコン本体下面の拡張 RAM モジュールスロットに取り付けます。
メモリスロットにメモリを取り付ける場合と、取り付けられているメモリを交換する場合で手順が異なります。お使いのパソコンの状態を確認して、正しく行ってください。

POINT

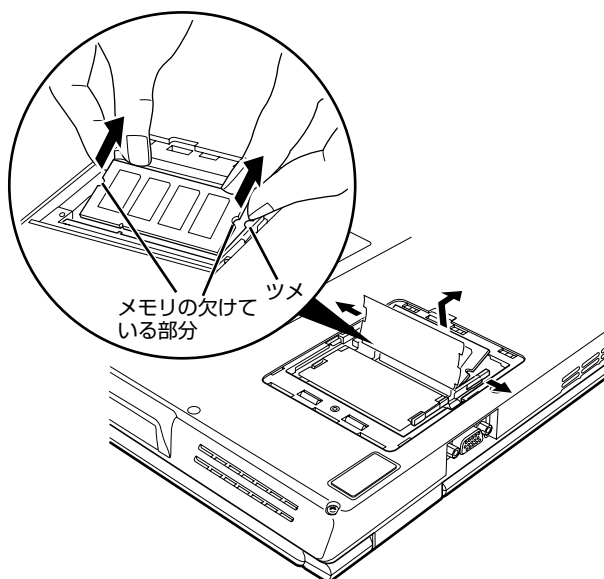
メモリの取り付け手順の動画を見ることができます

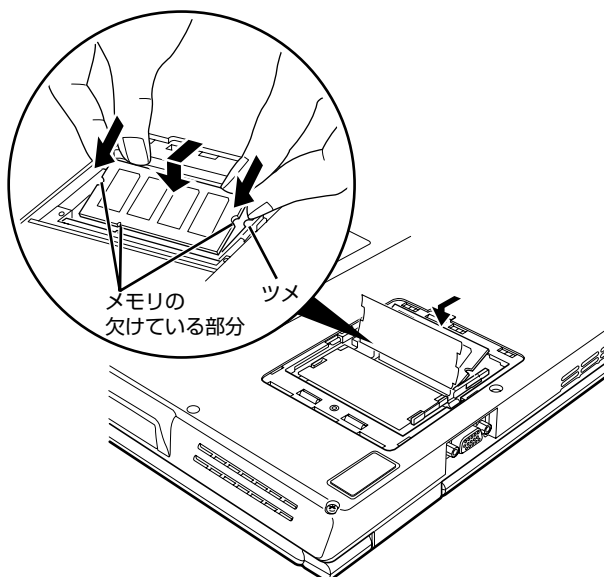
サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）で、メモリの取り付け手順の動画がご覧になれます。

1. **パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外します。**
2. **液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返します。**
3. **内蔵バッテリパックを取り外します。**
   内蔵バッテリの取り外し方は、「内蔵バッテリパックを交換する」（••▶P.35）をご覧ください。
4. **メモリの組み合わせを確認します。**
   メモリの組み合わせについては、「メモリの組み合わせ表」（••▶P.106）をご覧ください。
5. **ネジ（1 箇所）をゆるめ、くぼみに指をかけてカバーを矢印の方向にスライドさせてから取り外します。**

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

メモリスロットにメモリを取り付ける場合は、手順 7 へ進んでください。
取り付けられているメモリを新しいメモリに交換する場合は、手順 6 へ進んでください。

6 交換したいメモリを取り外します。

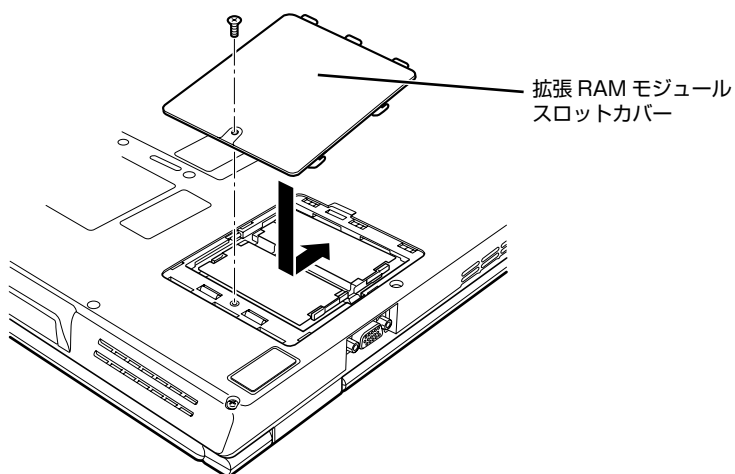
スロット部のカバーをめくり、メモリを押さえている両側のツメを左右に開くと、メモリが少し斜めに持ち上がるので、両手でメモリのふちを持って斜め上の方向に引っ張り、スロットから取り外します。

7 メモリを取り付けます。

両手でメモリのふちを持って、メモリの欠けている部分とコネクタの突起を合わせ、斜め上からしっかりと差し込み、パチンと音がするまで下に倒します。
メモリを押さえている両側のツメが、きちんとはまったことを確認してください。

重要

メモリを取り付けるときのご注意

- メモリを取り付けるときは、端子や IC に触れないようにして、両手でメモリのふちを持って取り付けてください。
- メモリの表面の端子や IC 部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。無理にメモリを取り付けようとすると、メモリやコネクタが破損する原因となります。

8 手順 5 で取り外したカバーを取り付けます。

カバーを取り付け、矢印の方向に少しスライドさせてネジ穴を合わせてから、ネジで固定します。

9 内蔵バッテリパックを取り付けます。

内蔵バッテリの取り付け方は、「内蔵バッテリパックを交換する」（••▶P.35）をご覧ください。

続いて、メモリが正しく取り付けられたか、メモリの容量を確認しましょう（••▶P.111）。

メモリ容量を確認する

1 **パソコン本体の電源を入れます。**

> **重要**
>
> **画面に何も表示されないときは**
>
> メモリが正しく取り付けられていないと、電源を入れたときに「拡張メモリエラー」または「メモリエラーです。」というメッセージや英語のメッセージが表示されたり、画面に何も表示されないことがあります。その場合は電源ボタンで電源を切り、メモリを取り付け直してください。

2 **(スタート)→「コントロールパネル」の順にクリックします。**

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

3 **「システムとメンテナンス」をクリックします。**

4 **「システム」をクリックします。**

5 **○で囲んだ部分の数値が、増やしたメモリの分だけ増えているかどうかを確認します。**

メモリ容量の数値が正しくない場合は、メモリがきちんと取り付けられているかどうかを確認してください。

メモリ容量の表示はお使いのパソコンによって異なります。
このパソコンではメモリの一部をグラフィック用メモリとして使用するため、取り付けたメモリの総容量より、8MB 少なく表示されます。
また、お使いのシステム構成によってはさらに 4MB 少なく表示される場合があります。

6 **ウィンドウの右上にある をクリックして、ウィンドウを閉じます。**

第４章

お手入れ

1 FMV のお手入れ

ここでは、FMV を快適にお使いいただくための、日ごろのお手入れについて説明しています。

パソコン本体および添付品のお手入れ

警告

・感電やけがの原因となるので、お手入れの前に、次の事項を必ず行ってください。
　・パソコン本体の電源を切り、AC アダプタとバッテリを取り外してください。
　・プリンタなど、周辺機器の電源を切り、パソコン本体から取り外してください。

重要

キーボードのキーとキーの間のホコリなどをとる場合

- ゴミは吹き飛ばして取らないでください。キーボード内部にゴミが入り、故障の原因となる場合があります。また、掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。
- ホコリなどを取る場合は、柔らかいブラシなどを使って軽くホコリを取り除いてください。その際、毛先が抜けやすいブラシは使用しないでください。キーボード内部にブラシの毛などの異物が入り、故障の原因となる場合があります。

パソコン本体やマウス、リモコンの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りの際は、パソコン本体やマウス、リモコンに水が入らないよう十分に注意してください。なお、シンナーやベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきんは絶対に使わないでください。
マウスのお手入れの際は、マウスをパソコン本体から取り外してください。

POINT

キートップが外れてしまった場合（NF70XN, NF50XN を除く）

次のマニュアルをご覧ください。

参照

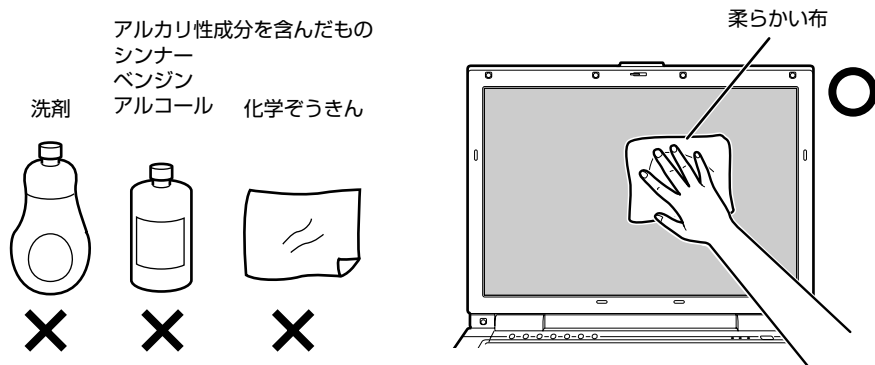
『画面で見るマニュアル』≫「000220」で検索
→「各部の名称と働き：キーボード」→「キートップが外れてしまった場合について」

液晶ディスプレイのお手入れ

液晶ディスプレイの汚れは、乾いた柔らかい布かメガネ拭きで軽く拭き取ってください。水や中性洗剤を使用して拭かないでください。

重要

液晶ディスプレイのお手入れをするときは、次の点にご注意ください

- 液晶ディスプレイの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。
- 市販のクリーナーや化学ぞうきんを使うと、成分によっては、画面の表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは、使わないでください。
  - アルカリ性成分を含んだもの
  - 界面活性剤を含んだもの
  - アルコール成分を含んだもの
  - シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - 研磨剤を含むもの

CD/DVD ドライブのお手入れ

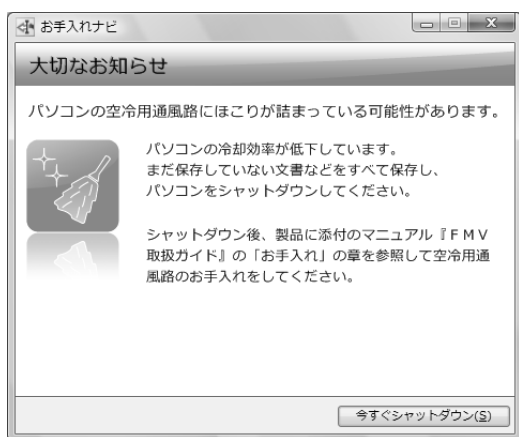
市販のクリーニングディスクやレンズクリーナーを使うと、逆にゴミを集めてしまい、CD/DVD ドライブのレンズが汚れてしまう場合があります。故障の原因になりますので絶対に使わないでください。
うまく読み取れない場合には、ディスクの指紋、ほこりなどの汚れを拭き取ることで改善されることがあります。拭き取り方法はディスクの種類により異なります。詳しくはディスクの説明書／レーベル等をご覧ください。

空冷用通風路のお手入れ

NF75X/D, NF75XN/D, NF70X, NF70XN, NF55X/D の場合、空冷用通風路のお手入れを行うことができます

このパソコンは、性能を維持するために放熱用のファンを内蔵しています。放熱用ファンは、パソコンの外と内の間に空気の流れを作ってパソコン内部を冷却しているため、ご利用の環境によってはパソコン内部に周囲のほこりを取り込んでしまうことがあります。このほこりが徐々に蓄積していくと、パソコンが本来の性能を発揮できなくなる場合があります。

NF75X/D, NF75XN/D, NF70X, NF70XN, NF55X/D の場合、「お手入れナビ」というソフトウェアにより、パソコン内部の温度やパソコンの総利用時間をチェックすることによって、お手入れの時期をお知らせします。

「パソコンの空冷用通風路にほこりが詰まっている可能性があります。」というメッセージが表示された場合、この後の手順に従って正しく清掃を行い、ほこりを取り除いてください。

空冷用通風路の清掃方法

重要

ACアダプタを取り外してください

感電のおそれがありますので、清掃前には必ずパソコン本体や周辺機器の電源を切り、AC アダプタを取り外してください。

充分に換気してください

清掃時には、ほこりなどを口や鼻から吸い込まないように、窓を開けたり、換気扇を回したりするなどして、充分に換気してください。

次のことにご注意ください

- 洗剤は使用しないでください。
- 清掃時に破損した場合、保証期間にかかわらず修理は有償となります。取り扱いについては、充分ご注意ください。
- ほこりを取り除く際は、プラスチック製の楊子や歯間ブラシ等をお使いください。金属などの硬いものや、木製の折れやすいものなどを使うと故障の原因となります。

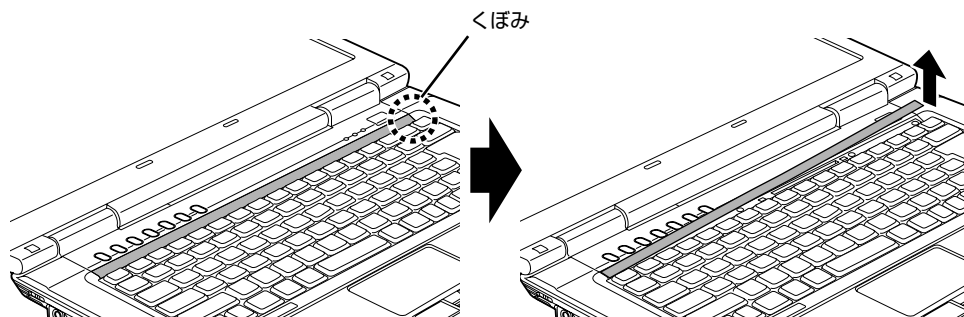
パソコン本体内部は静電気に対して弱い部品で構成されています

パソコン本体内部は、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気によって破壊される場合があります。

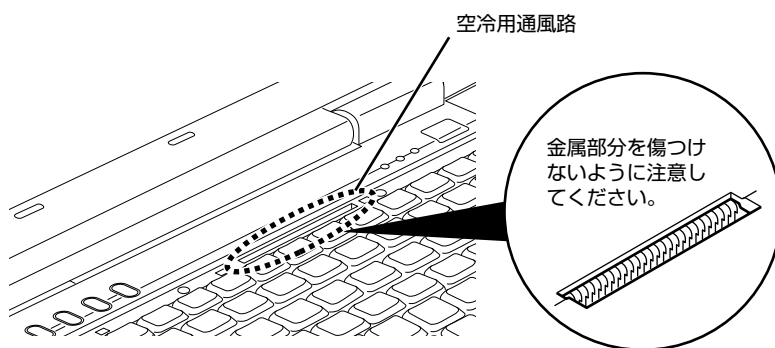
パソコン本体内部のお手入れをする前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。

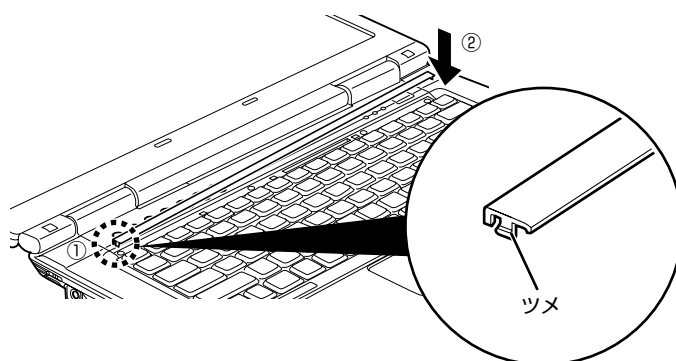
1 パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外します。

2 液晶ディスプレイを開き、カバーを取り外します。

【Pause Break】の上にあるくぼみに指をかけて、カバーを取り外します。
なお、カバーは固く取り付けてありますので、取り外す際は、カバーの破損に注意してください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

3 空冷用通風路を清掃します。

空冷用通風路のほこりを取り除いてください。

4 カバーを取り付けます。

①カバーのツメをパソコン本体に差し込んでから、②カバーを取り付けます。

5 液晶ディスプレイを閉じます。

次のページへ

POINT

定期的にメッセージが表示されるように設定することもできます

定期的なお手入れ時期のお知らせを有効／無効に変更したい場合は、(スタート)→「すべてのプログラム」→「お手入れナビ」→「お手入れナビの設定」の順にクリックします。
「お手入れナビの設定」ウインドウが表示されますので、ウィンドウの説明に従って操作してください。

第５章 仕様一覧

次の表は各機種ごとの特徴を示しています。詳しい仕様については、次ページからの仕様一覧をご覧ください。

製品名称（品名）	USBマウス	リモコン	テレビチューナー		フラットポイントデジタイザ	ワンセグチューナー	無線LAN	FeliCaポート
			地上アナログ	地上デジタル				
NF75X/D	○	○	×	○	○	×	○	○
NF75XN/D	△	○	×	○	△	×	△	△
NF70X	○	×	×	×	×	×	○	×
NF70XN	△	×	×	×	×	×	△	×
NF55X/D	○	○	×	○	×	×	○	×
NF50X/V	○	×	×	×	×	○	○	×
NF50X	○	×	×	×	×	×	○	×
NF50XN	△	×	×	×	×	△	△	×

○：添付または搭載、△：機能を選択した場合に添付または搭載、×：非添付または非搭載

仕様一覧

1 パソコン本体の仕様

製品名称	FMV-BIBLO NF75X/D	FMV-BIBLO NF70X	FMV-BIBLO NF55X/D
CPU [注1]	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7250（インテル® Centrino® Duo プロセッサー・テクノロジー搭載）		インテル® Celeron® プロセッサー 530
	2GHz		1.73GHz
キャッシュメモリ	1 次：32KB 命令× 2 + 32KB データ × 2 、2 次：2MB（CPU 内蔵）		1 次：32KB 命令+ 32KB データ、2 次：1MB（CPU 内蔵）
チップセット	モバイル インテル® GM965 Express チップセット		モバイル インテル® GL960 Express チップセット
システム・バス	800MHz		533MHz
メインメモリ	標準 1GB（512MB × 2 PC2-5300 DDR2 SDRAM DIMM）ECC なし　最大 4GB [注4]		標準 1GB（512MB × 2 PC2-4200 DDR2 SDRAM DIMM）ECC なし 最大 2GB [注2 注4]
拡張メモリスロット	× 2（空きスロットなし）		
インテル® ターボ・メモリー	1GB	―	
表示機能　グラフィックアクセラレータ	チップセットに内蔵		
表示機能　ビデオメモリ	最大 256MB（メインメモリと共用）[注10]		
表示機能　液晶ディスプレイ [注5]	高色純度・超高輝度・低反射・広視野角　15.4 型ワイド TFT カラー 1280 × 800 ドット（スーパーファイン DX Ⅱ 液晶）		
表示機能　解像度／発色数	液晶ディスプレイ表示：1280 × 800 ドット／ 1677 万色 [注6] 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1280 × 768 ドット／ 1677 万色 [注6]		
フロッピーディスクドライブ [注7]	FDD ユニット（USB）（別売）		
ハードディスクドライブ [注8]	約 160GB（Serial ATA/150）[注9]	約 120GB（Serial ATA/150）[注9]	
CD/DVD ドライブ [注11]	スーパーマルチドライブ		
オーディオ機能　オーディオコントローラ	チップセット内蔵 + High Definition Audio コーデック		
オーディオ機能　PCM 録音再生機能	サンプリング周波数　最大 192kHz、24 ビット（再生時）[注12]、サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット（録音時）[注12]、同時録音再生機能		
オーディオ機能　MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート		
オーディオ機能　スピーカー	ステレオスピーカー内蔵		
キーボード	日本語キーボード（キーピッチ約 19mm、キーストローク約 3mm、87 キー、JIS 配列準拠）		
ポインティングデバイス	フラットポイントデジタイザ／デジタイザ用ペン、USB マウス添付	フラットポイント、USB マウス添付	
指紋センサー	スライド式／スクロール機能あり		
リモコン	リモコン標準添付	―	リモコン標準添付
ワンタッチボタン / TV・DVD 操作ボタン等	プログラマブル× 1、Support ボタン、DigitalTV ボタン、チャンネルボタン、音量調節ボタン搭載	プログラマブル× 4、Support ボタン、音量調節ボタン搭載	プログラマブル× 1、Support ボタン、DigitalTV ボタン、チャンネルボタン、音量調節ボタン搭載

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（P.130）をご覧ください。

製品名称			FMV-BIBLO NF75X/D	FMV-BIBLO NF70X	FMV-BIBLO NF55X/D
通信機能	LAN		1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T 準拠[注13]		
	無線 LAN [注14]	規格	IEEE 802.11a（J52/W52/W53/W56）準拠、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）[注16]		IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）[注16]
		内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式		
FeliCa ポート			あり	−	
テレビ	テレビチューナー	地上デジタル[注18]	受信チャンネル：000 ～ 999ch	−	受信チャンネル：000 ～ 999ch
		BS デジタル	−		
		110 度 CS デジタル	−		
	録画形式[注19]		MPEG2（ハードエンコード）	−	MPEG2（ハードエンコード）
	高画質化機能		3 次元 Y/C 分離	−	3 次元 Y/C 分離
	B-CAS カードスロット		あり	−	あり
ワンセグチューナー			−		
インターフェース	ExpressCard		× 1 スロット（ExpressCard/34 モジュール、ExpressCard/54 モジュール対応）[注20]		
	PC カード		PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ × 1 スロット（CardBus 対応）		
	SD カード／メモリースティック／xD- ピクチャーカード[注21]		× 1 スロット （メモリースティック PRO 対応）		
	外部ディスプレイ／ビデオ出力		アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S ビデオ× 1（NTSC 出力）		
	USB [注22]		USB2.0 準拠× 5（右側面× 1、背面× 4）		
	IEEE1394（DV）[注23]		4 ピン× 1（S400）		
	LAN		RJ-45 × 1		
	ビデオ入力		−		
	テレビアンテナ入力		ミニジャック× 1（標準添付のアンテナ変換ケーブルを使用）	−	ミニジャック× 1（標準添付のアンテナ変換ケーブルを使用）
	オーディオ		ヘッドホン[注24]：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、（出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／マイク[注25]：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック（入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）1.5kΩ 以上 （DC）2kΩ 以上）		
	状態表示		LED		
電源供給方式		AC アダプタ	入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（4.22A）		入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.16A）
		バッテリ	内蔵バッテリパック：リチウムイオン　14.4V ／ 2000mAh		
バッテリ稼働時間（JEITA 測定法 1.0[注26]）			約 1.6 時間	約 2.0 時間	約 1.1 時間
バッテリ充電時間[注27]			約 2.0 時間		
消費電力[注28]			約 34W ／約 88W	約 29W ／約 89W	約 34W ／約 69W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率[注29]			I 区分 0.00045（AAA）[注30]	I 区分 0.00038（AAA）[注30]	I 区分 0.00097（AA）[注30]
外形寸法			W360.0 × D265.0 × H33.5 ～ 38.2 mm（突起部含まず）		
質量			約 3.0kg	約 2.9kg	約 3.0kg
盗難防止用ロック取り付け穴			あり		
温湿度条件			温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）		
プレインストール OS			Windows Vista Home Premium 正規版（DirectX 10 対応）		
サポート OS [注32]			Windows Vista Ultimate 正規版、Windows Vista Home Premium 正規版		

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（••▶P.130）をご覧ください。

<table>
<tr><th colspan="3">製品名称</th><th>FMV-BIBLO NF50X/V</th><th>FMV-BIBLO NF50X</th></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">CPU 注1</td><td colspan="2">インテル® Celeron® M プロセッサー 520</td></tr>
<tr><td colspan="2">1.60GHz</td></tr>
<tr><td colspan="3">キャッシュメモリ</td><td colspan="2">1次：32KB 命令＋ 32KB データ、2次：1MB（CPU 内蔵）</td></tr>
<tr><td colspan="3">チップセット</td><td colspan="2">モバイル インテル® 943GML Express チップセット</td></tr>
<tr><td colspan="3">システム・バス</td><td colspan="2">533MHz</td></tr>
<tr><td colspan="3">メインメモリ</td><td colspan="2">標準 1GB（512MB × 2）（PC2-4200 DDR2 SDRAM DIMM）
ECC なし　最大 2GB 注2 注4</td></tr>
<tr><td colspan="3">拡張メモリスロット</td><td colspan="2">× 2（空きスロットなし）</td></tr>
<tr><td colspan="3">インテル® ターボ・メモリー</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="4">表示機能</td><td colspan="2">グラフィック
アクセラレータ</td><td colspan="2">チップセットに内蔵</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビデオメモリ</td><td colspan="2">最大 224MB（メインメモリと共用）注10</td></tr>
<tr><td colspan="2">液晶ディスプレイ注5</td><td>高色純度・超高輝度・低反射・広視野角
15.4 型ワイド TFT カラー 1280 × 800
ドット（スーパーファイン DX Ⅱ 液晶）</td><td>高輝度・低反射 15.4 型ワイド TFT カラー
1280 × 800 ドット
（スーパーファイン液晶）</td></tr>
<tr><td colspan="2">解像度／発色数</td><td colspan="2">液晶ディスプレイ表示：1280 × 800 ドット／ 1677 万色注6
外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色
液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：
1280 × 768 ドット／ 1677 万色注6</td></tr>
<tr><td colspan="3">フロッピーディスクドライブ注7</td><td colspan="2">FDD ユニット（USB）（別売）</td></tr>
<tr><td colspan="3">ハードディスクドライブ注8</td><td colspan="2">約 120GB（Serial ATA/150）注9</td></tr>
<tr><td colspan="3">CD/DVD ドライブ注11</td><td colspan="2">スーパーマルチドライブ</td></tr>
<tr><td rowspan="4">オーディオ機能</td><td colspan="2">オーディオコントローラ</td><td colspan="2">チップセット内蔵＋ High Definition Audio コーデック</td></tr>
<tr><td colspan="2">PCM 録音再生機能</td><td colspan="2">サンプリング周波数　最大 192kHz、24 ビット（再生時）注12、
サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット（録音時）注12、
同時録音再生機能</td></tr>
<tr><td colspan="2">MIDI 再生機能</td><td colspan="2">OS 標準機能にてサポート</td></tr>
<tr><td colspan="2">スピーカー</td><td colspan="2">ステレオスピーカー内蔵</td></tr>
<tr><td colspan="3">キーボード</td><td colspan="2">日本語キーボード
（キーピッチ約 19mm、キーストローク約 3mm、87 キー、JIS 配列準拠）</td></tr>
<tr><td colspan="3">ポインティングデバイス</td><td colspan="2">フラットポイント、USB マウス添付</td></tr>
<tr><td colspan="3">指紋センサー</td><td colspan="2">スライド式／スクロール機能あり</td></tr>
<tr><td colspan="3">リモコン</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td colspan="3">ワンタッチボタン /
TV・DVD 操作ボタン等</td><td>プログラマブル× 1、Support ボタン、
ワンセグボタン、チャンネルボタン、
音量調節ボタン搭載</td><td>プログラマブル× 4、Support ボタン、
音量調節ボタン搭載</td></tr>
<tr><td rowspan="3">通信機能</td><td colspan="2">LAN</td><td colspan="2">1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T 準拠注13</td></tr>
<tr><td rowspan="2">無線 LAN
注14</td><td>規格</td><td colspan="2">IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）注16</td></tr>
<tr><td>内蔵
アンテナ</td><td colspan="2">ダイバーシティ方式</td></tr>
<tr><td colspan="3">FeliCa ポート</td><td colspan="2">－</td></tr>
</table>

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（••▶P.130）をご覧ください。

製品名称			FMV-BIBLO NF50X/V	FMV-BIBLO NF50X
テレビ	テレビチューナー	地上デジタル注 18	―	
		BS デジタル	―	
		110 度 CS デジタル	―	
	録画形式注 19		―	
	高画質化機能		―	
	B-CAS カードスロット		―	
ワンセグチューナー			受信チャンネル：000-999ch	―
インターフェース	ExpressCard		× 1 スロット（ExpressCard/34 モジュール、ExpressCard/54 モジュール対応）注 20	
	PC カード		PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ× 1 スロット（CardBus 対応）	
	SD カード／メモリースティック／xD- ピクチャーカード注 21		× 1 スロット （メモリースティック PRO 対応）	
	外部ディスプレイ／ビデオ出力		アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S ビデオ× 1（NTSC 出力）	
	USB 注 22		USB2.0 準拠× 5（右側面× 1、背面× 4）	
	IEEE1394（DV）注 23		4 ピン× 1（S400）	
	LAN		RJ-45 × 1	
	ビデオ入力		―	
	テレビアンテナ入力		ミニジャック× 1（標準添付のアンテナ変換ケーブルを使用、ワンセグ放送受信専用室内用アンテナ添付）	―
	オーディオ		ヘッドホン注 24：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、（出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／マイク注 25：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック（入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）1.5kΩ 以上 （DC）2kΩ 以上）	
	状態表示		LED	
電源供給方式	AC アダプタ		入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.16A）	
	バッテリ		内蔵バッテリパック：リチウムイオン 14.4V ／ 2000mAh	
バッテリ稼働時間（JEITA 測定法 1.0 注 26）			約 1.0 時間	約 1.3 時間
バッテリ充電時間注 27			約 2.0 時間	
消費電力注 28			約 33W ／約 68W	約 29W ／約 68W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率注 29			I 区分 0.0010（AA）注 30	
外形寸法			W360.0 × D265.0 × H33.5 ～ 38.2mm（突起部含まず）	
質量			約 2.9kg	約 2.8kg
盗難防止用ロック取り付け穴			あり	
温湿度条件			温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）	
プレインストール OS			Windows Vista Home Premium 正規版（DirectX 10 対応）	
サポート OS 注 32			Windows Vista Ultimate 正規版、Windows Vista Home Premium 正規版	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（→P.130）をご覧ください。

5

製品名称	FMV-BIBLO NF75XN/D	
	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7250 を選択した場合	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7500 を選択した場合
CPU 注1 注31 ★	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7250	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7500
	2GHz	2.20GHz
キャッシュメモリ★	1 次：32KB 命令× 2 + 32KB データ× 2、2 次：2MB（CPU 内蔵）	1 次：32KB 命令× 2 + 32KB データ× 2、2 次：4MB（CPU 内蔵）
チップセット	モバイル インテル® GM965 Express チップセット	
システム・バス	800MHz	
メインメモリ★	標準 1GB（512MB × 2）／ 2GB（1GB × 2）（PC2-5300 DDR2 SDRAM DIMM）ECC なし　最大 4GB 注4	
拡張メモリスロット	× 2（空きスロットなし）	
インテル® ターボ・メモリー	1GB	
表示機能 グラフィックアクセラレータ	チップセットに内蔵	
表示機能 ビデオメモリ	最大 256MB（メインメモリと共用）注10	
表示機能 液晶ディスプレイ注5 ★	高輝度・低反射 15.4 型ワイド TFT カラー 1280 × 800 ドット（スーパーファイン液晶）／高色純度・超高輝度・低反射・広視野角 15.4 型ワイド TFT カラー 1280 × 800 ドット（スーパーファイン DX Ⅱ 液晶）	
表示機能 解像度／発色数	液晶ディスプレイ表示：1280 × 800 ドット／ 1677 万色注6 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1280 × 768 ドット／ 1677 万色注6	
フロッピーディスクドライブ注7	FDD ユニット（USB）（別売）	
ハードディスクドライブ注8 ★	約 120GB（120GB × 1）／約 160GB（160GB × 1）／約 250GB（250GB × 1）（Serial ATA/150）注9	
CD/DVD ドライブ注11	スーパーマルチドライブ	
オーディオ機能 オーディオコントローラ	チップセット内蔵 + High Definition Audio コーデック	
オーディオ機能 PCM 録音再生機能	サンプリング周波数　最大 192kHz、24 ビット（再生時）注12、サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット（録音時）注12、同時録音再生機能	
オーディオ機能 MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート	
オーディオ機能 スピーカー	ステレオスピーカー内蔵	
キーボード	日本語キーボード（キーピッチ約 19mm、キーストローク約 3mm、87 キー、JIS 配列準拠）	
ポインティングデバイス★	フラットポイント／フラットポイントデジタイザ（デジタイザ用ペンが添付されます） ご購入時の選択によっては、USB マウスが添付されます。	
指紋センサー	スライド式／スクロール機能あり	
リモコン	−	
ワンタッチボタン / TV・DVD 操作ボタン等	プログラマブル× 1、Support ボタン、DigitalTV ボタン、チャンネルボタン、音量調節ボタン搭載	
通信機能 LAN	1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T 準拠注13	
通信機能 無線 LAN ★ 注14 規格	なし／ IEEE 802.11a（J52/W52/W53/W56）準拠、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）／ IEEE 802.11a（J52/W52/W53/W56）準拠、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠、IEEE 802.11n ドラフト準拠（Wi-Fi® 準拠）注15 注16	
通信機能 無線 LAN ★ 注14 内蔵アンテナ	なし／ダイバーシティ方式注17	
FeliCa ポート★	なし／あり	

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
★　ご購入時に選択したものをご覧ください。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（••▶P.130）をご覧ください。

<table>
<tr><th colspan="3" rowspan="2">製品名称</th><th colspan="2">FMV-BIBLO NF75XN/D</th></tr>
<tr><th>インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7250 を選択した場合</th><th>インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7500 を選択した場合</th></tr>
<tr><td rowspan="6">テレビ</td><td rowspan="3">テレビチューナー</td><td>地上デジタル注18</td><td colspan="2">受信チャンネル：000 ～ 999ch</td></tr>
<tr><td>BS デジタル</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td>110 度 CS デジタル</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td colspan="2">録画形式注19</td><td colspan="2">MPEG2（ハードエンコード）</td></tr>
<tr><td colspan="2">高画質化機能</td><td colspan="2">3 次元 Y/C 分離</td></tr>
<tr><td colspan="2">B-CAS カードスロット</td><td colspan="2">あり</td></tr>
<tr><td colspan="3">ワンセグチューナー</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td rowspan="11">インターフェース</td><td colspan="2">ExpressCard</td><td colspan="2">× 1 スロット
（ExpressCard/34 モジュール、ExpressCard/54 モジュール対応）注20</td></tr>
<tr><td colspan="2">PC カード</td><td colspan="2">PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ× 1 スロット（CardBus 対応）</td></tr>
<tr><td colspan="2">SD カード／
メモリースティック／
xD- ピクチャーカード注21</td><td colspan="2">× 1 スロット （メモリースティック PRO 対応）</td></tr>
<tr><td colspan="2">外部ディスプレイ／
ビデオ出力</td><td colspan="2">アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S ビデオ× 1（NTSC 出力）</td></tr>
<tr><td colspan="2">USB 注22</td><td colspan="2">USB2.0 準拠× 5（右側面× 1、背面× 4）</td></tr>
<tr><td colspan="2">IEEE1394（DV）注23</td><td colspan="2">4 ピン× 1（S400）</td></tr>
<tr><td colspan="2">LAN</td><td colspan="2">RJ-45 × 1</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビデオ入力</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td colspan="2">テレビアンテナ入力</td><td colspan="2">ミニジャック× 1
（標準添付のアンテナ変換ケーブルを使用、ワンセグ放送受信専用 室内用アンテナ添付）</td></tr>
<tr><td colspan="2">オーディオ</td><td colspan="2">ヘッドホン注24：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、
（出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／
マイク注25：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック
（入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）1.5kΩ 以上 （DC）2kΩ 以上）</td></tr>
<tr><td colspan="2">状態表示</td><td colspan="2">LED</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">電源供給方式</td><td>AC アダプタ</td><td colspan="2">入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（4.22A）</td></tr>
<tr><td>バッテリ</td><td colspan="2">内蔵バッテリパック：リチウムイオン　14.4V ／ 2000mAh</td></tr>
<tr><td colspan="3">バッテリ稼働時間
（JEITA 測定法 1.0 注26）</td><td colspan="2">スーパーファイン液晶を選択した場合：約 1.8 時間／
スーパーファイン DX Ⅱ液晶を選択した場合：約 1.6 時間</td></tr>
<tr><td colspan="3">バッテリ充電時間注27</td><td colspan="2">約 2.0 時間</td></tr>
<tr><td colspan="3">消費電力注28</td><td colspan="2">スーパーファイン液晶を選択した場合：約 31W ／約 88W
スーパーファイン DX Ⅱ液晶を選択した場合：約 34W ／約 88W</td></tr>
<tr><td colspan="3">省エネ法に基づく
エネルギー消費効率注29</td><td colspan="2">I 区分 0.00041（AAA）注30</td></tr>
<tr><td colspan="3">外形寸法</td><td colspan="2">W360.0 × D265.0 × H33.5 ～ 38.2 mm（突起部含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="3">質量</td><td colspan="2">スーパーファイン液晶を選択した場合：約 2.9kg ／
スーパーファイン DX Ⅱ液晶を選択した場合：約 3.0kg</td></tr>
<tr><td colspan="3">盗難防止用ロック取り付け穴</td><td colspan="2">あり</td></tr>
<tr><td colspan="3">温湿度条件</td><td colspan="2">温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、
温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）
（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）</td></tr>
<tr><td colspan="3">プレインストール OS</td><td colspan="2">Windows Vista Home Premium 正規版（DirectX 10 対応）</td></tr>
<tr><td colspan="3">サポート OS 注32</td><td colspan="2">Windows Vista Ultimate 正規版、Windows Vista Home Premium 正規版</td></tr>
</table>

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
★　ご購入時に選択したものをご覧ください。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（••▶P.130）をご覧ください。

製品名称			FMV-BIBLO NF70XN	
			インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7250 を選択した場合	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7500 を選択した場合
CPU 注1 注31 ★			インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7250	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7500
			2GHz	2.20GHz
キャッシュメモリ			1 次：32KB 命令× 2 + 32KB データ× 2、2 次：2MB（CPU 内蔵）	1 次：32KB 命令× 2 + 32KB データ× 2、2 次：4MB（CPU 内蔵）
チップセット			モバイル インテル® GM965 Express チップセット	
システム・バス			800MHz	
メインメモリ★			標準 1GB（512MB × 2）／ 2GB（1GB × 2） （PC2-5300 DDR2 SDRAM DIMM）ECC なし　最大 4GB 注4	
拡張メモリスロット			× 2（空きスロットなし）	
インテル® ターボ・メモリー★			なし／ 1GB	
表示機能	グラフィック アクセラレータ		チップセットに内蔵	
	ビデオメモリ		最大 256MB（メインメモリと共用）注10	
	液晶ディスプレイ注5 ★		高輝度・低反射 15.4 型ワイド TFT カラー 1280 × 800 ドット（スーパーファイン液晶）／ 高色純度・超高輝度・低反射・広視野角　15.4 型ワイド TFT カラー 1280 × 800 ドット（スーパーファイン DX Ⅱ 液晶）	
	解像度／発色数		液晶ディスプレイ表示：1280 × 800 ドット／ 1677 万色注6 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1280 × 768 ドット／ 1677 万色注6	
フロッピーディスクドライブ注7			FDD ユニット（USB）（別売）	
ハードディスクドライブ注8 ★			約 80GB（80GB × 1）／約 120GB（120GB × 1）／約 160GB（160GB × 1） （Serial ATA/150）注9	
CD/DVD ドライブ注11			スーパーマルチドライブ	
オーディオ機能	オーディオコントローラ		チップセット内蔵 + High Definition Audio コーデック	
	PCM 録音再生機能		サンプリング周波数　最大 192kHz、24 ビット（再生時）注12、 サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット（録音時）注12、 同時録音再生機能	
	MIDI 再生機能		OS 標準機能にてサポート	
	スピーカー		ステレオスピーカー内蔵	
キーボード			日本語キーボード （キーピッチ約 19mm、キーストローク約 3mm、87 キー、JIS 配列準拠）	
ポインティングデバイス			フラットポイント ご購入時の選択によっては、USB マウスが添付されます。	
指紋センサー			スライド式／スクロール機能あり	
リモコン			−	
ワンタッチボタン / TV・DVD 操作ボタン等			プログラマブル× 4、Support ボタン、音量調節ボタン搭載	
通信機能	LAN		1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T 準拠注13	
	無線 LAN ★ 注14	規格	なし／ IEEE 802.11a（J52/W52/W53/W56）準拠、IEEE 802.11b 準拠、 IEEE 802.11g 準拠／ IEEE 802.11a（J52/W52/W53/W56）準拠、 IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠、 IEEE 802.11n ドラフト準拠（Wi-Fi® 準拠）注15 注16	
		内蔵アンテナ	なし／ダイバーシティ方式注17	
FeliCa ポート			なし	

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
★　ご購入時に選択したものをご覧ください。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（••▶P.130）をご覧ください。

製品名称			FMV-BIBLO NF70XN	
			インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7250 を選択した場合	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7500 を選択した場合
テレビ	テレビチューナー	地上デジタル[注18]	－	
		BS デジタル	－	
		110 度 CS デジタル	－	
	録画形式[注19]		－	
	高画質化機能		－	
	B-CAS カードスロット		－	
ワンセグチューナー			－	
インターフェース	ExpressCard		× 1 スロット （ExpressCard/34 モジュール、ExpressCard/54 モジュール対応）[注20]	
	PC カード		PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ × 1 スロット（CardBus 対応）	
	SD カード／メモリースティック／xD- ピクチャーカード[注21]		× 1 スロット （メモリースティック PRO 対応）	
	外部ディスプレイ／ビデオ出力		アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S ビデオ× 1（NTSC 出力）	
	USB[注22]		USB2.0 準拠× 5（右側面× 1、背面× 4）	
	IEEE1394（DV）[注23]		4 ピン× 1（S400）	
	LAN		RJ-45 × 1	
	ビデオ入力		－	
	テレビアンテナ入力		－	
	オーディオ		ヘッドホン[注24]：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、 （出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／ マイク[注25]：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック （入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）1.5kΩ 以上 （DC）2kΩ 以上）	
	状態表示		LED	
電源供給方式	AC アダプタ		入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（4.22A）	
	バッテリ		内蔵バッテリパック：リチウムイオン　14.4V ／ 2000mAh	
バッテリ稼働時間（JEITA 測定法 1.0[注26]）			スーパーファイン液晶を選択した場合：約 2.2 時間／ スーパーファイン DX Ⅱ液晶を選択した場合：約 2.0 時間	
バッテリ充電時間[注27]			約 2.0 時間	
消費電力[注28]			スーパーファイン液晶を選択した場合：約 26W ／約 89W スーパーファイン DX Ⅱ液晶を選択した場合：約 29W ／約 89W	
省エネ法に基づくエネルギー消費効率[注29]			スーパーファイン液晶を選択した場合： I 区分 0.00034（AAA）[注30] ／ スーパーファイン DX Ⅱ液晶を選択した場合： I 区分 0.00038（AAA）[注30]	スーパーファイン液晶を選択した場合： I 区分 0.00031（AAA）[注30] ／ スーパーファイン DX Ⅱ液晶を選択した場合： I 区分 0.00034（AAA）[注30]
外形寸法			W360.0 × D265.0 × H33.5 ～ 38.2 mm（突起部含まず）	
質量			スーパーファイン液晶を選択した場合：約 2.8kg ／ スーパーファイン DX Ⅱ液晶を選択した場合：約 2.9kg	
盗難防止用ロック取り付け穴			あり	
温湿度条件			温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、 温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）	
プレインストール OS			Windows Vista Home Premium 正規版（DirectX 10 対応）	
サポート OS[注32]			Windows Vista Ultimate 正規版、Windows Vista Home Premium 正規版	

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
★　ご購入時に選択したものをご覧ください。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（••▶P.130）をご覧ください。

5

製品名称	FMV-BIBLO NF50XN ワンセグチューナーを選択した場合	FMV-BIBLO NF50XN ワンセグチューナーを選択しなかった場合
CPU 注1★	インテル® Celeron® M プロセッサー 520	
	1.60GHz	
キャッシュメモリ	1 次：32KB 命令+ 32KB データ、2 次：1MB（CPU 内蔵）	
チップセット	モバイル インテル® 943GML Express チップセット	
システム・バス	533MHz	
メインメモリ★	標準 1GB（512MB × 2）／標準 2GB（1GB × 2） （PC2-4200 DDR2 SDRAM DIMM）ECC なし 最大 2GB 注2 注4	
拡張メモリスロット	× 2（空きスロットなし）	
インテル® ターボ・メモリー	－	
表示機能 グラフィックアクセラレータ	チップセットに内蔵	
表示機能 ビデオメモリ	最大 224MB（メインメモリと共用）注10	
表示機能 液晶ディスプレイ注5★	高輝度・低反射 15.4 型ワイド TFT カラー 1280 × 800 ドット （スーパーファイン液晶）／高色純度・超高輝度・低反射・広視野角 15.4 型ワイド TFT カラー 1280 × 800 ドット（スーパーファイン DX Ⅱ 液晶）	
表示機能 解像度／発色数	液晶ディスプレイ表示：1280 × 800 ドット／ 1677 万色注6 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1280 × 768 ドット／ 1677 万色注6	
フロッピーディスクドライブ注7	FDD ユニット（USB）（別売）	
ハードディスクドライブ注8★	約 80GB（80GB × 1）／約 120GB（120GB × 1）／約 160GB（160GB × 1） （Serial ATA/150）注9	
CD/DVD ドライブ注11	スーパーマルチドライブ	
オーディオ機能 オーディオコントローラ	チップセット内蔵＋ High Definition Audio コーデック	
オーディオ機能 PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 192kHz、24 ビット（再生時）注12、 サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビット（録音時）注12、 同時録音再生機能	
オーディオ機能 MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート	
オーディオ機能 スピーカー	ステレオスピーカー内蔵	
キーボード	日本語キーボード（キーピッチ約 19mm、キーストローク約 3mm、87 キー、 JIS 配列準拠）（Windows キー、アプリケーションキー付）	
ポインティングデバイス★	フラットポイント ご購入時の選択によっては、USB マウスが添付されます。	
指紋センサー	スライド式／スクロール機能あり	
リモコン	－	
ワンタッチボタン／ TV・DVD 操作ボタン等	プログラマブル× 1、Support ボタン、 ワンセグボタン、チャンネルボタン、 音量調節ボタン搭載	プログラマブル× 4、Support ボタン、 音量調節ボタン搭載
通信機能 LAN	1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T 準拠注13	
通信機能 無線 LAN★注14 規格	なし／ IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）注16	
通信機能 無線 LAN★注14 内蔵アンテナ	なし／ダイバーシティ方式	
FeliCa ポート	なし	

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
★ ご購入時に選択したものをご覧ください。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（▶P.130）をご覧ください。

製品名称			FMV-BIBLO NF50XN	
			ワンセグチューナーを選択した場合	ワンセグチューナーを選択しなかった場合
テレビ	テレビチューナー	地上デジタル注18	−	
		BS デジタル	−	
		110 度 CS デジタル	−	
	録画形式注19		−	
	高画質化機能		−	
	B-CAS カードスロット		−	
ワンセグチューナー			受信チャンネル：000-999ch	−
インターフェース	ExpressCard		× 1 スロット （ExpressCard/34 モジュール、ExpressCard/54 モジュール対応）注20	
	PC カード		PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ× 1 スロット（CardBus 対応）	
	SD カード／ メモリースティック／ xD- ピクチャーカード注21		× 1 スロット （メモリースティック PRO 対応）	
	外部ディスプレイ／ ビデオ出力		アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1 ／ S ビデオ× 1（NTSC 出力）	
	USB 注22		USB2.0 準拠× 5（右側面× 1、背面× 4）	
	IEEE1394（DV）注23		4 ピン× 1（S400）	
	LAN		RJ-45 × 1	
	ビデオ入力		−	
	テレビアンテナ入力		ミニジャック× 1（標準添付のアンテナ変換ケーブルを使用、ワンセグ放送受信専用室内用アンテナ添付）	−
	オーディオ		ヘッドホン注24：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、 （出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／ マイク注25：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック （入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）1.5kΩ 以上 （DC）2kΩ 以上）	
	状態表示		LED	
電源供給方式	AC アダプタ		入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.16A）	
	バッテリ		内蔵バッテリパック：リチウムイオン 14.4V ／ 2000mAh	
バッテリ稼働時間 （JEITA 測定法 1.0 注26）			スーパーファイン液晶を選択した場合：約 1.3 時間／ スーパーファイン DX Ⅱ液晶を選択した場合：約 1.0 時間	
バッテリ充電時間注27			約 2.0 時間	
消費電力注28			スーパーファイン液晶を選択した場合：約 29W ／約 68W スーパーファイン DX Ⅱ液晶を選択した場合：約 33W ／約 68W	
省エネ法に基づく エネルギー消費効率注29			I 区分 0.0010（AA）注30	
外形寸法			W360.0 × D265.0 × H33.5 ～ 38.2 mm（突起部含まず）	
質量			スーパーファイン液晶を選択した場合：約 2.8kg ／ スーパーファイン DX Ⅱ液晶を選択した場合：約 2.9kg	
盗難防止用ロック取り付け穴			あり	
温湿度条件			温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、 温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）	
プレインストール OS			Windows Vista Home Premium 正規版（DirectX 10 対応）	
サポート OS 注32			Windows Vista Ultimate 正規版、Windows Vista Home Premium 正規版	

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。
★ ご購入時に選択したものをご覧ください。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（▶P.130）をご覧ください。

5

仕様一覧の注記について

注 1　ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。

注 2　PC2-5300 DDR2 SDRAM も使用できますが、PC2-4200 DDR2 SDRAM として動作します。

注 3　ご購入時の選択によっては、空きスロットがない場合もあります。

注 4
- NF75X/D, NF75XN/D, NF70X, NF70XN の場合
  - 4GB のメモリ容量にするには、搭載済みのメモリを取り外し、拡張 RAM モジュール -2GB を 2 枚取り付ける必要があります。ただし、OS が使用可能な領域は最大 3.25GB になります。
  - 同一容量の推奨増設メモリを 2 枚搭載した場合には、デュアルチャネル対応になります。
- NF55X/D, NF50X/V, NF50X, NF50XN の場合
  - 2GB のメモリ容量にするには、搭載済みのメモリを取り外し、拡張 RAM モジュール -1GB を 2 枚取り付ける必要があります。
  - 同一容量の推奨増設メモリを 2 枚搭載した場合には、デュアルチャネル対応になります。

注 5
- 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。

なお、低輝度で長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になることがあります。

注 6　グラフィックアクセラレータの出力する最大発色数は 1677 万色ですが、液晶ディスプレイではディザリング機能によって、擬似的に表示されます。また、外部ディスプレイに出力する場合は、お使いの外部ディスプレイがこの解像度をサポートしている必要があります。

注 7　フロッピーディスクは、フォーマットした環境（メーカー、機種、ソフトウェア）によっては、データを読み書きできない場合があります。対応メディアは、2HD（1.44MB, 1.2MB）と 2DD（720KB）です。なお、1.44MB 以外のフォーマットはできません。

注 8　容量は、1MB=1000^2 byte、1GB=1000^3 byte 換算値です。

注 9　このパソコンは Windows RE 領域に約 1GB の領域が占有されています。そのため、「コンピュータ」のハードディスクの総容量は、マニュアルの記載よりも約 1GB 少なく表示されます。
なお、ハードディスクの区画の数や種別を変更したり、外付けドライブを接続した状態では、「トラブル解決ナビ」が正常に動作しなくなります。ご了承ください。

注 10　Intel® Dynamic Video Memory Technology（DVMT）を使用しており、パソコンの動作状況によりメモリ容量が最大設定まで変化します。
なお、NF75X/D, NF75XN/D, NF70X, NF70XN の場合、メインメモリを 1.5GB 以上にした場合のメモリ容量は、最大 384MB になります。

注 11　各ドライブの主な仕様は次の通りです。
なお、各数値は仕様上の最大限であり、使用メディアや動作環境によって異なる場合があります。

スーパーマルチドライブ

CD/DVD	読出速度（最大）	書込書換速度（最大）
CD-ROM	24 倍速	−
CD-R	24 倍速	書込 24 倍速
CD-RW	24 倍速	書換 10 倍速
DVD-ROM	8 倍速	−
DVD-RAM	5 倍速（4.7/9.4GB）	書換 5 倍速（4.7/9.4GB）
DVD-R	8 倍速	書込 8 倍速
DVD-R DL	4 倍速（8.5GB）	書込 4 倍速（8.5GB）
DVD-RW	6 倍速	書換 6 倍速
DVD+R	8 倍速	書込 8 倍速
DVD+R DL	4 倍速（8.5GB）	書込 4 倍速（8.5GB）
DVD+RW	8 倍速	書換 8 倍速

注 12　使用できるサンプリングレートは、ソフトウェアによって異なります。

注 13
- 1000Mbps は 1000BASE-T の理論上の最高速度であり、実際の通信速度はお使いの機器やネットワーク環境により変化します。
- 1000Mbps の通信を行うためには、1000BASE-T に対応したハブが必要となります。また、LAN ケーブルには、1000BASE-T に対応したエンハンスドカテゴリ 5（カテゴリ 5E）以上の LAN ケーブルを使用してください。

注 14　無線 LAN の仕様については、次のマニュアルをご覧ください。
『画面で見るマニュアル』»「002000」で検索
→「無線 LAN の仕様」

注 15　無線 LAN（IEEE802.11n ドラフト準拠）を選択した場合は、IEEE802.11n ドラフト 2.0 準拠にも対応しています。

注 16　Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。

注 17　IEEE802.11n ドラフト準拠を使用した場合は、MIMO 方式にもなります。

注 18
- ペイパービューのチャンネルはサポートしていません。

・同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式に対応しています。トランスモジュレーション方式には対応していません。

注 19　・テレビ番組の録画などは、お客様個人またはご家庭で楽しむ目的でのみ、ご利用ください。

・ビデオなどコピーガード信号を含んだ映像を、録画することはできません。
また、ビデオ入力（S ビデオ）端子やビデオ入力（コンポジット）端子に接続した一部のビデオ機器では、メニューや操作画面においてコピーガード信号を出しています。このような場合も、映像を録画することはできません。

・ビデオ出力（S ビデオ）端子に機器を接続していない場合は、コピーガード信号を含んだ映像をパソコン側で表示することができます。
ビデオ出力（S ビデオ）端子に機器を接続している場合は、コピーガード信号を含んだ映像をパソコン側で表示することはできません。

注 20　ExpressCard/34 モジュールと ExpressCard/54 モジュールは同時に使用できません。

注 21　・SD メモリーカード、メモリースティックや xD- ピクチャーカードの同時使用はできません。

・すべての SD メモリーカード、メモリースティックや xD- ピクチャーカードの動作を保証するものではありません。

・メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティック Duo などのメモリースティックでは、マジックゲート機能が必要なデータの記録／再生はできません。

・SD メモリーカード、miniSD カード、microSD カードは、著作権保護機能（CPRM）に対応しています。
このパソコンでは「MOOCS PLAYER」や「SD-Jukebox」というソフトで SD-Audio 形式でファイルの読み書きを行うときに、SD メモリーカード、miniSD カード、microSD カードの著作権保護機能（CPRM）が有効になります。
「MOOCS PLAYER」や「SD-Jukebox」については次のページをご覧ください。
「MOOCS PLAYER」（http://moocs.com/）
「SD-Jukebox」（http://panasonic.jp/support/software/sdjb/index.html）

・マルチメディアカード（MMC）やセキュアマルチメディアカードには対応していません。

・SD IO カードには対応していません。

・miniSD カード、microSD カード、メモリースティック Duo ／メモリースティック PRO Duo をお使いの場合は、アダプタが必要になります。必ずアダプタにセットしてからお使いください。

・2GB を超える SD メモリーカードには対応していません。2GB を超える場合は、SDHC カードをお使いください。

注 22　すべての USB 対応周辺機器について動作保証するものではありません。

注 23　すべての IEEE1394 対応周辺機器について動作保証するものではありません。

注 24　OS 上で設定を変更することにより、ラインアウト端子として使用することもできます。ラインアウト端子として使用する場合には、次の仕様となります。
（出力：1V 以上、負荷インピーダンス 10kΩ）

注 25　OS 上で設定を変更することにより、ラインイン端子として使用することもできます。ラインイン端子として使用する場合には、次の仕様となります。
（入力：1V 以下、入力インピーダンス 10kΩ 以上）

注 26　社団法人 電子情報技術産業協会の『JEITA バッテリ動作時間測定法（Ver1.0）』（http://it.jeita.or.jp/mobile/index.html）。
なお、本体のみ、省電力制御あり、満充電の場合。ただし、実際の稼働時間は使用条件により異なります。

注 27　電源 OFF またはスリープ時。なお、装置の動作状況により充電時間が長くなることがあります。

注 28　・動作時の最小消費電力（Windows 起動直後の消費電力）/ 最大消費電力です。また、AC アダプタ運用時の消費電力です。

・電源 OFF 時の消費電力は、約 1.0W 以下です。なお、電源 OFF 時のエネルギー消費を回避するには、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。

注 29　エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

注 30　・2007 年度基準で表示しています。

・カッコ内の数値は省エネルギー基準達成率を示します。ただし、達成率が 100%を超えるものは、次のようにアルファベットで表記しています。
A：100%以上 200%未満、AA：200%以上 500%未満、AAA：500%以上

注 31　無線 LAN（IEEE802.11a（J52/W52/W53/W56）準拠、IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠）を選択した場合、インテル ® Centrino® Duo プロセッサー・テクノロジー搭載になります。

注 32　日本語 32 ビット版。

5

その他の仕様

リモコン

通信方式		赤外線方式
使用可能距離		3m
乾電池の寿命の目安		約 6ヶ月（乾電池使用時）
使用可能範囲	水平	右：約 30°　／左：約 30°
	垂直	上：約 30°　／下：約 30°
使用電池		単 4 形乾電池 2 本

インテル (R) ターボ・メモリー

NF75X/D, NF75XN/D の場合、および NF70XN でインテル (R) ターボ・メモリーを選択した場合は、「インテル (R) ターボ・メモリー」を搭載しています。
「インテル (R) ターボ・メモリー」は「Windows ReadyBoost［ウィンドウズ レディブースト］」と「Windows ReadyDrive［ウィンドウズ レディドライブ］」に対応しており、これまでハードディスクに読み書きしていたデータの一部を、より高速な「インテル (R) ターボ・メモリー」に読み書きすることにより、パソコンの動作速度を向上することができます。

Intel(R) Turbo Memory 自動調整ユーティリティ

このパソコンには、「インテル (R) ターボ・メモリー」の設定を自動的に調整できる「Intel(R) Turbo Memory 自動調整ユーティリティ」がインストールされています。
次のような場合、パソコンが起動してからしばらくすると、「Intel(R) Turbo Memory 自動調整ユーティリティ」ウィンドウが表示されることがあります。

- マイリカバリなどを使って、ハードディスクの内容を復元した直後のパソコン起動時
- 「Intel(R) Turbo Memory Console」でチェックボックスの状態を変更した直後のパソコン起動時

「Intel(R) Turbo Memory 自動調整ユーティリティ」ウィンドウが表示されたときは、「インテル (R) ターボ・メモリー」の調整が必要です。次のように操作し、最適な状態にしてください。
「Intel(R) Turbo Memory 自動調整ユーティリティ」による「インテル (R) ターボ・メモリー」の調整には、調整後の再起動が必要な場合と、再起動が必要で無い場合の 2 種類があり、それぞれのウィンドウが表示された場合により操作手順が若干異なります。

1 **「Intel(R) Turbo Memory 自動調整ユーティリティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。**

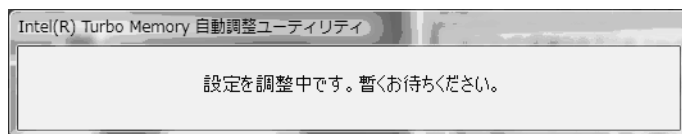
再起動が必要な調整の場合は、CD/DVD ドライブのトレーが、自動的に少し飛び出します。
「OK」をクリックした後に「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は「続行」をクリックしてください。

(画面は再起動が必要な場合の例です。)

5

次のページへ

2 「設定を調整中です。暫くお待ちください。」と表示されたら、そのままお待ちください。表示されない場合は、次の手順へ進んでください。

設定の調整には、数分程度かかります。

3 「Intel(R) Turbo Memory の設定を最適な状態に調整しました」と表示されたら「OK」をクリックします。

「再起動する必要があります」というメッセージが表示されている場合は、「OK」をクリックするとパソコンが再起動します。
「再起動する必要があります」というメッセージが表示されない場合は、再起動の必要はありません。

以上で「インテル (R) ターボ･メモリー」の設定が最適な状態になりました。

重要

「コンピュータ」に「NVCACHE」ドライブが表示された場合には、パソコンを再起動し、「インテル (R) ターボ・メモリー」の設定を調整する必要があります

パソコンを再起動する場合
「電源を切る」(••▶P.29)の手順を 1 から行い、手順 5 で「再起動」をクリックします。

「NVCACHE」ドライブには、データを書き込まないでください

「NVCACHE」ドライブは、パソコンの動作速度を向上するために使用される専用の領域です。お客様が書き込んだデータは保証されません。

「ディスク領域不足」というメッセージが画面右下の通知領域に表示されたら

「NVCACHE」ドライブのディスクの空き容量が少なくなっていると通知されることがあります。このような場合には本パソコンを再起動し、再起動後に表示される「Intel(R) Turbo Memory 自動調整ユーティリティ」ウィンドウで、「インテル (R) ターボ・メモリー」の設定を調整し、最適な状態にしてください。

索　引

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行